



九州のビジネス・投資環境 - 主要産業、経済・貿易データ -

Business and Investment Environment in Kyushu

2022.3更新



経済産業省
九州経済産業局 Kyushu Bureau of Economy, Trade and Industry

ビジネス・投資環境編 - 主要産業、経済・貿易データ -

目次

0 1 九州の基礎情報			
アジアのゲートウェイ・九州	-----	1	
一国並みの経済規模	-----	2	
主な貿易相手国・地域	-----	3	
主な貿易品目	-----	4	
充実した交通インフラ	-----	5	
外国人入国者数の動向	-----	6	
留学生数の推移	-----	7	
0 2 主要産業			
九州の特徴的な産業	-----	8	
豊かな食・郷土料理	-----	9	
0 3 研究機関			
世界最先端を誇る大学の研究施設	-----	10	
世界最先端を誇る研究機関	-----	11	
0 4 ビジネスコスト・生活環境			
低いビジネスコストと豊富な人材	-----	12	
教育・医療環境	-----	13	
国際標準の教育機関	-----	14	
0 5 魅力的な自然・文化			
九州の世界遺産①	-----	15	
九州の世界遺産②	-----	16	
九州の世界遺産③	-----	17	
0 6 グローバル企業			
世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業①	-----	18	
世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業②	-----	19	
世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業③	-----	20	
世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業④	-----	21	
0 7 外国人の創業事例			
外国人の創業事例①	-----		22
外国人の創業事例②	-----		23
0 8 行政・支援機関の取り組み			
九州・沖縄地方成長産業戦略 ～九州・沖縄Earth戦略Ⅱ～	-----		24
アジア諸国とのMOU締結を基盤とした経済交流	-----		25
九州産本格焼酎の輸出促進	-----		26
0 9 対日投資支援			
ジャパン・イノベーション・ブリッジ	-----		27
福岡県の対日投資支援	-----		28
佐賀県の対日投資支援	-----		29
長崎県の対日投資支援	-----		30
熊本県の対日投資支援	-----		31
大分県の対日投資支援	-----		32
宮崎県の対日投資支援	-----		33
鹿児島県の対日投資支援	-----		34
北九州市の対日投資支援	-----		35
福岡市の対日投資支援	-----		36
熊本市の対日投資支援	-----		37



アジアのゲートウェイ・九州

- ◆ 九州～ソウル・上海・東京は、ほぼ同じ距離に位置しており、九州は、地理的に日本にとって「アジアの玄関口（ゲートウェイ）」にあります。古来より、長崎の平戸・出島のように海外との交流拠点としての役割を担ってきています。
- ◆ 福岡空港の乗降客数（国内線＋国際線）は、958万人（*）と、全国の空港中3位、福岡国際空港から福岡市都心部までのアクセス時間はわずか10分と、世界トップクラスの交通の利便性を誇ります。

* 出所:国土交通省「令和2年(暦年)空港別順位表」

アジア各国へのアクセスの利便性

	福岡	東京 (成田)
空港～都心部	10分	50分
釜山(韓国)	50分	1時間50分
ソウル(韓国)	1時間20分	2時間35分
上海(中国)	※1時間45分	3時間15分
台北(台湾)	2時間35分	3時間55分
香港	3時間55分	5時間15分
ホーチミン (ベトナム)	5時間35分	6時間5分
バンコク(タイ)	6時間	7時間20分
シンガポール	6時間35分	7時間35分

出所:JTBパブリッシング「JTB時刻表」(2021年12月)

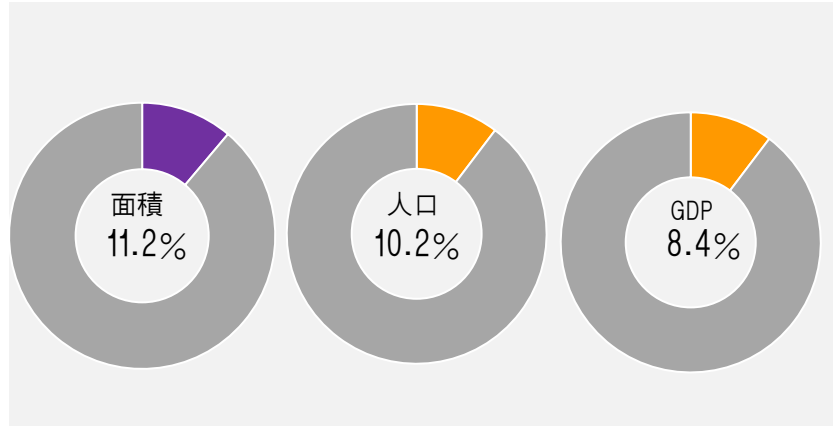
福岡と国内・アジア主要都市との距離



一国並みの経済規模

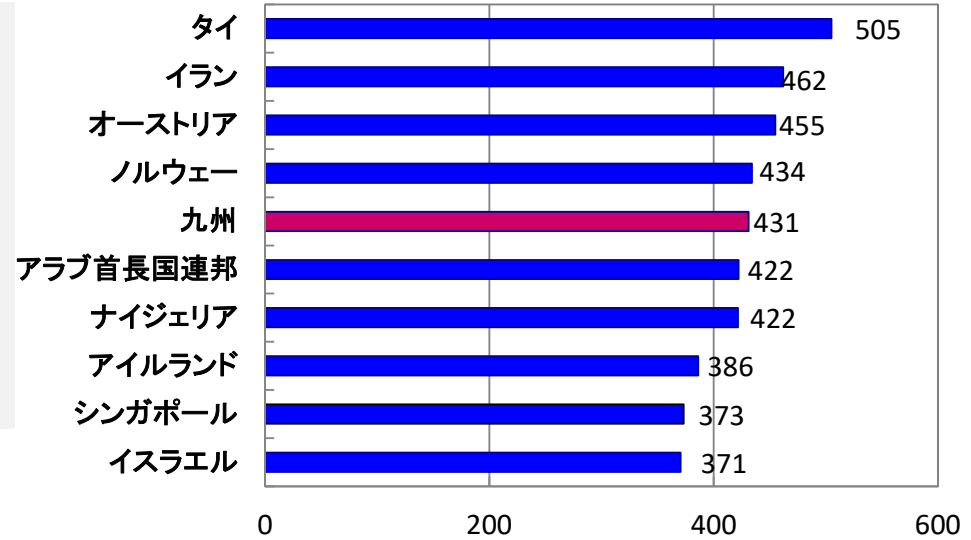
- ◆ 九州は、日本列島の南西部に位置し、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島 の7県で構成されています。
- ◆ 九州の人口は1,288万人で(全国シェア10.2%)、面積やGRPなど各種経済指標も全国の約10%を占めており、「割経済」と呼ばれています。
- ◆ 九州の域内生産額は、約47兆円、世界29位のノルウェーと同等の経済規模です。広い土地、清廉な水、豊富な労働力を背景に、半導体関連産業、自動車産業、農林水産業が主要産業です。

全国に占める九州の面積・人口・GDP



域内生産の国際比較

(単位:10億米ドル)



出所：面積 国土交通省 令和3年全国都道府県市区町村別面積調
 ：人口 総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」
 令和3年1月1日現在
 ：GDP 内閣府「平成30年度県民経済計算」より九州経済産業局作成

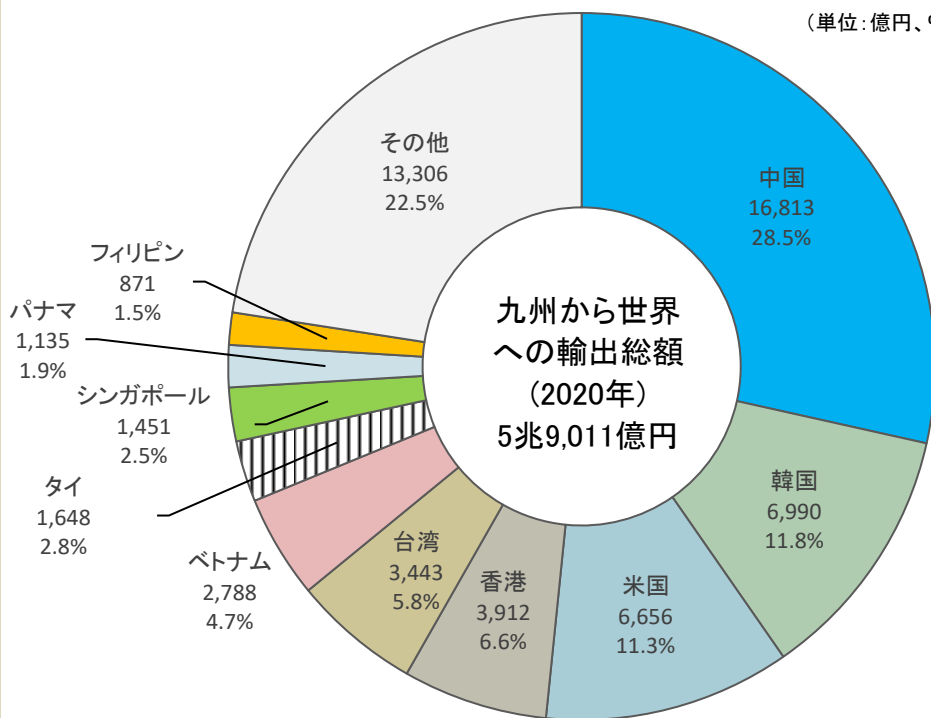
出所:総務省「世界の統計2021」、内閣府「平成30年度県民経済計算」より九州経済産業局作成

主な貿易相手国・地域

- ◆ 九州の最大の貿易相手国は中国で、輸出の28.5%、輸入の20.1%を占めています。
- ◆ 中国に次ぐのは、輸出では韓国、米国、香港の順であり、輸送用機器や一般機械、電気機械などの九州からの輸入国が上位となっています。輸入ではオーストラリア、米国、台湾の順であり、電気機器や鉱物性燃料の九州への輸出国が上位となっています。

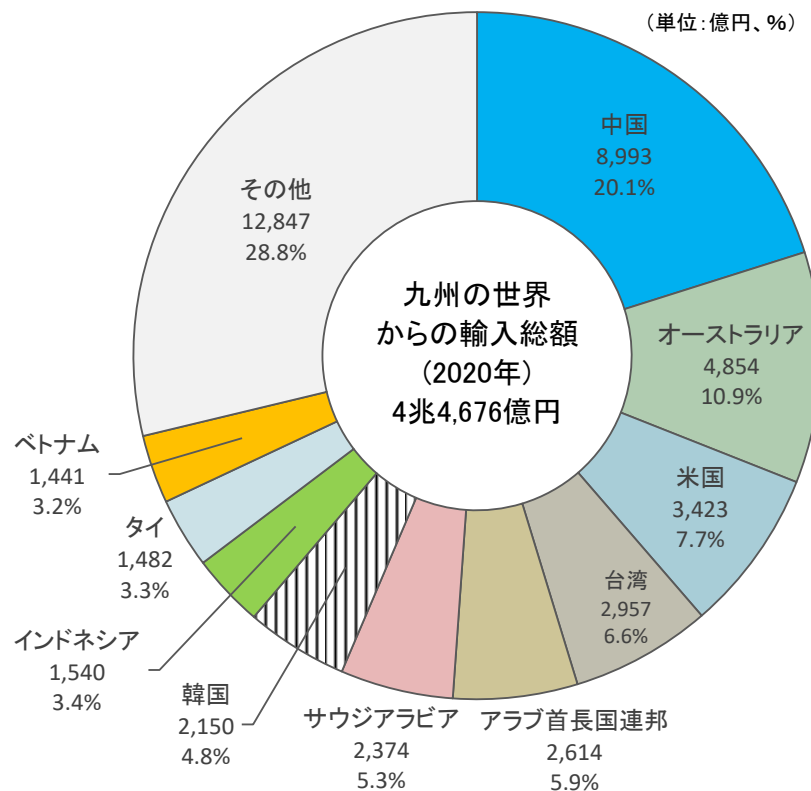
九州の輸出相手国・地域

(単位:億円、%)



九州の輸入相手国・地域

(単位:億円、%)

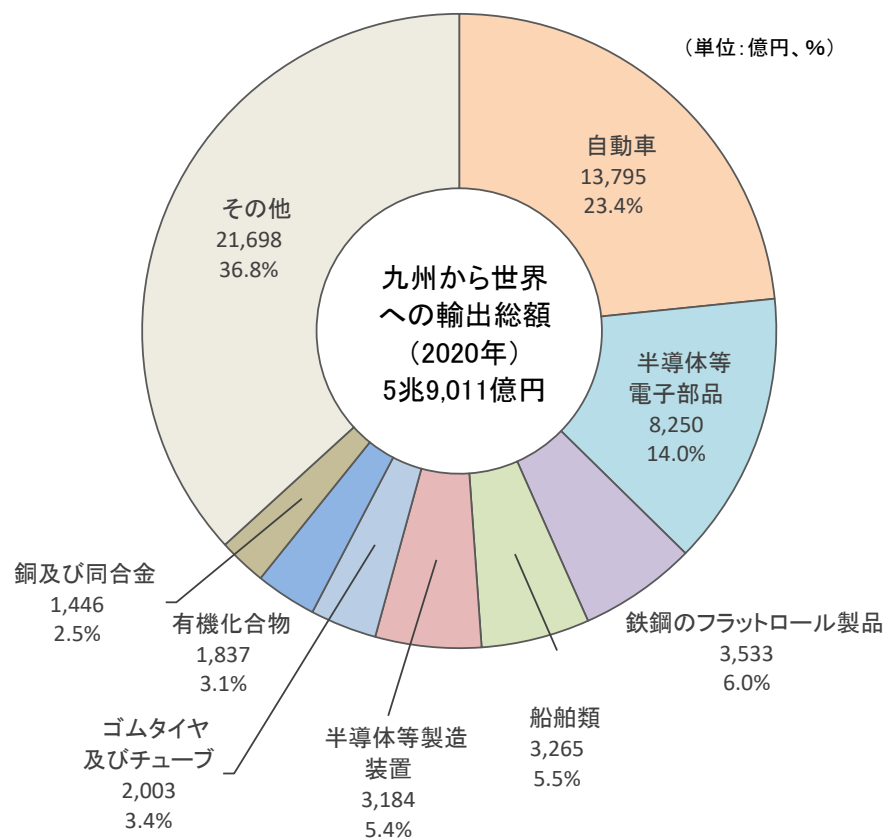


主な貿易品目

- ◆ 輸出品目では、金額の多い順に、自動車、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類、半導体製造装置となっており、この5品目で全体の半分以上を超えています。
- ◆ 輸入品目では、金額の多い順に、原油及び粗油、非鉄金属鉱、石炭、半導体等電子部品、鉄鉱石、石油ガス類、石油製品となっており、上位は鉱物性燃料が多くなっています。

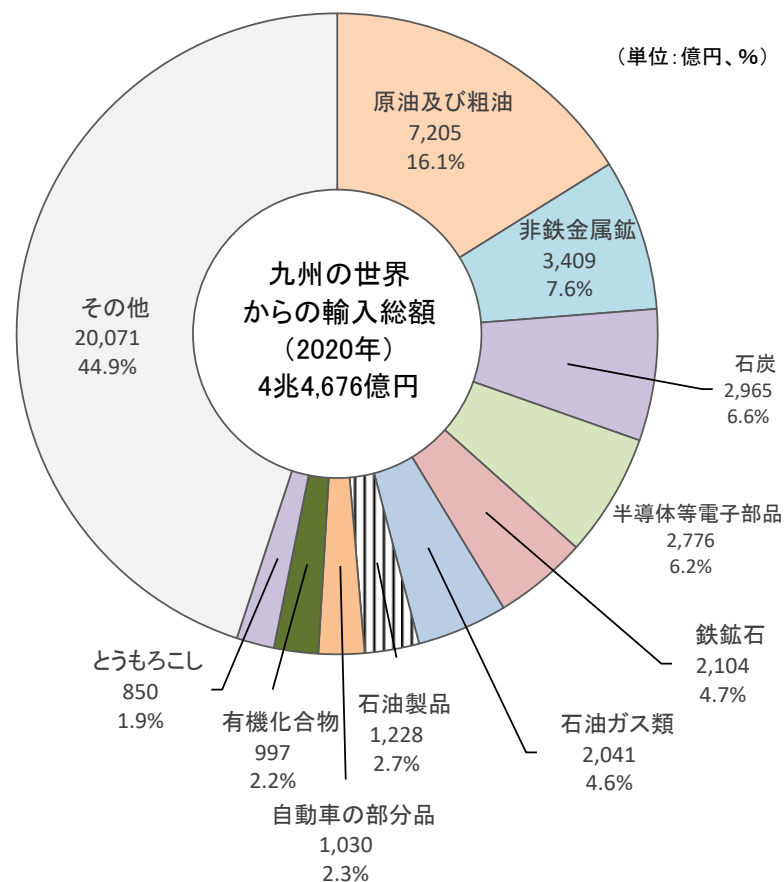
九州から世界への輸出品目

(単位: 億円、%)



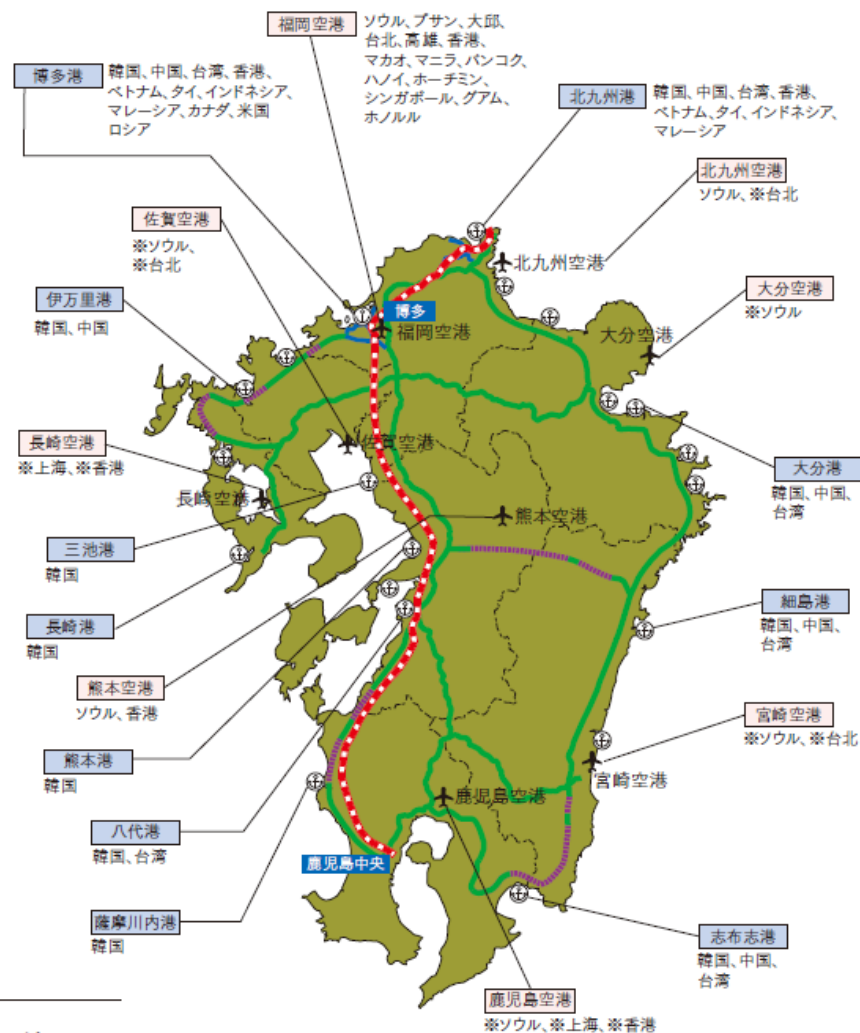
九州の世界からの輸入品目

(単位: 億円、%)



充実した交通インフラ

九州の高速道路／新幹線／国際コンテナ航路(2021年12月現在)

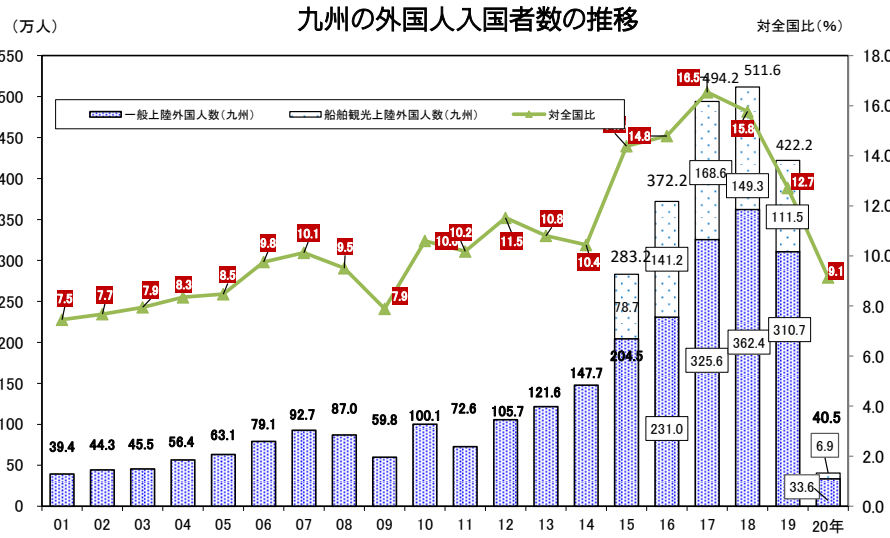


出所:九州運輸局、九州地方整備局、各港ウェブサイト、
JTBパブリッシング「JTB時刻表2021年12月号」
【上記における中国は、便宜上、中国本土を表している】

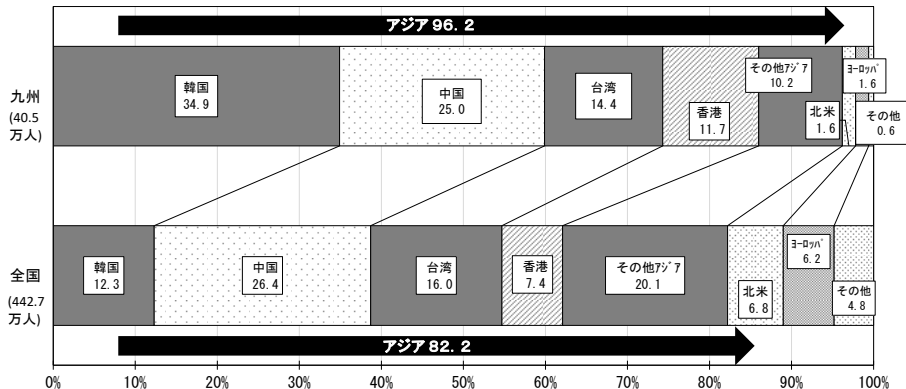
- ◆九州各県には、高速道路、新幹線、鉄道、空港、港湾等の各種交通インフラが整備されています。
- ◆九州新幹線により、博多駅から鹿児島中央駅まで、九州の南北を約1時間20分で縦断できます。
- ◆2015年4月に東九州自動車道が全線開通し、九州の高速道路がループ状につながりました。自動車による九州内のスムーズな移動が可能となり、各地をつなぐ交通ネットワークの役割を果たしています。
- ◆空港や港湾からは、アジアを中心とした海外へも交通体系も整っています。特に、アジアの主要都市とのアクセスの良さが九州の特徴です。

外国人入国者数の動向

- ◆九州の外国人入国者数は2018年には5百万人を超えましたが、2020年は約40万人に激減しました。
- ◆国籍別では韓国(14.1万人、構成比34.9%)、中国(10.1万人、構成比25.0%)、台湾(5.8万人、構成比14.4%)の順となっています。



九州と全国外国人入国者の構成比 (単位: %)



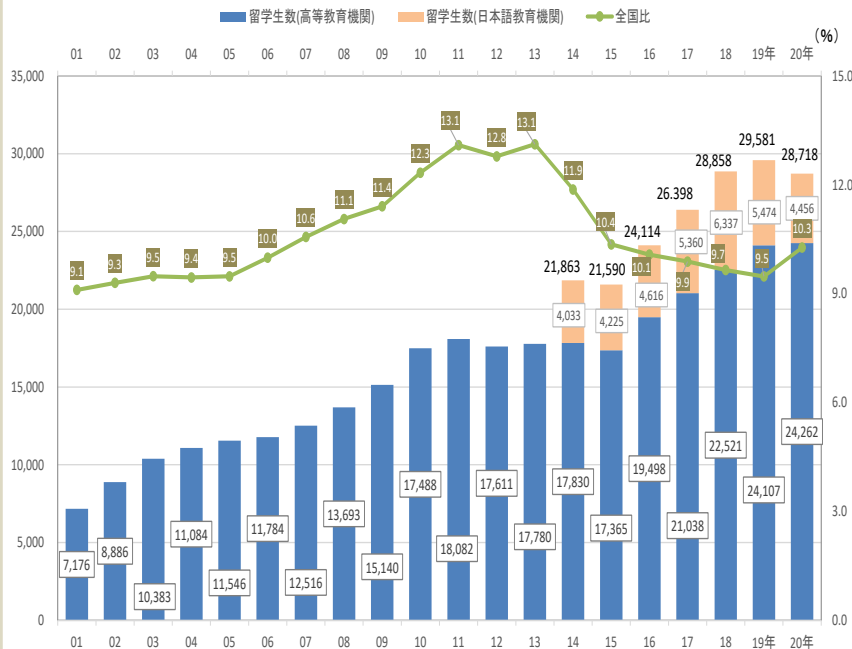
外国人入国者数(一般入国+船舶観光上陸許可)

	九州				全国				
	2020年 外国人 入国者数	構成比 (%)	伸び率 (%)	全国比 (%)	2019年 外国人 入国者数	構成比 (%)	伸び率 (%)	2019年 外国人 入国者数	構成比 (%)
総数	404,824	100.0	▲90.4	9.1	4,222,099	100.0	▲86.7	33,213,486	100.0
アジア	389,260	96.2	▲90.4	10.7	4,043,947	95.8	▲86.9	27,879,280	83.9
韓国	141,343	34.9	▲91.7	25.9	1,706,493	40.4	▲90.7	5,893,880	17.7
中国	101,338	25.0	▲92.4	8.7	1,329,429	31.5	▲88.6	10,198,774	30.7
台湾	58,218	14.4	▲87.3	8.2	458,910	10.9	▲85.7	4,949,040	14.9
香港	47,233	11.7	▲85.3	14.4	321,317	7.6	▲85.2	2,216,674	6.7
ベトナム	10,299	2.5	▲68.5	6.4	32,724	0.8	▲69.1	518,034	1.6
タイ	7,260	1.8	▲88.1	3.2	60,803	1.4	▲83.1	1,352,252	4.1
シンガポール	2,241	0.6	▲88.9	4.0	20,178	0.5	▲88.7	495,463	1.5
マレーシア	5,768	1.4	▲84.8	7.4	37,972	0.9	▲84.6	508,247	1.5
フィリピン	8,777	2.2	▲81.3	5.5	46,961	1.1	▲79.6	777,591	2.3
インドネシア	1,566	0.4	▲82.5	1.9	8,939	0.2	▲80.9	420,968	1.3
ミャンマー	635	0.2	▲67.6	5.2	1,959	0.0	▲65.2	34,943	0.1
インド	410	0.1	▲88.6	1.4	3,596	0.1	▲83.9	185,623	0.6
その他のアジア	4,172	1.0	▲71.6	4.8	14,666	0.3	▲73.3	327,791	1.0
ヨーロッパ	6,615	1.6	▲91.4	2.4	76,523	1.8	▲87.1	2,121,245	6.4
英国	1,480	0.4	▲94.0	2.7	24,684	0.6	▲87.6	437,793	1.3
フランス	479	0.1	▲93.6	1.1	7,542	0.2	▲86.9	245,243	1.0
ドイツ	347	0.1	▲94.9	1.1	6,774	0.2	▲87.2	341,241	0.7
イタリア	156	0.0	▲95.3	1.1	3,313	0.1	▲91.2	166,155	0.5
オランダ	167	0.0	▲95.5	1.9	3,751	0.1	▲89.2	80,489	0.2
その他のヨーロッパ	3,986	1.0	▲86.9	3.3	30,459	0.7	▲85.9	850,324	2.6
アフリカ	137	0.0	▲90.4	1.3	1,427	0.0	▲83.1	60,427	0.2
北米	6,551	1.6	▲90.9	2.2	71,751	1.7	▲86.7	2,244,130	6.8
米国	4,567	1.1	▲90.9	2.0	50,316	1.2	▲87.0	1,769,670	5.3
その他北米	1,984	0.5	▲90.7	2.9	21,435	0.5	▲85.6	474,460	1.4
南米	211	0.1	▲90.0	0.5	2,106	0.0	▲76.6	173,655	0.5
オセアニア	2,040	0.5	▲92.2	1.2	26,287	0.6	▲77.7	733,847	2.2
オーストラリア	1,680	0.4	▲92.5	1.2	22,454	0.5	▲76.9	631,213	1.9
その他オセアニア	360	0.1	▲90.6	2.0	3,833	0.1	▲82.9	102,634	0.3
無国籍	10	0.0	▲82.8	6.7	58	0.0	▲83.5	902	0.0

留学生数の推移

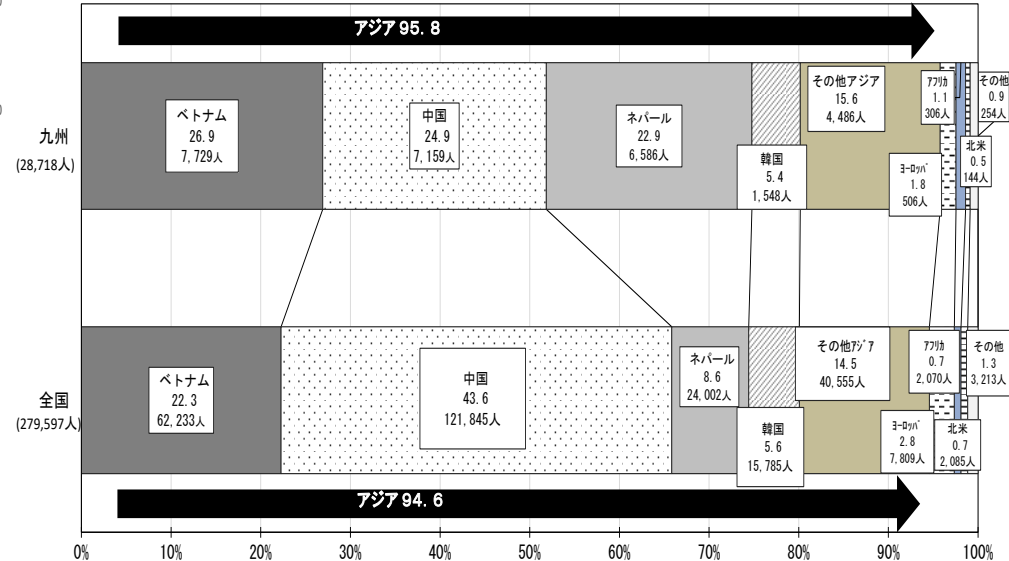
- ◆2020年の全国の留学生※数は279,597人、九州の留学生数は28,718人(対前年2.9%減、全国比10.3%)、。
- ◆アジアからの留学生が95.8%(全国では94.6%)。
- ◆国籍別ではベトナム7,729人(構成比27.9%)、次いで中国、ネパール、韓国の順に多い。

九州の留学生数の推移



※「留学生」とは、我が国の大学、短期大学、高等専門学校等の教育施設及び日本語教育機関において教育を受ける外国人学生

九州と全国の留学生数の構成比



九州の特徴的な産業



写真提供:トヨタ自動車(株)

日本有数の自動車生産拠点

- ◆ 九州の自動車生産能力は150万台を超え、生産台数の全国シェアは約15%を占めています。今では、1,200社を超える自動車関連企業が、九州全体に裾野を広げています。(2020年)

〔主な企業例：トヨタ自動車九州、日産自動車九州、ダイハツ九州など〕

環境リサイクル、再生可能エネルギー関連企業の集積

- ◆ 九州では、公害克服の経験を通じて、リサイクル、土壌・水質浄化等の環境リサイクル技術が集積しています。また、九州は太陽光や地熱等、豊富な再生可能エネルギー資源を有し、エネルギー分野においても先導的な地域になっています。さらに、近年アジアを中心として、環境技術の海外展開等が増加しています。

〔主な企業例：ワイビーエム、清本鐵工、協和機電工業など〕

バイオ・医療機器・コスメ関連機関の集積

- ◆ 九州は、みそ・しょうゆ・焼酎等の伝統的な発酵産業に加え、健康食品産業などのバイオ関連の企業・大学・研究機関が集積しています。
- ◆ 九州地域では、大分県から宮崎県に広がる東九州メディカルバレー地域を中心に、産学官が連携し、新たな医療機器等の開発・事業化に向けた取組が推進されています。
- ◆ 佐賀県唐津市・玄海町では、海外との連携協力により化粧品関連産業の集積を目指す「唐津コスメティック構想」の推進に取り組んでいます。

〔主な企業例（医療関連）：旭化成、東郷メディキットなど〕

高付加価値の半導体生産

- ◆ 九州は、1970年代から「シリコンアイランド」と呼ばれ、現在、半導体の生産金額7,640億円、日本の約44%のシェアを占め、1,000社を超える半導体関連企業が集積しています。(2019年)

〔主な企業例：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、ルネサスエレクトロニクス、三菱電機など〕



豊かな食・郷土料理

- ◆ 九州は、農業産出額が全国の約2割の食糧供給基地であり、その構成は、畜産、野菜、米、果樹が中心で、多様な品目構成となっています。最も産出額が大きいのは畜産部門で、全国シェアの25%を占めます。
- ◆ 食品の輸出も盛んで、九州各地のブランド牛や、ブリやハマチなどの水産物、野菜や果実は海外で人気。また、緑茶の輸出量も増加しています。
- ◆ 九州の肉や魚、野菜や果物などは種類が豊富な上、新鮮で質も高く、「九州の食べ物は安くて美味しい」と国内外の観光客からも好評です。また、焼酎や日本酒などお酒の生産地としても有名です。



ラーメン(福岡県)



呼子のイカ(佐賀県)



卓袱料理(長崎県)



車えび(熊本県)



関さば・関あじ(大分県)



宮崎牛(宮崎県)



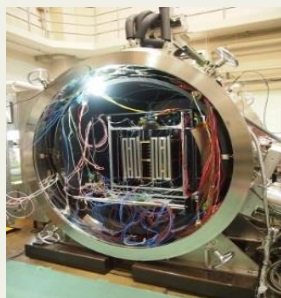
黒豚しゃぶしゃぶ(鹿児島県)

世界最先端を誇る大学の研究施設

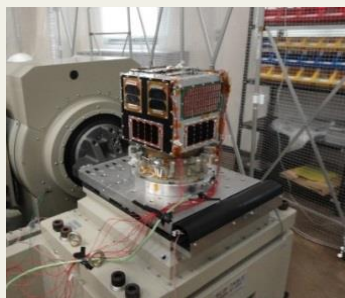
革新的宇宙利用実証ラボラトリー 超小型衛星試験センター 国立大学法人九州工業大学



- ◆ 超小型衛星試験センターでは、50kg・50cmまでのサイズの衛星の環境試験に特化した設備を揃え、国内外の大学・企業が開発した衛星の環境試験を行っています。
- ◆ また、そのデータを基に超小型衛星試験の国際標準化の取り組みを世界各国と連携して進めています。



熱真空試験装置



人工衛星の振動試験装置



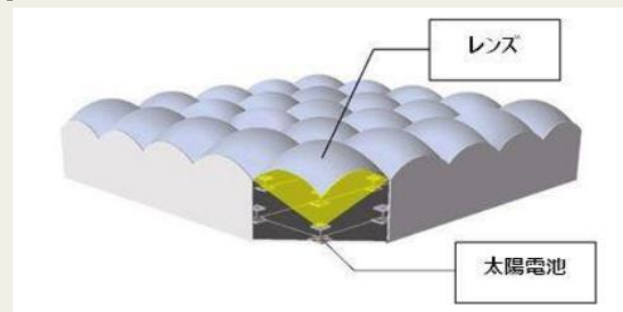
衝撃試験装置

出典・写真提供:九州工業大学

宮崎大学エコ・キャンパス 国立大学法人宮崎大学



- ◆ エコ・キャンパスでは、大きなレンズで集光した太陽光を小さな太陽電池に照射する「集光型太陽光発電」の研究と、集光型太陽光発電から得られる電気で水を電気分解することによって水素を生成する研究を行っています。



集光型太陽電池のイメージ



太陽光を追尾するシステム



エコ・キャンパス

出典・写真提供:宮崎大学

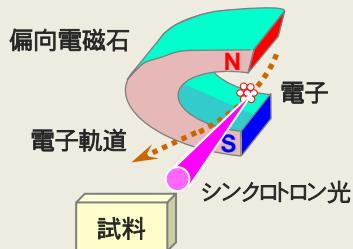
世界最先端を誇る研究機関

佐賀県立九州シンクロtron光研究センター (SAGA-LS)



- ◆ シンクロtron光(強力なX線)を産学官の共用に供し、素材・原料、電子デバイス等の分析や製品評価、微細加工等の部品試作、農作物の突然変異育種等、幅広い分野の研究開発に利用される最先端の研究施設です。

シンクロtron光は、光速に近い速さで直進する電子が、加速器を構成する偏向電磁石の磁場でその軌道を曲げられた時に発生する「光」のことです。



シンクロtron光を露光光源とし、微細加工めっき技術によりマイクロメートルサイズのマイクロマシン・MEMS関連部品の製作が可能です(右図は微小歯車の製作方法)。



出典:九州シンクロtron光研究センター

水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)



- ◆ 水素ガス環境下で使用する「バルブ」、「センサ」、中型・大型の水素貯蔵容器まで、あらゆる水素関連製品の耐久性試験、圧力サイクル試験や民間企業との共同研究開発等を通して、水素エネルギー新産業の育成を支援する最先端の研究施設です。

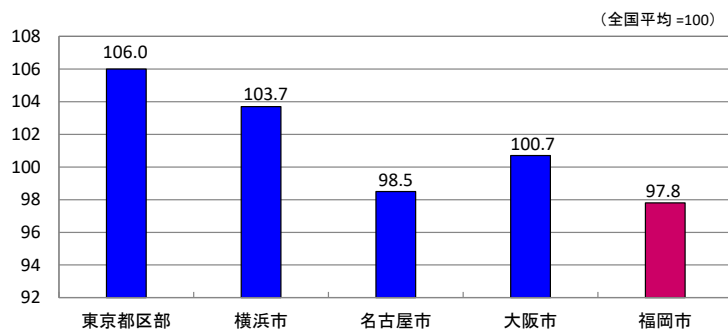


出典:水素エネルギー製品研究試験センター(HyTReC)

低いビジネスコストと豊富な人材

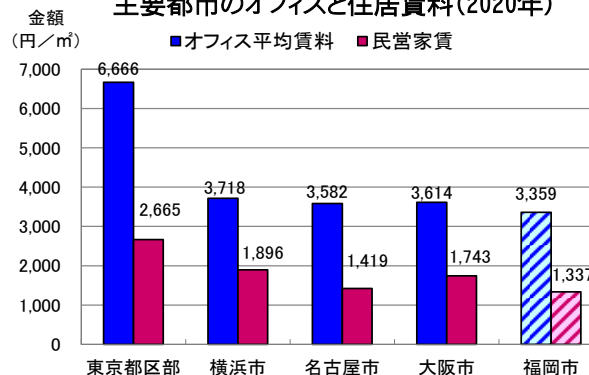
- ◆ 九州は、日本の中でも物価・オフィス賃料・人件費ともに安く、コストを低く抑えてのビジネスが可能な環境です。加えて、温暖な気候や美味しい食事、土地の広さ、人柄の良さなどの面で暮らしやすいとされています。
- ◆ また、九州にはアジアを中心とした各国から3万人近くの外国人留学生が在席しており、多様で優秀な人材が豊富です。

九州と主要都市との消費者物価地域差指数(2020年)



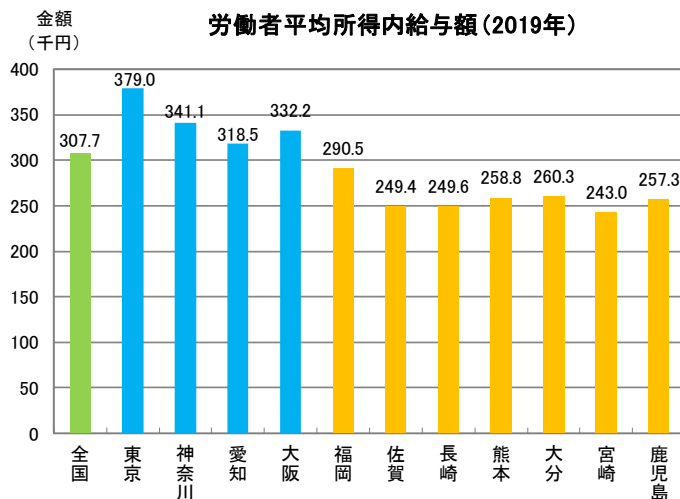
出所：総務省統計局「小売物価統計調査」

主要都市のオフィスと住居賃料(2020年)

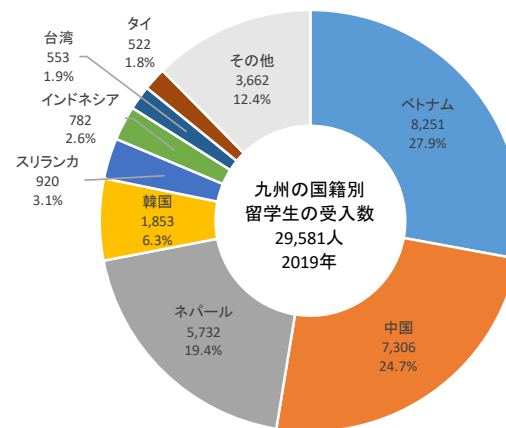


出所：三鬼商事(株)「オフィスマーケットデータ」、総務省「小売物価統計調査」より九州経済産業局作成

労働者平均所得内給与額(2019年)



出所：厚生労働省 賃金福祉統計室「賃金構造基本統計調査」(2019年)



出所：(独)日本学生支援機構「2019(令和元)年度外国人留学生在籍状況調査結果」より九州経済産業局作成

教育・医療環境

- ◆ 九州には、高度外国人材のあらゆる年齢の子どもの教育環境も整備されています。日本内外の大学入学資格を取得できる学校として、福岡県には米国西部地域私立学校大学協会(WASC)※1の認定を受けているインターナショナルスクールがあります(福岡インターナショナルスクール(FIS))。また、国際バカロレアディプロマプログラム(IB DP)※2を提供している学校として、FISに加えて、リンデンホールスクール、福岡第一高等学校等があります。

※1 WASC(The Western Association of Schools and Colleges):世界的な大学入学資格(高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者)の教育認定機関

※2 国際バカロレア(International Baccalaureate):世界150以上の国・地域の5,000校以上で実施されている、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム

注) 我が国の高校等を卒業した方以外の方であっても、国際的な認証団体(WASC等)から認証を受けたインターナショナルスクールや、国際バカロレア資格を取得できる学校で一定の課程を修了すれば、日本内外の大学入学資格を取得できる。

- ◆ 医療環境については、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」が取りまとめられ、九州でも外国人患者が安心して受診できる体制の整備を進めているところです。九州には147の外国人患者を受け入れる医療機関が存在し、不測の事態に備えています。

九州管内各県別の多言語対応医療機関数 ; 福岡37、佐賀5、長崎17、熊本34、大分11、宮崎9、鹿児島34

※英語、中国語、韓国語を中心に、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語など多種



国際標準の教育機関



立命館アジア太平洋大学(大分県別府市)

- ◆ 立命館アジア太平洋大学 (APU) は、90の国と地域出身の外国人留学生在が学生の半数を占め、「THE 世界大学ランキング日本版」※では、東京を除く全国の私大で3年連続1位を獲得している大分県別府市にある大学です。
- ◆ 国内でも有数の国際環境のもとで、多文化協働学習などの教育システムを確立し、日本のグローバル教育を牽引しています。マネジメント教育の国際認証AACSB(米国)、AMBA(英国)、国連世界観光機関の観光学教育の国際認証TedQualを取得し、世界でも最高水準の教育を提供する教育機関として認証を受けています。文部科学省によるスーパーグローバル大学創成支援事業採択校でもあり、2020年度の間評価では、最高評価のS評価を受けています。



※英国の教育専門誌「THE (Times Higher Education)」が2017年から発表している日本の大学のみを対象としたランキング

出所・写真提供:立命館アジア太平洋大学



九州の世界遺産①

屋久島(鹿児島県)

- ◆ 1993年に世界自然遺産に登録された鹿児島県の「屋久島」は、九州の最南端、佐多岬から南南西約60kmの海上にあります。日本百名山でもある九州最高峰の宮之浦岳をはじめ、1,000m以上の山々が多数連なり、「洋上のアルプス」の島とも言われています。
- ◆ 樹齢1000年以上の屋久杉をはじめ、多くの固有植物や南限・北限植物が自生するなど多様な植物分布に恵まれた極めて特異な生態系と優れた自然美が見られるところです。



「永田岳」



「屋久杉」

九州の世界遺産②

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」①

- ◆ 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、23の構成資産全体で顕著な普遍的価値を有しています。
- ◆ 開国と明治維新に伴う大きな変化の痛みを乗り越え、半世紀で人を育て、産業革命を受容する社会システムを築くという、我が国の重工業に起こった大きな変化、国家の質を変えた半世紀の産業化を物語っています。

旧修成館(鹿児島県)



集成館の反射炉跡。薩摩藩は、海防の危機感より、鉄製大砲を鑄造しようと、オランダの技術本を片手に、外国人技術者の指導なしに自力で反射炉を建造しました。1850年代、日本に大砲鑄造のために建設された反射炉11基の内、現存する3基の1つです。集成館事業における薩摩の西洋科学への挑戦と試行錯誤の実験を物語っています。



三重津海軍所跡(佐賀県)



三重津海軍所は1861年に建設され、現存する日本で最も古いドックです。2009-2012年、発掘調査されました。正面部の木組は側面の柱に固定され、また全体の構造も内壁にしっかりと支えられて、完全な状態で残っていました。



九州の世界遺産③

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」②

- ◆ 日本は非西洋諸国で初めて意志を以て産業化を成し遂げ、世界の舞台で近代国家として認知をされた国です。産業化を通して、国の社会的、経済的展望を大きく変え、地政学上における日本の地位を世界の舞台において確保しました。
- ◆ その成功は、特に製鉄・製鋼、造船、石炭などの重工業における、西洋からの積極的な産業技術の導入プロセスに特徴づけられています。

端島炭鉱(長崎県)



端島炭坑は、高島より南西3kmに位置し、高島炭坑と同じ、西彼杵海底炭田を鉱床とします。岩塊の小島を取り巻く新たな土地は、高波から島を守るため、要塞のような護岸に囲まれました。最盛期、端島は世界で最も人口過密な炭鉱コミュニティでした。

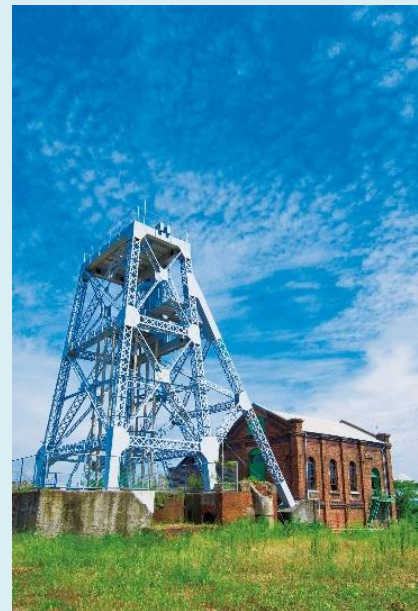


三池炭鉱万田鉱(熊本県)



万田坑は明治後期から昭和中期にかけて三池炭鉱の主力坑口でした。

現在は第二豎坑跡や鋼鉄製の櫓など人馬昇降及び坑内排気機能を担った明治後期の建造物群が現存する他、豎坑櫓、巻揚機室の基礎、デビーポンプ室の一部が遺構として現存します。



世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業①

旭有機材株式会社

耐薬品性に優れた長寿命なプラスチック製バルブでトップシェア

創業以来続く「金属材料を有機材料に変える」というDNAを核として成長を続け、ニッチトップ製品を持つユニークな企業グループとして発展してきました。

【グローバルニッチトップ 製品の内容】

- ・同社のプラスチック製バルブは耐薬品性に優れている点が特徴ですが、金属製バルブと同じ形状では強度が不足するので、肉厚化や一部金属で補強するなど、製品の優位性を一層高めています。
- ・同社の製品は製鉄や電解等の大型プラント、水族館や漁業施設、半導体製造設備などで活躍しており、これらの市場において、強い耐薬品性・耐腐食性、低金属溶出性、精密な流量制御を追求し、開発改良を重ね、トップシェアを獲得してきました。

【戦略・ビジネスモデル】

- ・同社のビジョンは、プラスチック製バルブのグローバル展開を加速させ、国内外で、圧倒的「耐食ソリューション・ナンバーワン企業」となること。もともとは、ユーザーからの、高濃度の薬液に耐えるバルブが欲しいという要望に応えるため、耐食性に優れた塩化ビニル樹脂を原料としたバルブを試作したのが始まりです。
- ・1956年に世界で初めてオールプラスチック製バルブの製造に成功して以来、軽い・錆びない・長寿命という特長を武器にラインナップを拡充し、ブランド力を高めてきました。また、1963年からグローバル展開を図り、現在では世界50か国以上に製品を供給するネットワークも構築しています。製造に関しては、特に独自のノウハウを要する原料配合から成形工程までは日本国内(宮崎県延岡市)のみで行っています。



グローバルニッチトップ 製品
ASAHI V バルブ



製鉄・化学工場や農業用水システム、水族館などが樹脂製バルブを採用

自動車や住宅・建築、液晶・半導体などの分野にフェノール樹脂製品を提供



企業データ

代表者 代表取締役社長 中野 賀津也

設立年 1945年

URL <https://www.asahi-yukizai.co.jp/>

東京本社 東京都台東区上野3-24-6

上野フロンティアタワー21階

延岡本社 宮崎県延岡市中の瀬町2-5955

従業員数 1528人

グローバルニッチトップ (GNT) 製品の名称

ASAHI V バルブ



世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業②

三州産業株式会社 植物検疫における「蒸熱処理」の分野で世界トップシェア

葉たばこの乾燥機メーカーとして昭和23年に誕生して以来、たばこはもとより施設園芸や世界中の様々な分野の農水産加工用製品を開発してきた、温度管理冷暖房装置のパイオニアメーカーです。

【グローバルニッチトップ 製品の内容】

- ・「蒸熱処理装置」(Vapor Heat Treatment system : 略称VHT)とは薬剤を使用せず、蒸気と熱の力で果実の品質を保持しつつ殺虫処理を行うための装置で、植物の病害虫が世界中にまん延することを防止するために植物検疫の分野で使用されます。確実に害虫を殺虫し、また果実に傷害を与えないよう庫内の温度を0.1℃単位でコントロールします。
- ・現在製造している装置は処理量に応じてランニングコストを抑えるための部分運転や、処理量を増やすために将来的にユニットを増設することが可能な仕様になっており、国内外の特許も取得し、「蒸熱処理」というニッチな分野でトップを維持しています。

【戦略・ビジネスモデル】

- ・同社は長年、「葉たばこ乾燥機」の製造を行っており、その熱管理技術をもとに昭和58年に沖縄のピーマンに寄生するウリミバエを殺虫するための「蒸熱処理装置」を開発しました。その後、ODAを通じてフィリピンやタイのマンゴー用に蒸熱処理の試験装置を輸出し、次にハワイのパパイヤ用に商用機を輸出しました。その後もODAで試験装置を台湾、中国、マレーシア、オーストラリア、ブラジル、コロンビア、ペルー、スリランカ、インド、パキスタン、ベトナム、インドネシアへ輸出、正式な輸出解禁後は、それぞれの国へ商用機を輸出しています。
- ・40年近い実績の中でも各時代のニーズに応じて装置の開発を続け、最新の装置でも特許を取得し、世界市場シェアトップを維持し続けています。



グローバルニッチトップ 製品「蒸熱処理装置」



企業データ

代表者	代表取締役社長 藤村 達郎
設立年	1948 年
URL	https://www.sanshu.co.jp
住所	鹿児島県鹿児島市南栄4-11-2
従業員数	71 人
グローバルニッチトップ (GNT) 製品の名称	高度な熱管理技術を活用した「蒸熱処理装置」



世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業③

中興化成工業株式会社 屋根材に使われる国産のフッ素樹脂膜分野のパイオニア

ふっ素樹脂・シリコン樹脂をはじめとした、高機能樹脂の総合加工メーカーである同社の製品は、世界の主要なハブ空港など大規模なものから日々の生活を支える商業施設や車社会の安全を確保する製品、さらには地球環境に配慮した製品など、世界の多くの国と地域に広がっています。

【グローバルニッチトップ製品の内容】

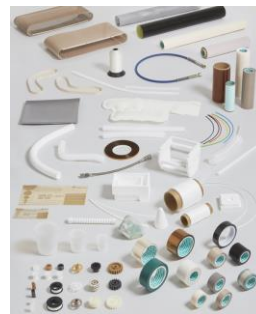
- ・ファブリック製品*1 の分野で品質、生産規模において世界でもトップクラスの評価を獲得しています。

*1 ……工業用の耐熱クロスにふっ素樹脂を浸漬・焼結したシート

- ・この製造技術をベースに高強度ガラス繊維と特殊ふっ素樹脂コーティングとを組み合わせることにより、数々の優れた特長を兼ね備えた初の国産恒久屋根膜材料を開発しました。
- ・この膜材料は薄くて軽く、紫外線や大気汚染物質に対して不活性な「耐候性」、汚れが付着せず雨が降るたびに洗い流される「セルフクリーニング性」、半透明で自然な明るさが得られる「透光性」、そして国土交通大臣認定の「不燃性」をあわせ持っていることが特徴です。
- ・また、デザインや規模、構造材、内装材といった要求にあわせた各種のグレードを取り揃えており、「世界のふっ素屋」としてグローバルな展開をしています。

【戦略・ビジネスモデル】

- ・大型膜構造建築はW杯や五輪の大きなスポーツイベント開催に際して採用されることが多いため、施主や設計会社に膜材の特長を説明しよく理解していただくうえで特殊な要求事項にも耳を傾けることが必要です。それぞれに寄せられる課題と向き合い、解決しながら数多くの採用実績を挙げています。



原料の蛍石とフッ素樹脂製品



創業の地、長崎県松浦市のFI工場。
最新設備で屋根材を製造



スワンナプーム国際空港
(タイ・バンコク)



グローバルニッチトップ製品
ChukohSky(TM)FGT-800



ジレージ(福島)

企業データ

代表者 代表取締役社長 庄野 直之

設立年 1963年

URL <https://www.chukoh.co.jp/>

住所 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館10階

従業員数 449人

グローバルニッチトップ製品(GNT)の名称

建築用ふっ素樹脂膜材 ChukohSky(TM)
FGTシリーズ



世界で勝ち抜くグローバルニッチトップ企業④

藤井精工株式会社 ～超精密金型加工のプロフェッショナル集団～

創立以来、半導体・電気電子パーツ金型・モーターコア金型など国内に加えて海外の大手メーカーへの納品実績も豊富で、近年では国内でも数社に限定される超精密金型の総合専門メーカーとして発展してきました。

【グローバルニッチトップ 製品の内容】

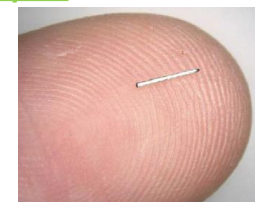
- ・同社のGNT 製品は、アメリカに本社を置く緑内障の先進医療機器メーカーGlaukos 社が開発した緑内障用の世界最小ステント*1を挿入する為の特殊な針であり、このステントを極小針の内部から発射し、目の細胞に挿入する機能を有しています。
- ・これを正確に運用するためには、開閉し、かつ、クランプ機能*2 を有する先端がφ0.33mm の極細管の挿入用部品が必要です。そのために、同社の有するプレス金型技術を用いて、針状の極細管の先端部に、強制的に内部応力を上下左右より三次元的に付加することで、本挿入用部品の量産化技術の開発に成功しました。

*1…人体の管状の部分(血管、気管、食道、十二指腸、大腸、胆道など)を管腔内部から広げる医療機器

*2…作業時に手を使わずに材料を安全確実に押さえる事が出来る機能

【戦略・ビジネスモデル】

- ・2015 年に、今後ますます高度化する医療分野に同社の精密加工技術を応用展開し、また、モノづくり技術が残る北部九州地区全体の協力体制を構築、地域全体が医療分野に進出する上でのキーカンパニーとなる挑戦をスタートさせました。
- ・もともと持っていたプレス金型技術を応用し微細加工を施すことで緑内障治療用医療機器のキーパーツの量産化技術の開発に成功し、緑内障手術(MIGS)のパイオニアでありリーディングカンパニーである米Glaukos 社からメインサプライヤーとして受注するに至りました。品質体制についても、ISO13485 の品質体制を早期に構築するとともに、アメリカ食品医薬品局(FDA:Food and Drug Administration)に基づくサプライヤー監査もクリアしています。



グローバルニッチトップ 製品
ステント挿入器具
(先端の特殊針)

医療機器製造環境
クラス1,000のクリーンな環境



「精密プレス金型なら
藤井精工」
という圧倒的技術力



企業データ

代表者 代表取締役社長 藤井 福吉

設立年 1976 年

URL <http://www.fujiiseiko.com/>

住所 福岡県鞍手郡鞍手町大字室木
10567-1

従業員数 84 人

グローバルニッチトップ® (GNT) 製品の名称

眼科微小侵襲性緑内障手術
(MIGS) 用のインプラント挿
入器具





外国人の創業事例①

一休合同会社(IKKYU G.K.)

九州の食と文化を世界へ

- ・一休合同会社は、外国人に向けた日本茶の販売会社です。IT&P Strategy Advisory 日本支社において、日欧貿易に関わっていた経験を活かし、外国人に向けたブランディングに特化して事業を行っています。
- ・九州のお茶は、世界的に有名な宇治茶や静岡茶と同等以上の品質にも関わらず、英語のサイトや資料もなく、海外に向けたプロモーションが足りておらず、海外での知名度は低いという現状があります。
- ・このため、弊社の目線で選定した高品質のお茶のみを取り扱い、オンラインで世界に向けて販売しています。農家と直接取引しているため、低価格で提供できることが強みです。また、和紙でラッピングを行っており、外国人好みのパッケージデザインや英語表記のティーレシピが外国人から高い評価を受けています。

福岡で世界を見据えたビジネス展開

- ・福岡は、ビジネスコストや住居費用が低く、交通の便が良く、街がコンパクトにまとって、街と自然が近く良好な環境であるため、ビジネスと住環境両面で快適な街です。例えば、企業訪問する場合、電車移動では東京・大阪は一日に2社程度が限度ですが、福岡では自転車で、より多くの会社を訪問することができます。
- ・一方で、外国人の日本でのビジネスや日常生活には、常に多大な時間と労力とお金が必要となります。ビザの取得・在留資格更新、オフィス賃貸借、資金借り入れ、クレジットローンの保証人、携帯電話契約等なかなかスムーズに進みません。
- ・他にも、欧米は無料で海外送金が可能なのに対し、日本は多額の手数料がかかり、その事実を欧米の取引先に理解してもらう必要があります。
- ・特に難しい問題は、日本と海外のビジネスにおけるスピード感覚の違いです。世界市場の需要獲得のためには、迅速なレスポンス、即決力を心がけるとい意識改革が必要です。弊社は現在取引している幅広い世代の農家とともに、海外企業と同じスピードで取引ができる点が強みです。

九州の魅力の世界に発信

- ・今後は、お茶を通して、その他の九州の素晴らしい産物プロモーションに取り組んでいく予定です。九州のお茶、ひいては九州全体のことを世界中のより多くの人に知ってもらいたいと感じています。

出所:九州経済産業局HP

企業概要

社名：一休合同会社(IKKYU G.K.)

創業者：

Stephane Camus, Aldo Bloise,
Joelle Sambuc-Bloise

所在地：

福岡県福岡市早良区野芥8-29-7

TEL：092-407-1721

URL：<https://ikkyu-tea.com>

設立：2016年5月

業務内容：

九州産緑茶の海外向け販売





外国人の創業事例②

株式会社STEQQI

九州を代表する動画制作会社に

・株式会社STEQQIは、動画制作、写真撮影や海外展開のコンサルティング等を行う会社です。代表である私は、タイから立命館アジア太平洋大学(APU)に留学のため来日し、大学卒業後2人の仲間とともに会社を立ち上げました。

・弊社は社内に3カ国(タイ・ベトナム・日本)の出身者が在籍しており、多様な視点を持っていることが強みです。多様な価値観を持った人々がいるということを念頭において、多くの人が魅力を感じる動画を制作できるよう努めています。

・動画制作の中でも、PR動画の制作を主に行っています。CMよりも長い2・3分の時間をかけて、説明要素を盛り込みながらも、見る人が退屈せず、かつわかりやすく伝えるために、ストーリーや構成が非常に重要です。

趣味からビジネスへ

・大学時代にコンペで他者と協力して作品を手掛けることを経験し、PRツールとして動画を制作している企業は少ないため、ビジネスとして取り組むことができるのではないかと考え、「おおいた留学生ビジネスセンター(SPARKLE)」への相談等を通じて、起業に向けた準備を始めました。

・起業の際は、法律用語等の意味を理解することが難しい上に、必要な書類が多いため苦労しましたが、SPARKLEや行政書士等専門家の方々の全面的なサポートに助けられました。

・大分はビジネスコストが比較的安く、同じクオリティの動画を制作する場合でも、大都市より制作費を抑えられることから、大分・九州内だけでなく他地域からの仕事依頼も多いです。

・今後も、今まで築いてきたネットワークを大切に、大分・九州の人々や環境と関わりながら事業を進めていきたいと考えています。

PR 動画といえば STEQQI

・日本では企業の強みや商品・サービスの魅力を広報する手段として、PR動画を活用する方法がまだ浸透していなと感じます。動画撮影が身近になっているからこそ、ストーリーや構成の整ったクオリティ高い弊社動画を通じて、企業の魅力広く伝えることができると感じています。

・動画は主に九州を舞台撮影しているため、多くの人に視てもらうことで、九州の魅力を知るきっかけになればと考えています。人とのつながりや感謝の想い、そして何よりも昔から変わらない動画制作を楽しむ気持ちを忘れず、九州を代表する動画制作会社へと成長することが目標です。

出所:九州経済産業局HP

企業概要

社名:株式会社STEQQI

代表取締役:

WATCHARAINTHORN KHAMKHERD

所在地:大分県別府市浜脇1-19-1

TEL:080-4288-3558

URL:<https://www.steqqi.com/>

設立:2018年4月

業務内容:

動画制作、写真撮影、コンサルティング

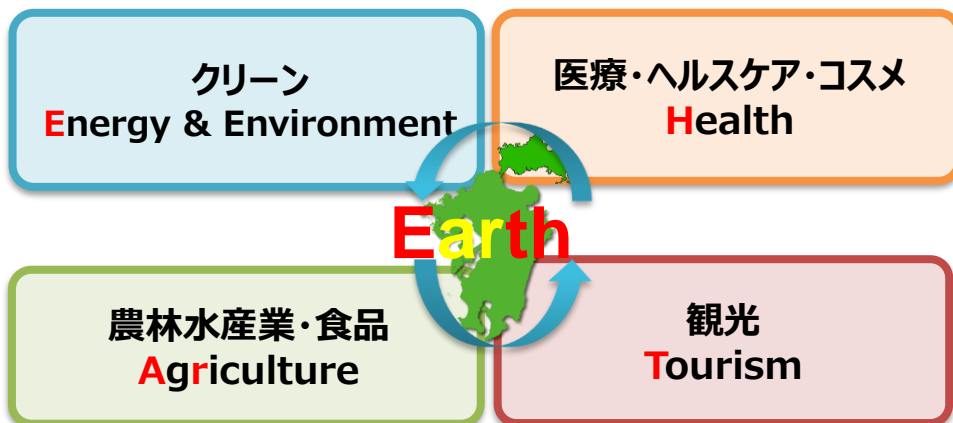


九州・沖縄地方成長産業戦略

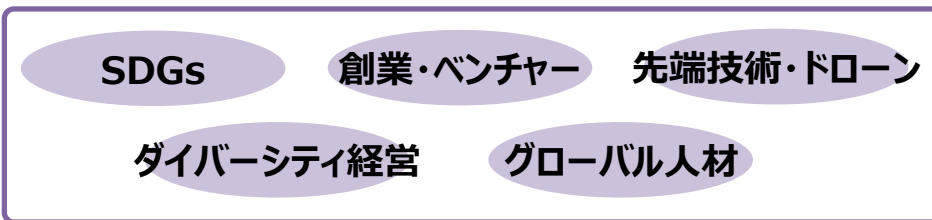
～九州・沖縄Earth戦略Ⅱ～

- ◆ 九州・沖縄の強みを活かす4つの戦略分野における取組を推進し、新たな課題解決に挑むアジアのゲートウェイ・九州として持続的な発展を目指す。
- ◆ 官民連携のもと、九州・沖縄地方産業競争力協議会にて、2014年に本戦略を策定。2021年からはステージ2として、新たな視点を取り入れた21のプロジェクトを進行中。

戦略分野



横断的取組



共通する4つの視点



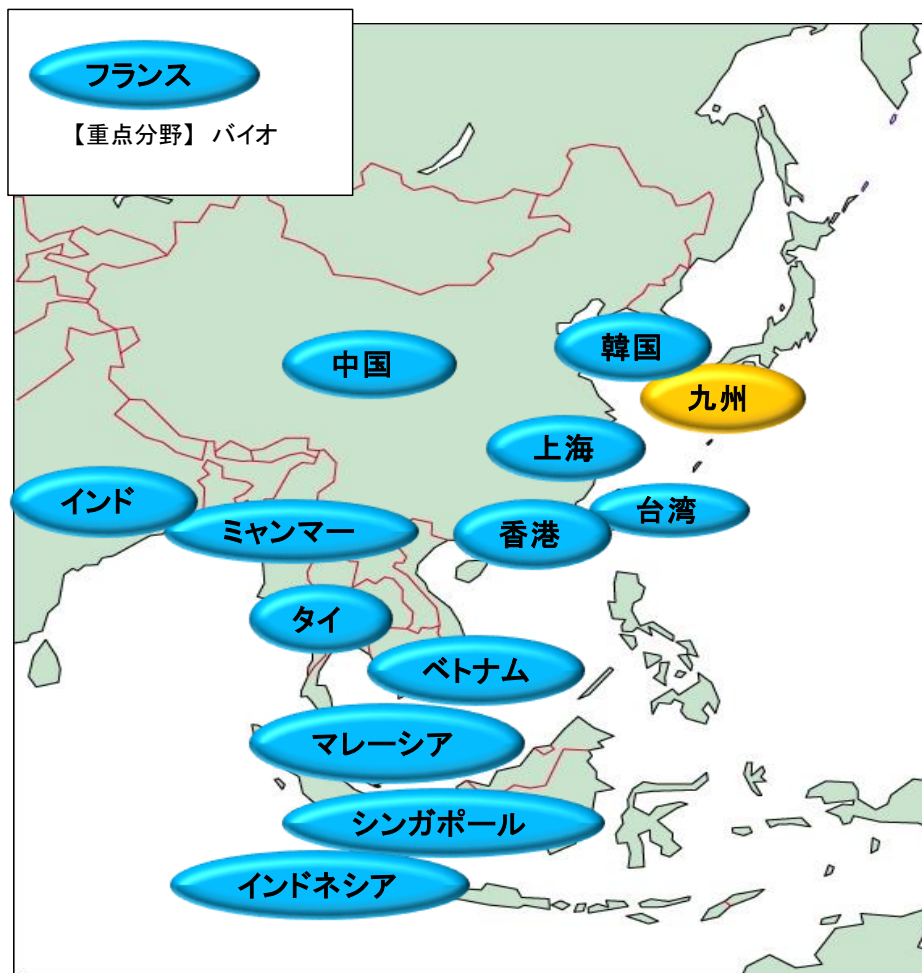
九州・沖縄Earth戦略Ⅱで進める21のプロジェクト

戦略4分野	プロジェクト
クリーン	九州水素エネルギー社会実現プロジェクト
	地熱・温泉熱エネルギー産業拠点化推進プロジェクト
	海洋再生可能エネルギー産業の拠点形成プロジェクト
	北部九州自動車産業アジア先進拠点推進プロジェクト
	有機光エレクトロニクス産業拠点化プロジェクト
	九州・アジア環境エネルギー産業推進プロジェクト
医療・ヘルスケア・コスメティック	ヘルスケア産業振興プロジェクト
	革新的医療品等創出拠点プロジェクト
	バイオ産業振興プロジェクト
	唐津コスメティック構想推進プロジェクト
農林水産業・食品	九州の食の輸出推進プロジェクト
	スマート農業推進プロジェクト
	スマート水産業推進プロジェクト
	農山漁村発イノベーション等の推進プロジェクト
観光	九州観光戦略プロジェクト
SDGs	九州SDGs経営推進プロジェクト
創業・ベンチャー	創業・ベンチャー企業創出プロジェクト
先端技術・ドローン	先端技術活用推進プロジェクト
	ドローン産業振興プロジェクト
グローバル人材	ものづくりにおける組み込みソフトウェアへの軽量Ruby活用促進プロジェクト
	グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト

横断的取組

アジア諸国とのMOU締結を基盤とした経済交流

- ◆ 九州では、(一社)九州経済連合会と九州経済産業局が事務局を務める九州経済国際化推進機構を組織、九州地域における官民一体の国際化推進のための一元化組織として、アジアをはじめとした諸外国との経済交流を展開。
- ◆ 特にアジア諸国とは、経済交流促進のためのMOUを締結、これを契機として相互のミッション派遣や商談会などビジネスにつながる取り組みを推進中。



国・地域	締結先	締結時期	九州側
ベトナム	・ベトナム計画投資省 (MPI)	2009年 2月	機 構
香 港	・香港中華総商會 (CGCC)	2011年 11月	九経連
	・香港貿易発展局 (HKTDC)	2012年 8月	九経連
台 湾	・中華民国工商協進会 (CNAIC)	2012年 6月	九経連
インドネシア ¹	・インドネシア共和国投資調整庁 (BKPM)	2012年 11月	機 構
タイ	・タイ投資委員会 (BOI)	2012年 11月	機 構
ミャンマー	・ミャンマー商工会議所連盟 (UMFCCI)	2013年 2月	九経連
シンガポール	・シンガポールビジネス連盟 (SBF)	2013年 7月	九経連
インド	・インド商工会議所連合会 (FICCI)	2014年 6月	九経連
中 国	・上海新滬商連合会 (SEA)	2014年 9月	九経連
	・山東省商務庁 (DCSP)★	2018年 6月	
	・山東省威海市人民政府 (WMPG)★	2018年 6月	
マレーシア	・マレーシア投資開発庁 (MIDA)	2015年 11月	機 構
フィリピン	・フィリピン共和国投資委員会 (BOI)	2019年 7月	機 構

★食品流通での相互協力に特化したMOU（休憩練度の窓口は農林水産部）

¹インドネシア商工会議所(KADIN)については、2012年11月締結時に定めた3年間の有効期限が満了

国・地域	締結先	締結時期	九州側
韓国	・韓国産業団地公団	2007年11月	
中国	・大連市政府	2009年2月	九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (※2016 (H28) 年6月21日に名称変更)
	・山東省政府	2010年7月	
マレーシア	・マラカグリーンテクノロジーコーポレーション (MGTC)	2013年10月	九州環境エネルギー産業推進機構
	・イスカンダル・マレーシア商工会議所	2016年8月	
フランス	・FC 2 イノベーションフロンティアクラスター (FC2)	2010年9月	九州地域バイオクラスター推進協議会
	・フルブランクル協会 (BBC)	2013年10月	
ベトナム	・ホーチン半導体協会 (HSIA)	2013年11月	九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会
台湾	・經濟部工業局智慧電子産業計画推動弁公室 (SIPO)	2019年5月	

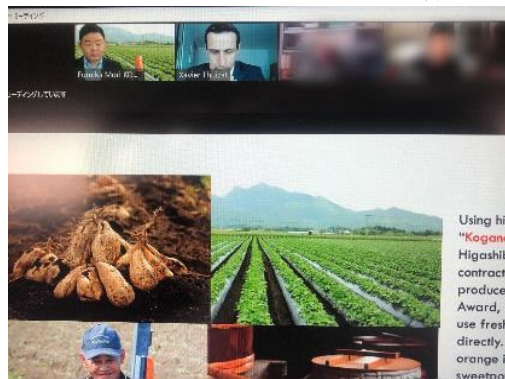
九州産本格焼酎の輸出促進

- ◆ 九州地域は、原料の風味豊かな本格焼酎の出荷シェアでは日本全体の約96%を占めていますが、2020年の日本産酒類の輸出約710億円のうち、焼酎は約12億円(約1.7%)にとどまっております。海外販路開拓への取組が期待されています。
- ◆ 日EU・EPA締結を契機に、九州産酒類の海外への販路開拓のため、九州経済国際化推進機構と、フランスで日本酒のコンクールなどを行う「Kura Master協会」との交流を通じて、九州産「本格焼酎」を発信し、欧州での理解促進に取り組んでいます。具体的には、フランス現地でのセミナー、Kura Master関係者の九州への招聘、試飲会の開催、オンラインでの蔵元紹介・商談会等を実施しています。
- ◆ こうした取組の結果、2021年にKura Masterコンクールに「本格焼酎・泡盛部門」が創設されました。今後はフランスをはじめとする欧州への本格焼酎の販路拡大が期待されます。
- ◆ また、九州経済産業局並びに九州経済国際化推進機構は、2021年5月に「本格焼酎・泡盛輸出促進ネットワーク」を設立し、蔵元や商社、自治体、支援機関等による情報交換や事業連携を図ることで、本格焼酎・泡盛の輸出拡大を目指しています。

パリでの本格焼酎セミナー



オンラインでの蔵元紹介（試飲会）



Kura Masterによる九州本格焼酎の試飲会・意見交換会（鹿児島）



ジャパン・イノベーション・ブリッジ (J-BR!DGE)

「J-Bridge」は、海外スタートアップ企業等と日本企業の連携・協業のためのビジネスプラットフォームです。日本企業のデジタル技術等を活用した国際的なオープンイノベーションを応援します。

J-Bridgeとは

対象国・地域

- 東南アジア (※1)
- インド
- イスラエル
- 豪州
- 米国 (※2)
- 欧州 (※2)
- 日本

※1 特にシンガポール、インドネシア、ベトナムを重点国とします。
 ※2 米国、欧州についてはカーボンニュートラル等の技術を有する海外企業支援を中心に実施します。

重点分野



対象企業※

- 経営戦略実現のため、製品開発・サービス展開等のアライアンスを通じ、海外企業との連携を図りたい方等
- デジタル技術を有し、対象国において連携・協業を通じたビジネス展開を考えている方

※事業対象は、日本企業または産業団体、大学およびそれらのコンソーシアム等です

J-Bridgeを使ってできること



サービス名



主なサービス内容

- ・特設サイト「DXポータル」を通じた市場・企業情報の提供
- ・協業・連携につながる各種オンラインイベント(※)の視聴
 ※ウェブセミナー、ピッチイベント、商談等

会員制サービス



- ・海外有望企業(個社情報)提供
- ・過去イベントへのアクセス
- ・会員間の交流



- ・フォーラム掲載企業、個別要望、DXプラットフォームでのピッチを契機とした海外企業との面談アレンジ



- ・戦略策定、提携先発掘、案件形成にかかる、専門家による個別支援



- ・アジア等のデジタル分野でのPoC実施に対する経費補助(東南アジア、インド)

問い合わせ先: ジェトロ DX推進チーム E-mail: DXPT@jetro.go.jp

出所: 日本貿易振興機構 (ジェトロ) HP

福岡県の対日投資支援

集積を図りたい分野

福岡県の産業集積・頭脳集積等に関連する
先端成長産業・高付加価値産業分野

※自動車、バイオ、IoT、ロボット・システム、
水素エネルギー、航空機、半導体など

支援制度（補助金）

<福岡県企業立地促進交付金>

交付対象:

- ・以下の業種の製造・事業施設
製造業、道路貨物運送業、ソフトウェア業、コンタクトセンター等
- ・本社機能部門を有する特定業務施設
調査・企画部門、研究開発部門、情報処理部門等

交付金:

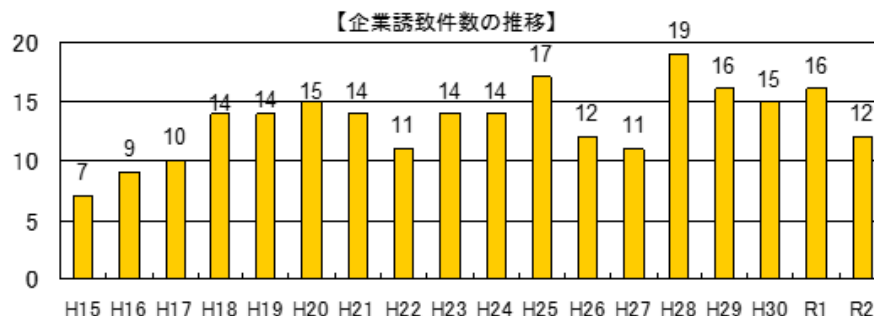
- ①設備投資額(用地取得費を除く)×2%
- ②業務施設などの年間賃借額×1/2
- ③操業開始から3年間以内に新規常用雇用した
県民1人×30万円

※業種や立地市町村により内容が異なる場合があります。

※適用に際しては、事前にご相談ください。

近年の進出状況

○平成15年度～令和2年度まで 累計240件



○国籍別

- ・北米 32社(米29、加3)
- ・欧州 42社(独11、英6、仏5、スイス4、伊3、その他13)
- ・アジア他 166社(中89、韓40、台13、印4、シンガポール4、豪2、その他14)

○進出企業(抜粋)

- アクセンチュア(株)(米、福岡市)
- アマゾンジャパン(株)(米、福岡市)
- フレゼニウスメディカルケアジャパン(株)(独、豊前市)

問い合わせ先

福岡県 商工部 企業立地課

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7

TEL:092-643-3441 E-mail:info@investfk.jp

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/601900/>

URL:<http://www.investfk.jp/>





佐賀県の対日投資支援

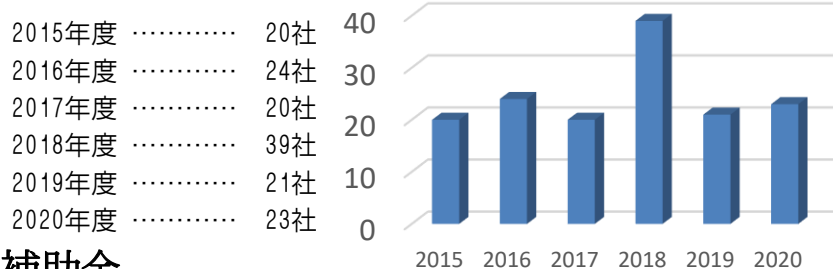


集積を図りたい分野

- ①化粧品関連
- ②医療関連
- ③半導体関連
- ④ロボット関連
- ⑤自動車・航空機関連



近年の立地企業数



補助金

佐賀県工場等立地促進補助金

- A 立地促進奨励金** (立地場所や業種等に応じ最大24倍の加算)
 投資額×2/100×加算
外資系企業への特別支援あり

- B 雇用促進奨励金**
 新規地元雇用者数×50万～100万

※ 詳細はお問い合わせください。 ※ 2022年3月現在

税制

- A 市町**
固定資産税5免5減
 ※5年間全額免除、引き続き5年間1/2免除
各種補助金
 ※市町ごとに雇用奨励金や用地取得奨励金など企業ニーズに応じた補助金をご用意

佐賀県企業立地促進特区

県内11市町を特区に指定し、一体となった優遇策を展開。
 (佐賀市、唐津市、多久市、武雄市、鹿島市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町、有田町、みやき町、基山町)

- B 県(佐賀県工場等立地促進補助金との選択制)**
法人事業税5免5減
 ※5年間全額免除、引き続き5年間1/2免除
不動産取得税免除

問い合わせ先

佐賀県 産業労働部企業立地課

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1-1-59
 TEL:0952-25-7097
 URL:<http://www.pref.saga.lg.jp/list00617.html>



長崎県の対日投資支援

集積を図りたい分野

(製造業系)

- ① 自動車関連(次世代自動車関連を含む)
- ② 省エネ・自動化機械等の産業用機械関連
- ③ ICT・5G関連(電子部品並びに自動車・ロボット等のソフトウェア、ものづくり設計・開発分野等)
- ④ 航空機関連
- ⑤ 半導体製造装置関連
- ⑥ 精密機器・医療福祉機器関連
- ⑦ 食品加工関連 など

(オフィス系)

- ① ICT関連(金融IT・情報セキュリティ関連等)
- ② BPO、事務処理センター(保険・シェアード等)

補助金

《1》工場等設置補助金

製造業、自然科学研究所、ソフトウェア業、機械修理業外6業種、立地支援企業(リース業)などの立地に際し、最大30億円の支援を行います。

《2》オフィス系企業誘致事業補助金

コールセンターや事務センター、ソフトウェア開発、本社の総務事務や経理事務などのオフィス系の事務所を設置した場合には、最大7億5千万円を支援します。

近年の進出状況

長崎県は、古代より日本と大陸の架け橋となり、1550年のポルトガル船の平戸来航後、江戸時代には日本で唯一西洋に開かれた窓として、異国の文化を受け入れながら、多くの人と交流し、栄えてきました。

そうした長い歴史に育まれた地域性や、県内各地に点在する観光・文化施設、外国人の保養地として発展した温泉などの存在も相まって、長崎県には、AIGグループやメットライフ生命、チューリッヒ保険、Chubb保険などの外資系企業が多数立地しております。また、製造業においても、三菱重工業やソニー、キヤノン、アリアケジャパンなど日本を代表するグローバル企業が本県に拠点を置くとともに、最近では、富士フイルム、京セラ、デンソー、ゼンリンなど情報サービス系企業の立地が続いております。

問い合わせ先

公益財団法人長崎県産業振興財団

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2-11

TEL: 095-820-8890 FAX: 095-827-5243

URL:<https://www.joho-nagasaki.or.jp/business/investact-guide/>





熊本県の対日投資支援

集積を図りたい分野

- 半導体関連産業
- 自動車・輸送機器関連産業
- 食品・医薬品関連産業

熊本県進出へのサポート体制

- 専属担当職員による全力サポート
- 国内企業よりも手厚い補助金支援
- 海外事務所(上海・香港・シンガポール)
や海外航路(熊本港・八代港)を展開



補助金・奨励金

- 熊本県企業立地促進補助金(外資系企業)補助金
 - ◆ 補助額【限度額 1.5億円】
 - ①(投資額 × 5%) + ②(50万円 × 新規雇用者数)
 - ◆ 補助対象
 - 外資比率が50%を超える製造業
- (投資額や新規雇用者数の要件はありません)**

外資比率50%を超える企業を優遇!

- 熊本県企業立地促進補助金(大規模投資企業)補助金

◆ 補助額 【 限度額 50 億円 】

①(投資額 × 8~15%) + ②(50万円 × 新規雇用者数)

※ 投資額に対する補助率は、新規雇用者数によって変動します。

◆ 補助対象

投資額200億円以上、かつ、新規雇用者200名以上

※ 税制優遇もごさいますので、詳細はお問い合わせください。

近年の進出状況

1990年: テラダイン (アメリカ)、2000年: エア・リキード (フランス)

2015年: F-WAVE (ニュージーランド)、2016年: 光隆ジャパン (台湾)

2021年11月 TSMC(台湾)の進出決定!

問い合わせ先

熊本県 商工労働部 企業立地課

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

TEL : 096-333-2330

URL : <http://www.kumamoto-investment.jp/>

<ジェトロ地域進出支援ナビ>

<http://www.jetro.go.jp/invest/region/data/kumamoto/>



大分県の対日投資支援

集積を図りたい分野

1. 自動車・輸送機器関連産業
2. 電子・電気・機械関連産業
3. 素材型産業・造船関連産業
4. 医療関連機器産
5. 環境・エネルギー関連産業
6. 食品・農林水産関連産業
7. サービス産業
8. 情報関連産業
9. 航空関連産業
10. 物流関連産業

補助金、奨励金

大分県産業立地促進補助金

対象企業:製造業

要件:

[新設]新規地元雇用者数10人以上／設備投資額3億円以上
 [増設]新規地元雇用者数 5人以上／設備投資額2億円以上
 補助金:新規雇用者数×50万円(過疎地域の場合は80万円)

+ (土地・建物取得額+投下固定資産額)×3%

限度額:3億3千万円

大分県オフィス系企業誘致促進補助金

対象企業:情報関連産業、BPO・コールセンター業

要件:

[情報関連産業]新規地元雇用者5人以上
 [BPO・コールセンター業]新規地元雇用者10人(中核市30人)以上
 補助金:新規雇用者数×20万円(中核市は10万円)(3年間)

+ (土地・建物取得額+投下固定資産額)×10%

+ オフィス賃料×1/3 (3年間)

+ 専用通信回線使用料×1/2(3年間) 等

限度額:1億円(情報関連産業)

2億8千万円(BPO、コールセンター業)

税制

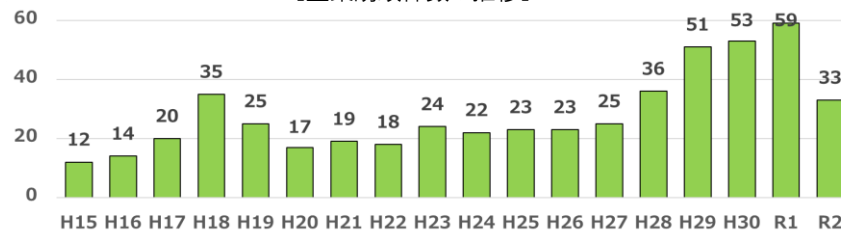
過疎地域自立促進特別措置法

青色申告書を提出する法人で500～2000万円を超える投資をした場合、その投資に係る、事業税3カ年免除、不動産取得税課税免除、固定資産税3カ年免除となる可能性があります。

その他にも、地域未来投資促進法等の税制上の優遇措置があります。

近年の進出状況

【企業誘致件数の推移】



平成24年:(株)ヴァレオジャパン(仏)

平成25年:日本テキサス・インスツルメンツ(株)日出パッケージングセンター(米)

平成30年:(株)コンカー(米)

問い合わせ先

大分県 商工観光労働部

企業立地推進課

〒870-8501

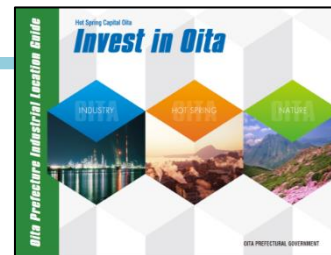
大分県大分市大手町3-1-1

TEL: 097-506-3246

URL:<http://www.ritti-oita.jp/>

ジェトロ地域進出支援ナビ

<http://www.jetro.go.jp/invest/region/data/oita/>



大分県企業立地のご案内(英語版)
<http://www.ritti-oita.jp/>よりダウンロード

宮崎県の対日投資支援

補助限度額 九州最高

50億円



集積を図りたい分野（重点分野）

- ① フードビジネス関連産業
- ② 情報サービス産業
- ③ 環境・エネルギー関連産業
- ④ 医療機器関連産業
- ⑤ 自動車関連産業
- ⑥ 先端産業(ロボット、航空機 等)

支援制度

○ 宮崎県企業立地促進補助金

【製造業・試験研究機関】

- ① 新規県内雇用者数×30万円
- ② 投資額×4%

【情報サービス産業】

- ① 新規県内雇用者数×60万円
- ② 投資額×8%
- ③ 通信回線の使用料×50%(3年間)
- ④ 施設整備費(改装に要する経費等)の3分の1

重点分野にはさらに加算するなど、上乘せ措置有り

※ 大型案件ではさらに手厚い補助がございます。
補助金の詳細はお問い合わせください。

税制

地域再生法や地域未来投資促進法などに基づいた不動産取得税や固定資産税などの減免等の優遇措置が受けられる可能性がございます。

※ 税制の詳細はお問い合わせください。

主な進出状況

昭和62年:バクスター(株)(アメリカ)

平成9年:ポストン・サイエンティフィック・ジャパン(株)(アメリカ)

平成17年:デル(株)(アメリカ)

令和2年:Global Shares Japan(株)(アイルランド)

問い合わせ先

宮崎県 企業立地推進局 企業立地課

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2-10-1

TEL:0985-26-7096

URL:<https://www.miyazaki-investment.com/>



鹿児島県の対日投資支援

集積を図りたい分野

- ①食品関連産業 ②電子関連産業
- ③自動車関連産業 ④環境・新エネルギー分野
- ⑤ヘルスケア産業 ⑥情報通信関連分野 ⑦ロボット関連分野

補助金・奨励金等

(1) 鹿児島県企業立地促進補助金

事業所の設置に必要な費用の一部を補助

- ・ 交付対象:製造業, 情報通信関連業種, 研究開発施設, 流通業等
- ・ 交付額

- ① 設備投資額10億円未満, 新規雇用者数11人以上の場合
設備投資額×2%+30万円×新規雇用者数
- ② 設備投資額10億円以上, 新規雇用者数30人以上の場合
設備投資額×6%

- ・ 交付限度額: ① 6千万円
② 製造業:10億円, その他:5億円

※ 業種や立地する地域によっては, 要件や補助額などが異なることがありますので, 詳細はお問い合わせください。

(2) 鹿児島県生産設備投資促進補助金

施設・設備の増設及び設備の更新に必要な費用の一部を補助

- ・ 交付対象:県外に本社又は親会社がある企業(製造業)
- ・ 交付額:設備投資額(3億円以上)×2% + 移転経費×50%
- ・ 交付限度額:3億円

(3) 原子力発電施設周辺地域企業立地支援給付金

原子力発電所のある薩摩川内市, 阿久根市, いちき串木野市(旧串木野市のみ)に立地すると, 支払った電気料金に対して給付金が受けられます。

※ 詳細はお問い合わせください。

税制

事業税・不動産所得税等については減免等の措置がございます。

※ 詳細はお問い合わせください。

これまでの進出状況

日本モレックス合同会社(アメリカ)

鹿児島オキシトン株式会社(フランス)

BASFジャパン株式会社(ドイツ)

問い合わせ先

鹿児島県 商工労働水産部 産業立地課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10番1号

TEL: 099-286-2983

URL:<http://www.pref.kagoshima.jp/af03/sangyo-rodo/kigyo/richiannai/ritti.html>

ジェットロ地域進出支援ナビ

<https://www.jetro.go.jp/invest/region/data/kagoshima.html>





Invest
Kitakyushu
TRANSforming
the World Together

北九州市の対日投資支援

集積を図りたい分野

IoT産業、環境・エネルギー産業 等

北九州進出のサポート体制

KTIセンター
(Kitakyushu Trade &
Investment Center)

北九州市とJETROが連携して支援

スタートアップビザ
(国家戦略特区)

ビザの申請手続きを市が支援

COMPASS 小倉

スモールオフィス、
コワーキングスペースの提供

アクセラレーションプログラムの
提供



支援制度

お試し
サテライトオフィス

ワークスペース利用料
最大**1,500円/日** (1人最大30日迄)

オフィス立地促進
補助金

建物の年間賃借料の**1/2**(3年間)
【上限1,500万円】

イノベーション
トライアル事業

北九州市内で実証実験を行うスタートアップ企業に対して**実証費用の一部を補助**

近年の進出状況

約50社

業種は幅広く、サービス業、製造業等様々な企業が立地。

北九州市の強み

- ・鉄鋼業、自動車産業、ロボット産業など製造業の集積。
- ・北九州学術研究都市での研究開発プロジェクトや地元企業とのオープンイノベーション支援
- ・2020年、内閣府が「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選定。
- ・2018年、OECDがアジアで初めて本市を「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定。エコタウン事業を中核としたリサイクル産業が集積しているほか、風力発電関連産業の総合拠点化を目指している。

問い合わせ先

北九州市 スタートアップ推進課(国際ビジネス担当)

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 AIMビル8F
TEL:093-551-3605 FAX:093-551-3615

Invest Kitakyushu: <https://www.kti-center.jp/invest-kitakyushu/>

KTI センター: <http://www.kti-center.jp>



KTI
センター



Invest
Kitakyushu



北九州市
紹介動画

福岡市の対日投資支援

集積を図りたい分野・機能

- グローバルビジネス（BtoB）、外資系金融機関
- 知識創造型産業（ソフトウェア・デジタルコンテンツの開発等）
- 健康・医療・福祉関連産業
- 環境・エネルギー関連産業
- 本社機能
- コールセンター

福岡市進出のサポート体制



fgn. FUKUOKA GROWTH NEXT

官民共働のスタートアップ施設内にある2つの窓口で進出をサポート！

◆ Global Startup Centre(GSC)

- ・進出相談
- ・スタートアップビザの受付
- ・ビジネスマッチング
- ・多言語対応（英語、中国語、スペイン語）



URL: <https://startupcafe.jp/support/global-startup-center/>

◆ Global Finance Centre(GFC)

- ・国際金融に特化したワンストップサポート窓口

TEAM FUKUOKA

URL: <https://financialcity.fukuoka.jp/> **Global Finance Centre TEAM FUKUOKA**

補助金

【福岡市企業立地交付金制度】

賃料補助 + **雇用補助** + **設立費用**

賃料の1/4
(1年)

上限 **1,500**万円

50千円～
1,000千円/人
(1回)

上限 **5,000**万円

対象経費の
1/2

上限 **300**万円

※オフィスの延床面積60㎡以上、常用雇用者3人以上が要件
※対象分野、適用要件など詳細については、お問い合わせください。

近年の進出実績

年度	2016	2017	2018	2019	2020
企業数	18社	13社	14社	15社	12社

問い合わせ先

福岡市 経済観光文化局 創業・立地推進部 企業誘致課
〒810-8620 福岡県福岡市中央区天神1-8-1 14階

TEL: 092-711-4849 FAX: 092-733-5748

URL: https://www.city.fukuoka.lg.jp/keizai/k-yuchi/business/g01_06.html

ジェットロ地域進出支援ナビ

<https://www.jetro.go.jp/invest/region/data/fukuoka-city/>

★まずはお気軽にお問い合わせください！



熊本市の対日投資支援

集積を図りたい分野

製造・物流関連産業、情報通信関連産業、本社機能移転

熊本市進出へのサポート体制

企業立地補助制度

補助金

企業立地促進補助金

1. 用地取得等補助金

土地取得費の10%～15%

賃料（土地・建物）の1/3～1/2の12カ月～36カ月分

※敷金、共益費などは除く

2. 設備投資補助金

投下固定資産（建物、償却資産）取得額の4%～15%

3. 雇用促進補助金

新規等常用従業員1人につき

①正社員 80万円/年～120万円/年

②転換正社員 40万円/年～80万円/年

③正社員以外 10万円/年

4. クラウドサービス支援補助金

クラウドサービス利用に係る経費の1/3を36カ月分

近年の進出状況

平成26年：1社（アイルランド）

令和3年：1社（台湾）

問い合わせ先

熊本市 経済観光局 産業振興課 企業立地推進室

〒860-8601 熊本県熊本市中央区手取本町1番1号

TEL：096-328-2386

URL：<https://higo-rich.jp/>



ジェトロ地域進出支援ナビ

<http://www.jetro.go.jp/invest/region/kumamoto-city/>

目次

0 1	九州と世界の貿易動向		
	九州と世界の貿易動向	-----	1
0 2	国・地域別の貿易動向		
	韓国	-----	2
	中国	-----	4
	台湾	-----	6
	香港	-----	8
	ベトナム	-----	10
	タイ	-----	12
	シンガポール	-----	14
	マレーシア	-----	16
	フィリピン	-----	18
	インドネシア	-----	20
	ミャンマー	-----	22
	インド	-----	24
	米国	-----	26
	オーストラリア	-----	28
0 3	産業別の貿易動向		
	自動車	-----	30
	自動車の部分品	-----	31
	半導体等電子部品	-----	32
	食料品	-----	33
	農水産物及び加工品①	-----	34
	農水産物及び加工品②	-----	35

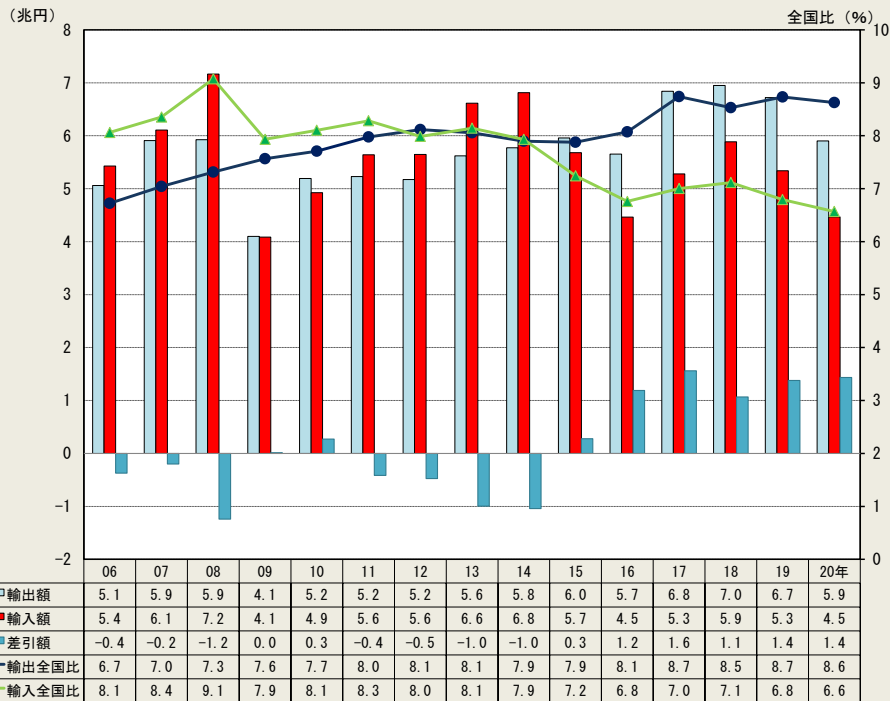


九州と世界の貿易動向

九州の対世界貿易額と全国比の推移

●2020年の九州の貿易額

輸出総額: 5兆9,011億円 (対前年 1.2%減) → 2年連続のマイナス
 輸入総額: 4兆4,676億円 (対前年 1.8%減) → 2年連続のマイナス
 差引額 : 1兆4,335億円 (対前年 4.0%増) → 6年連続の輸出超過

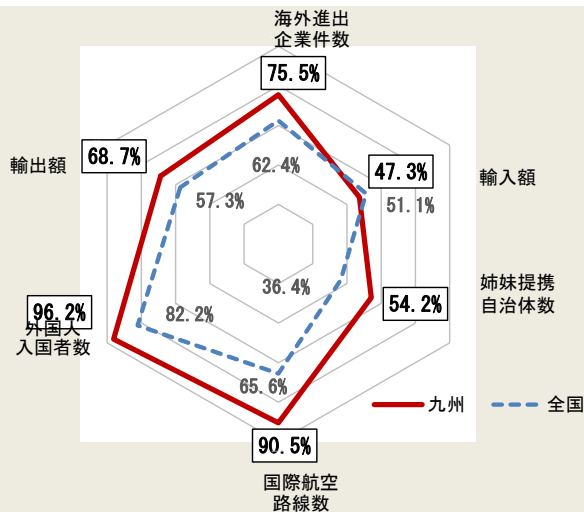


出所: 財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州と「全国」のアジア度

●九州とアジア地域の経済交流の深まりを見るため、「輸出額」、「輸入額」、「海外進出企業件数」、「外国人入国者数」、「国際航空路線数」、「姉妹提携自治体数」の6項目を取り上げ、世界全体に占めるアジアの割合を「アジア度」として算出。

●2020年の九州と全国の「アジア度」を比較すると、「輸入額」を除いた5項目について、九州の「アジア度」が全国よりも高く、九州経済はアジアとの結びつきが強いことがうかがえる。なお、輸出額のアジア度(68.7%)は、2000年以降で過去最高。(従来は2019年の62.9%)



項目	(単位)	九州			全国		
		アジア	世界	アジア度	アジア	世界	アジア度
海外進出企業件数	(件)	857	1,135	75.5%	20,560	32,938	62.4%
輸入額	(億円)	21,112	44,676	47.3%	346,779	678,371	51.1%
姉妹都市提携自治体数	(件)	103	190	54.2%	649	1,783	36.4%
国際航空路線数	(路線)	19	21	90.5%	160	244	65.6%
外国人入国者数	(人)	389,260	404,824	96.2%	3,640,870	4,427,217	82.2%
輸出額	(億円)	40,537	59,011	68.7%	392,204	684,005	57.3%

備考: 「輸入額」「外国人入国者数」「輸出額」は2018年の数値、「海外進出企業件数」は2019年までの累計件数、「姉妹都市提携自治体数」は2020年10月時点、「国際航空路線数」は下記出所より確認できる数値を掲載。

出所: 財務省「貿易統計」、(公財)九州経済調査協会「九州・山口企業の海外進出2019」、法務省「出入国管理統計年報」、東洋経済新報社「海外進出企業総覧2020(国別編)」、JTBパブリッシング「JTB時刻表2019年4月号」、(一財)自治体国際化協会ホームページより九州経済産業局作成。



韓国 Republic of Korea



経済概況

面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,178万人(出典:2019年、韓国統計庁)
首都	ソウル
民族	韓民族
言語	韓国語
宗教	仏教(約762万人)、プロテスタント(約968万人)、カトリック(約389万人)等(出典:2015年、韓国統計庁)
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.9	3.2	2.9	2.0	▲1.0
名目GDP総額	10億ドル	1,500	1,623	1,725	1,646	1,631 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	29,287	31,605	33,429	31,929	31,637 *
輸出額	億ドル	4,954	5,737	6,049	5,422	5,125
	前年比(%)	▲5.9	15.8	5.4	▲10.4	▲5.5
輸入額	億ドル	4,062	4,785	5,352	5,033	4,676
	前年比(%)	▲6.9	17.8	11.9	▲6.0	▲7.1
為替レート(1ドル)	ウォン	1,160.77	1,131.00	1,100.16	1,165.36	1,180.27
為替レート(1ウォン)	円	0.09	0.10	0.10	0.09	0.09

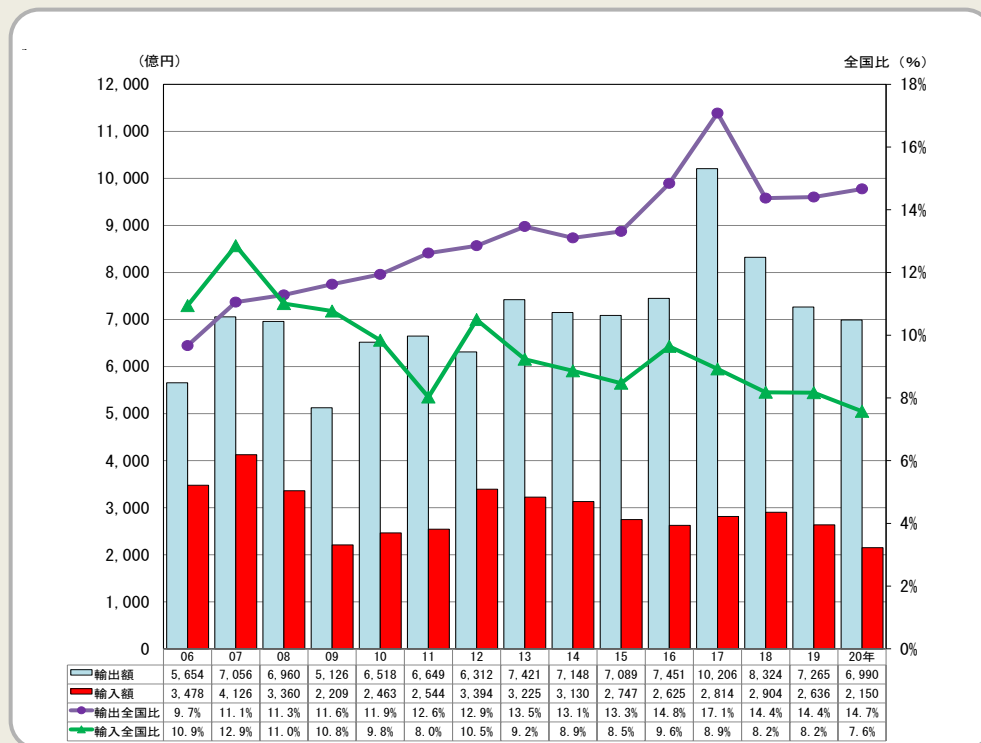
出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、
*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)
より九州経済産業局作成

九州と韓国の貿易動向

- 2020年の九州の対韓国貿易額
輸出総額：6,990億円(対前年▲3.8%) → 3年連続のマイナス
輸入総額：2,150億円(対前年▲18.4%) → 2年連続のマイナス
差引額：4,840億円(対前年 4.5%)
- 輸出品目(輸出額多い順)半導体等電子部品、半導体等製造装置、科学光学機器
<寄与度↑>半導体等製造装置(+2.8%)、科学光学機器(+2.0%)
<寄与度↓>自動車(▲2.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲2.6%)
- 輸入品目(輸入額多い順)鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、有機化学品
<寄与度↑>半導体等製造装置(+0.7%)、植物性原材料(+0.4%)
<寄与度↓>鉄鋼のフラットロール製品(▲4.4%)、自動車の部品の(▲3.4%)

九州の対韓国貿易額の推移

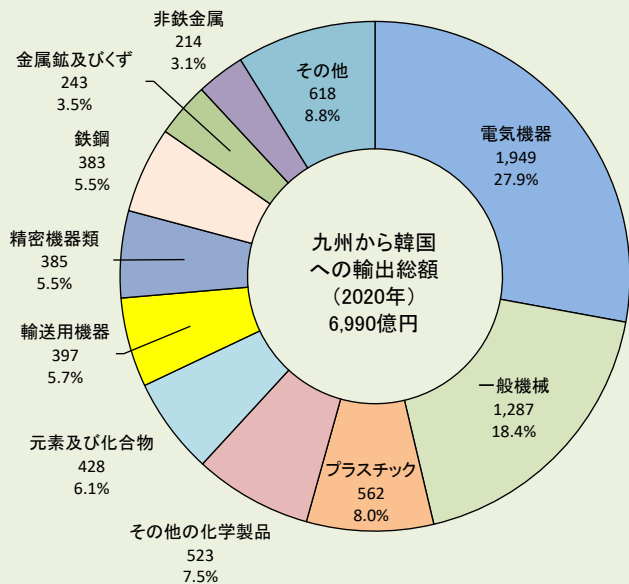


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・韓国の主要貿易品目

【輸出品目上位】 半導体等電子部品、半導体等製造装置、科学光学機器

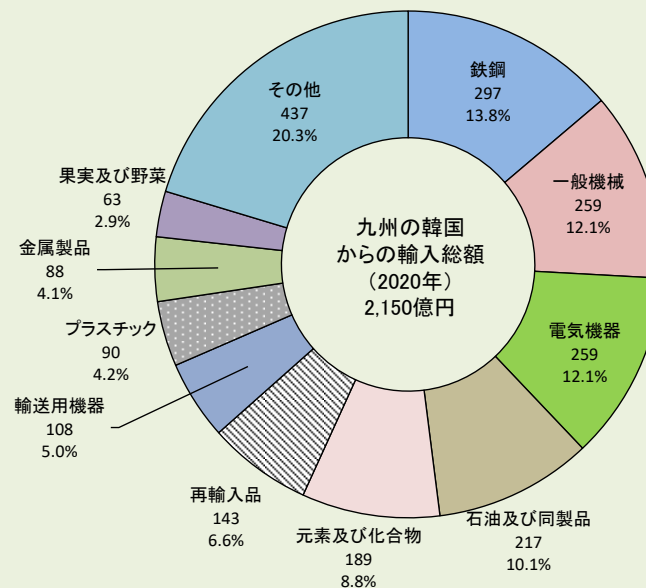
九州から韓国への輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	1,677	24.0%	▲8.7%	62.2%
半導体等製造装置	一般機械	944	13.5%	▲27.5%	19.4%
科学光学機器	精密機器類	385	5.5%	▲61.3%	19.9%
自動車	輸送用機器	381	5.4%	▲35.2%	86.1%
有機化合物	元素及び化合物	358	5.1%	▲19.2%	15.3%
鉄鋼のフラットロール製品 (鉄鋼くず)	鉄鋼	334	4.8%	▲36.3%	18.4%
電池	金属鉱及びびくず	197	2.8%	▲22.4%	21.8%
銅及び同合金	電気機器	115	1.6%	▲10.8%	56.3%
無機化合物	非鉄金属	83	1.2%	▲154.6%	14.1%
その他	元素及び化合物	69	1.0%	▲11.4%	10.6%
総額		6,990	100%	▲3.8%	14.7%

【輸入品目上位】 鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、有機化合物

九州の韓国からの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	251	11.7%	▲31.4%	13.5%
石油製品	石油及び同製品	217	10.1%	▲6.4%	7.0%
有機化合物	元素及び化合物	148	6.9%	▲2.2%	13.3%
自動車の部分品	輸送用機器	98	4.6%	▲47.8%	22.8%
半導体等製造装置	一般機械	66	3.0%	▲36.6%	14.0%
電気回路等の機器	電気機器	61	2.8%	▲27.1%	27.5%
野菜	果実及び野菜	58	2.7%	▲5.2%	19.2%
魚介類	魚介類及び同調製品	41	1.9%	▲22.8%	8.8%
無機化合物	元素及び化合物	41	1.9%	▲4.0%	7.4%
抗生物質製剤	医薬品	36	1.7%	▲16.8%	36.6%
その他		1,134	52.7%	-	-
総額		2,150	100%	▲18.4%	7.6%



九州と中国の貿易動向

●2020年の九州の対中国貿易額

輸出総額：1兆6,813億円（対前年+9.6%） → 2年ぶりのプラス
 輸入総額：8,993億円（対前年▲10.6%） → 2年連続のマイナス
 差引額：7,820億円（対前年+48.1%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、銅及び同製品

〈寄与度↑〉自動車（+3.6%）、半導体等製造装置（+2.5%）
 〈寄与度↓〉有機化合物（▲2.8%）、石油製品（▲0.4%）

●輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、自動車の部分品、無機化合物

〈寄与度↑〉植物性油かす（+0.5%）、
 石消毒剤・殺虫剤及び殺菌剤類（+0.4%）
 〈寄与度↓〉自動車の部分品（▲1.7%）、電気回路等の機器（▲1.0%）

経済概況

面積	約960万km ² （日本の約26倍）
人口	約14億人
首都	北京
民族	漢民族（総人口の約92%）及び55の少数民族
言語	中国語
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政体	人民民主専政
主要産業	第一次産業（名目GDPの7%）、第二次産業（同39%）、第三次産業（同54%） （注）労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。2015年に第三次産業の比率は50%を超えた。

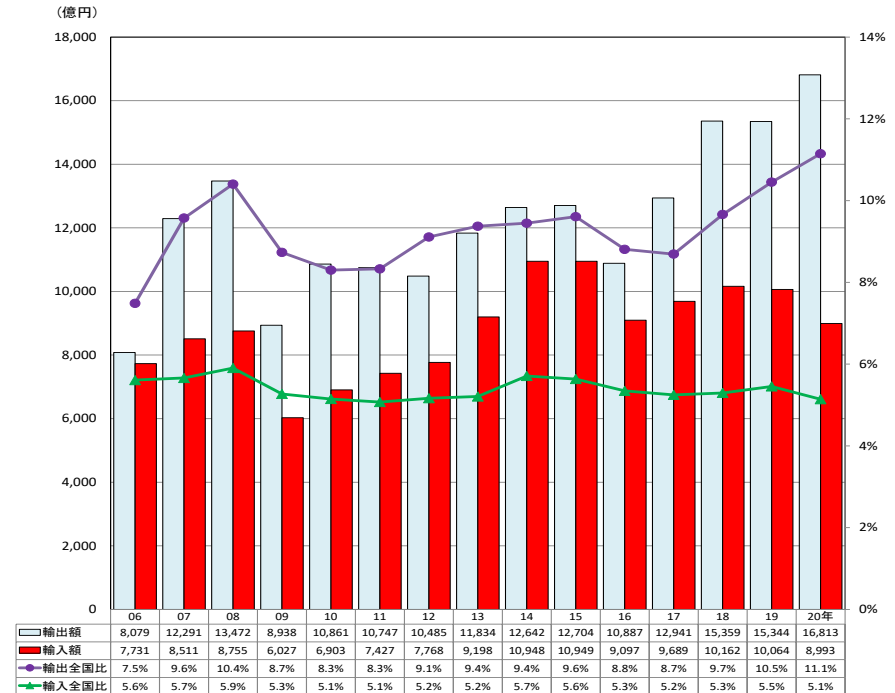
マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.8	6.9	6.7	6.0	2.3
名目GDP総額	10億ドル	11,227	12,265	13,842	14,341	14,723 *
一人当たりGDP（名目）	ドル	8,120	8,823	9,920	10,243	10,511 *
輸出額	億ドル	20,976	22,633	24,867	24,995	25,904
	前年比(%)	▲7.7	7.9	9.9	0.5	3.6
輸入額	億ドル	15,879	18,438	21,358	20,784	20,567
	前年比(%)	▲5.5	16.1	15.8	▲2.7	▲1.0
為替レート（1ドル）	人民元	6.65	6.76	6.62	6.91	6.90
為替レート（1人民元）	円	16.37	16.60	16.69	15.78	15.47

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

九州の対中国貿易額の推移



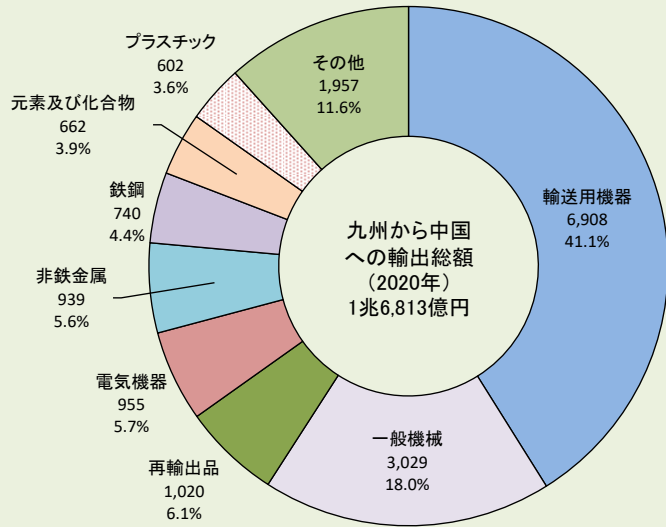
出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成



九州・中国の主要貿易品目

【輸出品目上位】自動車、半導体等製造装置、銅及び同合金

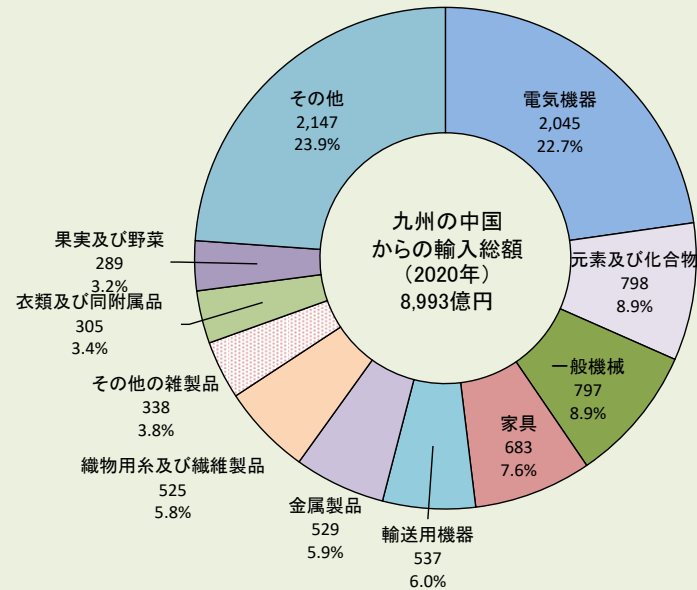
九州から中国への輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	6,799	40.4%	8.8%	74.6%
半導体等製造装置	一般機械	1,905	11.3%	25.8%	19.9%
銅及び同合金	非鉄金属	766	4.6%	48.0%	25.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	581	3.5%	25.1%	18.6%
有機化合物	元素及び化合物	578	3.4%	▲42.8%	12.7%
半導体等電子部品	電気機器	463	2.8%	▲11.8%	4.6%
原動機	一般機械	366	2.2%	▲14.4%	7.7%
科学光学機器	精密機器類	164	1.0%	4.2%	2.4%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	144	0.9%	110.9%	19.9%
事務用機器	一般機械	143	0.9%	14.6%	7.1%
その他		4,903	29.2%	—	—
総額		16,813	100%	9.6%	11.1%

【輸入品目上位】半導体等製造装置、自動車の部分品、無機化合物

九州の中国からの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	732	8.1%	▲6.3%	15.8%
自動車の部分品	輸送用機器	416	4.6%	▲29.3%	16.4%
無機化合物	元素及び化合物	409	4.5%	▲18.4%	19.8%
有機化合物	元素及び化合物	383	4.3%	▲19.0%	11.7%
家庭用電気機器	電気機器	298	3.3%	0.2%	6.3%
野菜	果実及び野菜	219	2.4%	▲9.0%	9.0%
加熱用・冷却用機器	一般機械	196	2.2%	▲12.4%	7.2%
プラスチック製品	その他の雑製品	188	2.1%	6.1%	4.9%
重電機器	電気機器	182	2.0%	▲22.4%	5.6%
植物油かす	飼料	181	2.0%	34.1%	50.6%
その他		5,788	64.4%	—	—
総額		8,993	100%	▲10.6%	5.1%

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成



九州と台湾の貿易動向

●2020年の九州の対台湾貿易額

輸出総額：3,443億円（対前年+1.0%） → 3年ぶりのプラス
 輸入総額：2,957億円（対前年+6.4%） → 2年ぶりのプラス
 差引額：486億円（対前年▲22.9%）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、半導体等製造装置
 〈寄与度↑〉科学光学機器（+1.8%）、鉄鋼のフラットロール製品（+0.5%）
 〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲2.1%）、有機化合物（▲1.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、非鉄金属鉱、科学光学機器
 〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+6.9%）、非鉄金属鉱（+2.7%）
 〈寄与度↓〉石油製品（▲0.6%）、有機化合物（▲0.6%）

経済概況

面積	3万6千km ² （九州よりやや小さい）
人口	約2,360万人（2020年2月現在）
主要都市	台北、台中、高雄
言語	中国語、台湾語、客家語等
宗教	仏教、道教、キリスト教
政体	三民主義（民族独立、民権伸長、民生安定）に基づく民主共和制 五権分立（行政、立法、監察、司法、考試）
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

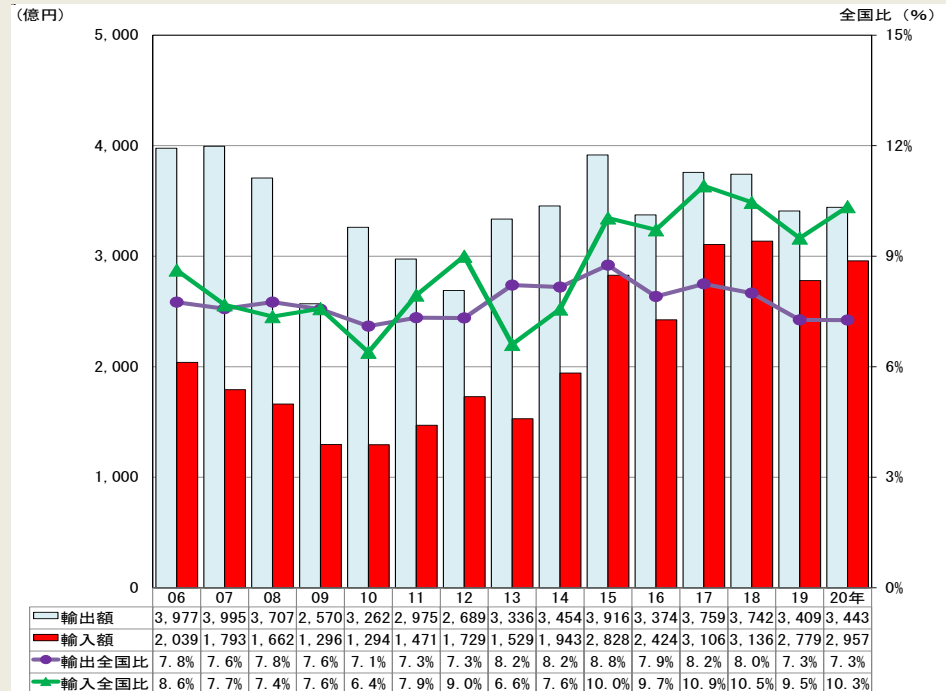
マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.2	3.3	2.8	3.0	3.1
名目GDP総額	10億ドル	543	591	609	612	669*
一人当たりGDP（名目）	ドル	23,091	25,080	25,838	25,941	28,371*
輸出額	億ドル	2,792	3,155	3,340	3,292	3,452
	前年比(%)	▲1.8	13.0	5.9	▲1.5	4.9
輸入額	億ドル	2,292	2,572	2,848	2,857	2,858
	前年比(%)	▲3.0	12.2	10.7	0.3	0.1
為替レート（1ドル）	台湾元	32.33	30.44	30.16	30.93	29.58
為替レート（1台湾元）	円	3.37	3.68	3.66	3.53	3.61

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（令和2年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成

九州の対台湾貿易額の推移

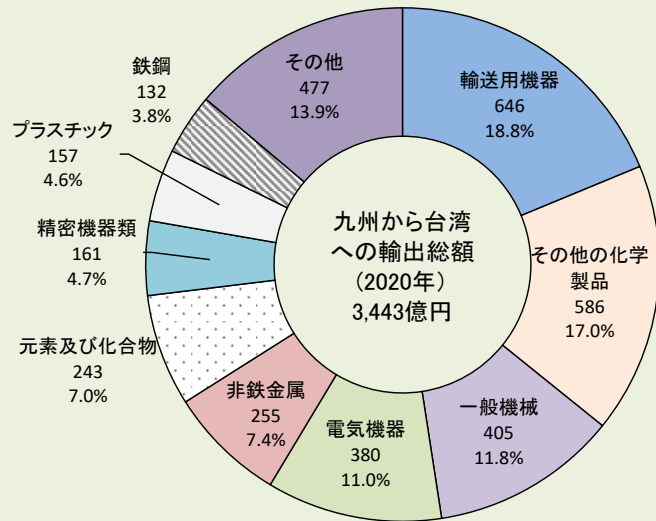


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・台湾の主要貿易品目

【輸出品目上位】自動車、半導体等電子部品、半導体等製造装置

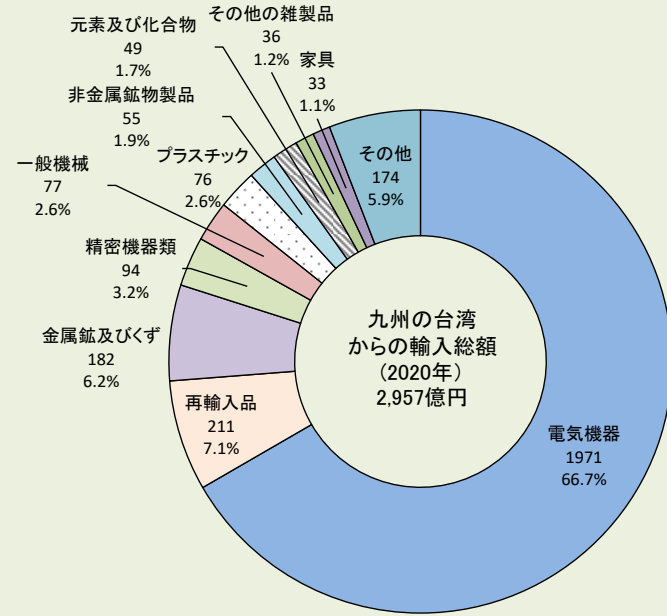
九州から台湾への輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	637	18.5%	▲3.4%	23.5%
半導体等電子部品	電気機器	279	8.1%	▲0.2%	3.4%
半導体等製造装置	一般機械	253	7.3%	▲21.9%	4.9%
銅及び合金	非鉄金属	213	6.2%	2.5%	15.4%
有機化合物	元素及び化合物	161	4.7%	▲25.3%	11.9%
科学光学機器	精密機器類	161	4.7%	63.8%	10.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	98	2.9%	21.3%	15.7%
無機化合物	元素及び化合物	81	2.4%	15.9%	11.6%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	42	1.2%	22.5%	12.1%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	34	1.0%	5.8%	6.8%
その他		1,484	43.1%	-	-
総額		3,443	100.0%	1.0%	7.3%

【輸入品目上位】半導体等電子部品、非鉄金属鉱、科学光学機器

九州の台湾からの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	1,922	65.0%	11.0%	16.2%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	100	3.4%	285.3%	71.3%
科学光学機器	精密機器類	94	3.2%	▲13.0%	13.8%
非鉄金属くず	金属鉱及びびくず	56	1.9%	16.8%	40.0%
有機化合物	元素及び化合物	35	1.2%	▲32.2%	11.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	21	0.7%	▲7.1%	6.4%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	15	0.5%	▲3.1%	6.8%
事務用機器	一般機械	13	0.5%	34.9%	1.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	13	0.4%	▲21.2%	2.3%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	12	0.4%	▲9.5%	14.1%
その他		676	22.9%	-	-
総額		2,957	100.0%	6.4%	10.3%



経済概況

面積	1,110.2km ² (東京都の約半分)
人口	約747万人(2020年)
言語	中国語(一般には広東語が多い)と英語
宗教	仏教、道教、キリスト教
政体	中華人民共和國香港特別行政区
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.2	3.8	2.8	▲ 1.2	▲ 6.1
名目GDP総額	10億ドル	321	341	362	366	349 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	43,491	46,032	48,313	48,626	46,753 *
輸出額	億ドル	4,626	4,976	5,312	5,096	5,071
	前年比(%)	▲ 0.6	7.6	6.7	▲ 4.1	▲ 0.5
輸入額	億ドル	5,170	5,595	6,029	5,638	5,508
	前年比(%)	▲ 1.1	8.2	7.8	▲ 6.5	▲ 2.3
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.76	7.79	7.84	7.84	7.76
為替レート(1香港ドル)	円	14.02	14.39	14.09	13.91	13.76

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

九州と香港の貿易動向

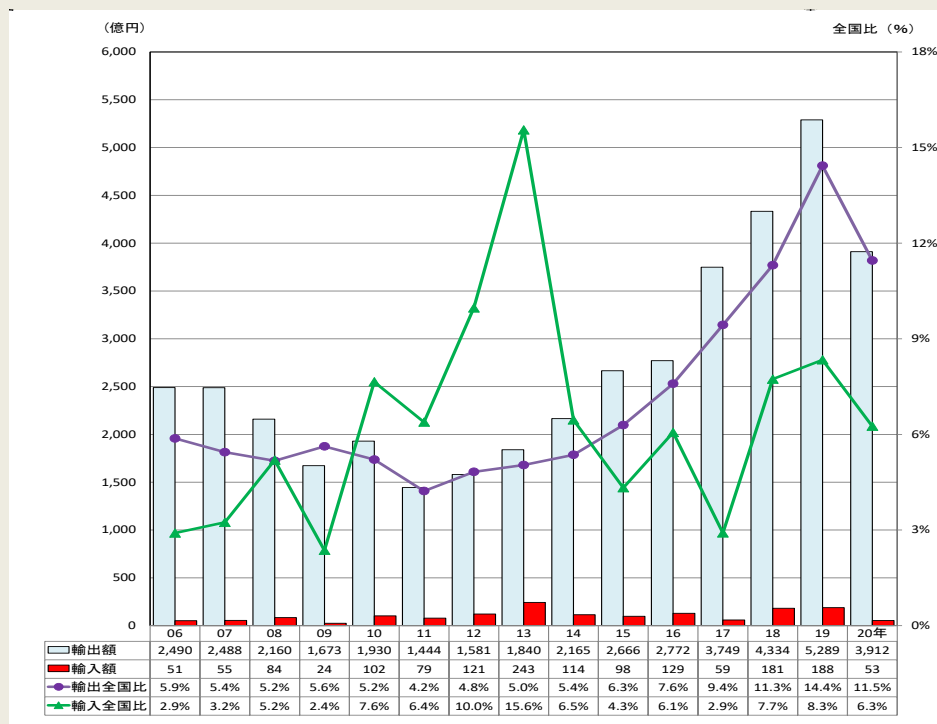
●2020年の九州の対香港貿易額

輸出総額：3,912億円(対前年▲26.1%) → 9年ぶりのマイナス
 輸入総額：53億円(対前年▲71.5%) → 3年ぶりのマイナス
 差引額：3,858億円(対前年▲24.4%)

●輸出品目(輸出額多い順) 半導体等電子部品、船舶類、電気回路等の機器
 <寄与度↑> コンデンサー(+0.4%)、原動機(+0.3%)
 <寄与度↓> 半導体等電子部品(▲24.3%)、電気回路等の機器(▲2.0%)

●輸入品目(輸入額多い順) 魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず
 <寄与度↑> 非鉄卑金属くず(+0.3%)、半導体等電子部品(+0.04%)
 <寄与度↓> 魚介類(▲66.1%)、時計及び部分品(▲0.01%)

九州の対香港貿易額の推移

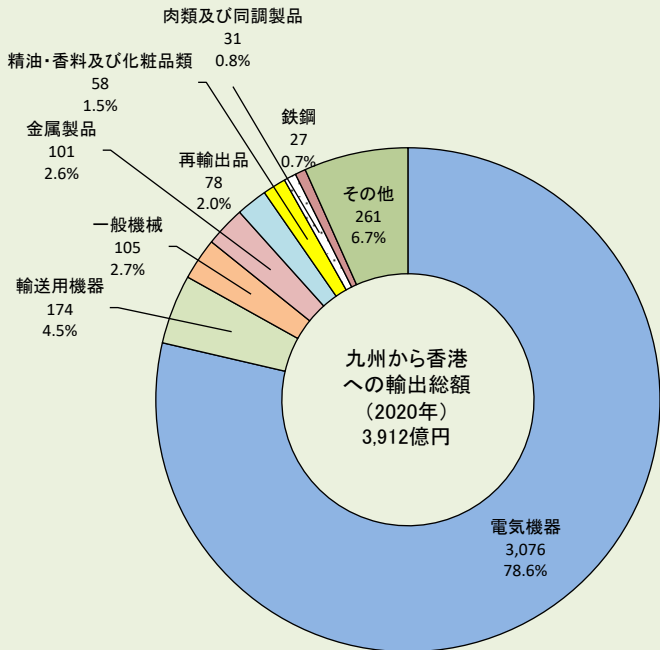


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・香港の主要貿易品目

【輸出品目上位】 半導体等電子部品、船舶類、電気回路等の機器

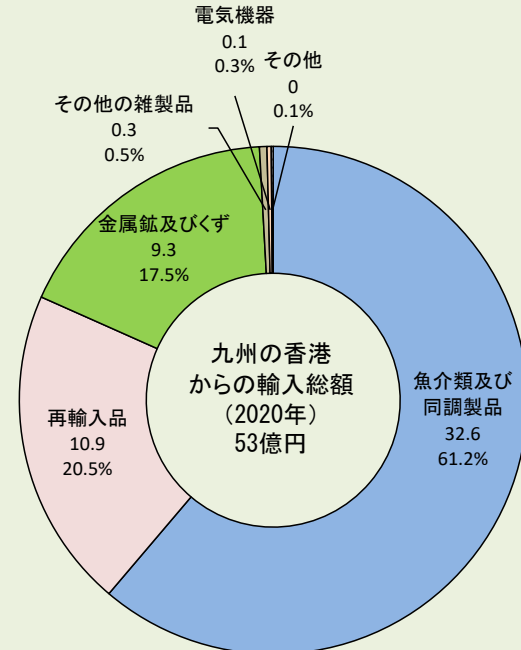
九州から香港への輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	2,966	75.8%	▲30.2%	46.8%
船舶類	輸送用機器	135	3.5%	10.4%	41.4%
電気回路等の機器	電気機器	56	1.4%	▲65.9%	2.8%
化粧品	精油・香料及び化粧品類	53	1.3%	36.4%	4.0%
自動車	輸送用機器	37	0.9%	▲8.8%	6.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	26	0.7%	26.9%	15.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	25	0.6%	▲33.0%	10.4%
コンデンサー	電気機器	23	0.6%	31757.2%	1.7%
塗料類	染料・なめし剤及び着色剤	22	0.6%	86.4%	11.4%
原動機	一般機械	16	0.4%	29098.9%	9.5%
その他		554	14.2%	-	-
総 額		3,912	100.0%	▲26.1%	11.5%

【輸入品目上位】 魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず

九州の香港からの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
魚介類	魚介類及び同調製品	32.6	61.1%	▲79.2%	53.7%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	6.0	11.2%	11.8%	33.6%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	0.5	0.9%	6.0%	87.2%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.2	0.3%	44.7%	3.1%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.1	0.2%	29.4%	2.4%
半導体等電子部品	電気機器	0.1	0.2%	346.5%	0.9%
運動用具	その他の雑製品	0.1	0.2%	-	11.6%
電気計測機器	電気機器	0.0	0.1%	28.1%	1.1%
時計及び部分品	精密機器類	0.0	0.0%	▲34.2%	0.1%
製造たばこ	たばこ	0.0	0.0%	-	55.1%
その他		13.8	25.9%	-	-
総 額		53.4	100.0%	▲71.5%	6.3%

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成



経済概況

面積	32万9,241km ²
人口	約9,762万人(2020年、越統計総局)
首都	ハノイ
民族	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
言語	ベトナム語
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教他
政体	社会主義共和国
主要産業	農林水産業(GDPに占める割合14.85%)、鉱工業・建築業(33.72%) サービス業(41.63%)

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.2	6.8	7.1	7.0	2.9
名目GDP総額	億ドル	2,053	2,238	2,452	2,619	2,712*
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,202	2,373	2,570	2,714	2,779*
輸出額	億ドル	1,766	2,151	2,437	2,643	2,826
	前年比(%)	9.0	21.8	13.3	8.4	7.0
輸入額	億ドル	1,748	2,130	2,369	2,534	2,630
	前年比(%)	5.6	21.9	11.2	7.0	3.8
為替レート(1ドル)	ドン	21,932	22,370	22,602	23,050	-*

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

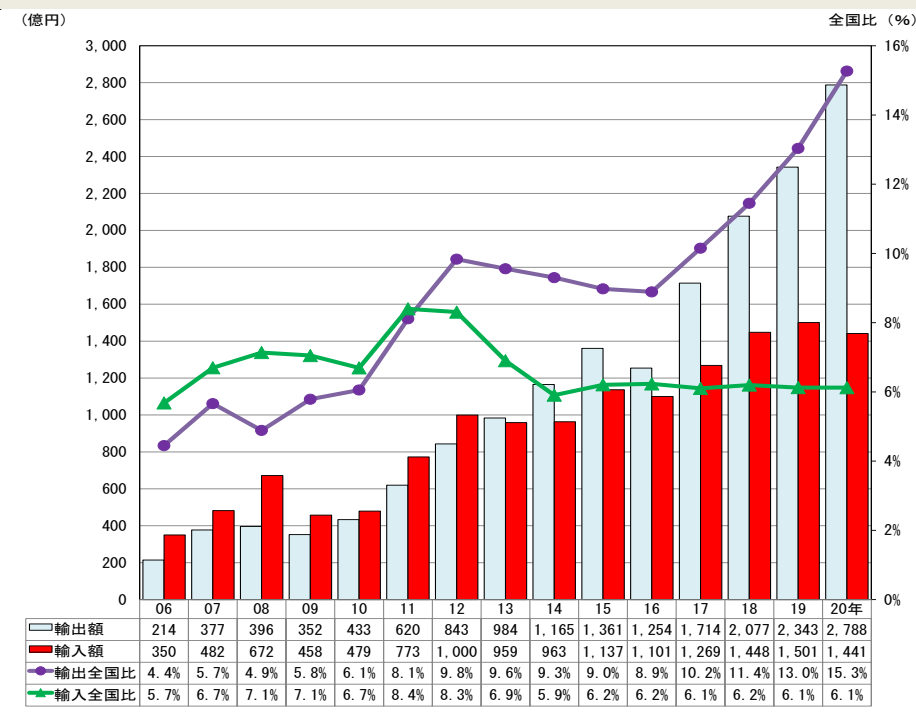
九州とベトナムの貿易動向

- 2020年の九州の対ベトナム貿易額
 輸出総額：2,788億円(対前年+19.0%) → 4年連続のプラス
 輸入総額：1,441億円(対前年▲4.0%) → 4年ぶりのマイナス
 差引額：1,347億円(対前年+60.0%)

- 輸出品目(輸出額多い順) 半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、科学光学機器
 <寄与度↑> 半導体等電子部品(+16.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(+1.7%)
 <寄与度↓> 電気回路等の機器(▲1.5%)、荷役機械(▲1.1%)

- 輸入品目(輸入額多い順) 絶縁電線及び絶縁ケーブル、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、パルプウッド等
 <寄与度↑> ポンプ及び遠心分離機(+0.3%)、メリヤス編み及びクロセ編み衣類(+0.3%)
 <寄与度↓> 絶縁電線及び絶縁ケーブル(▲3.0%)、合金鉄(▲0.6%)

九州の対ベトナム貿易額の推移

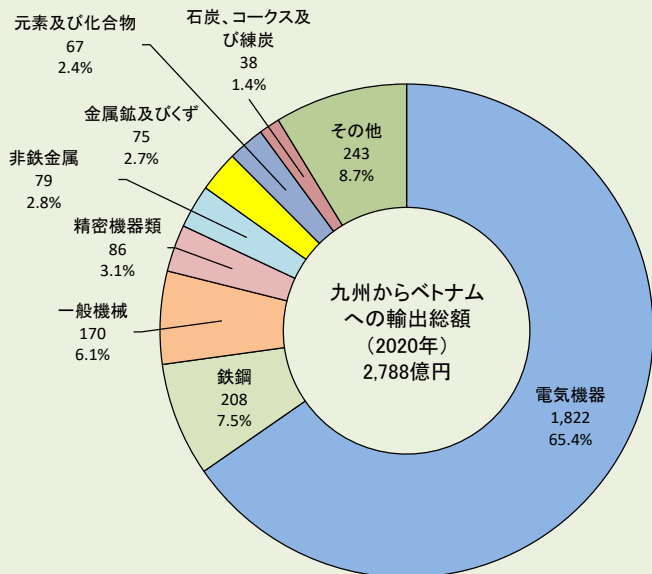


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・ベトナムの主要貿易品目

【輸出品目上位】 半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、科学光学機器

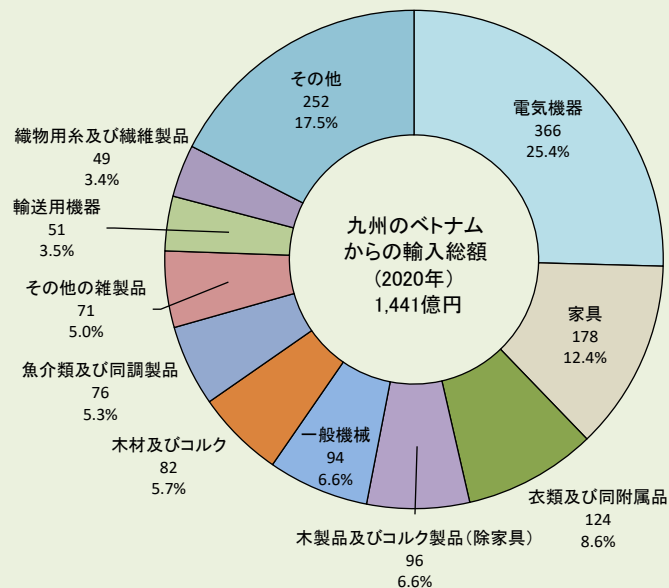
九州からベトナムへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	1,757	63.0%	28.8%	72.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	197	7.1%	25.0%	17.0%
科学光学機器	精密機器類	86	3.1%	11.7%	13.6%
鋼及び同合金	非鉄金属	75	2.7%	83.1%	26.9%
事務用機器	一般機械	74	2.7%	13.1%	11.3%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	73	2.6%	30.6%	7.8%
有機化合物	元素及び化合物	65	2.3%	5.5%	26.6%
コークス	石炭、コークス及び練炭	38	1.4%	222.6%	39.6%
電気回路等の機器	電気機器	36	1.3%	▲48.6%	3.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	25	0.9%	6.7%	11.7%
その他		361	13.0%	—	—
総 額		2,788	100%	19.0%	15.3%

【輸入品目上位】 絶縁電線及び絶縁ケーブル、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、パルプウッド等

九州のベトナムからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	295	20.5%	▲13.3%	13.3%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	86	5.9%	4.8%	4.0%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品 (除家具)	84	5.8%	▲9.2%	15.0%
プラスチック製品	その他の雑製品	58	4.0%	2.4%	7.8%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	40	2.7%	▲8.9%	7.3%
魚介類	魚介類及び同調製品	36	2.5%	▲5.1%	6.9%
自動車の部分品	輸送用機器	31	2.1%	▲16.9%	7.0%
原動機	一般機械	30	2.1%	▲1.8%	21.0%
衣類	衣類及び同附属品	30	2.1%	▲8.3%	1.6%
音響・映像機器 (含部品)	電気機器	25	1.8%	▲0.4%	6.3%
その他		727	50.4%	—	—
総 額		1,441	100.0%	▲4.0%	6.1%



経済概況

面積	51万4千km ² (日本の約1.4倍)
人口	6,641万人(2018年)(タイ国勢調査)
首都	バンコク
民族	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言語	タイ語
宗教	仏教 94%、イスラム教 5%
政体	立憲君主制
主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.4	4.2	4.2	2.3	▲ 6.1
名目GDP総額	10億ドル	413	456	507	544	502 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	5,995	6,596	7,294	7,816	— *
輸出額	億ドル	2,154	2,366	2,530	2,463	2,315
	前年比(%)	0.5	9.9	6.9	▲ 2.6	▲ 6.0
輸入額	億ドル	1,942	2,215	2,482	2,363	2,070
	前年比(%)	▲ 4.2	14.1	12.0	▲ 4.8	▲ 12.4
為替レート(1ドル)	バーツ	35.30	33.94	32.31	31.05	31.29
為替レート(1バーツ)	円	3.08	3.31	3.42	3.51	3.41

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

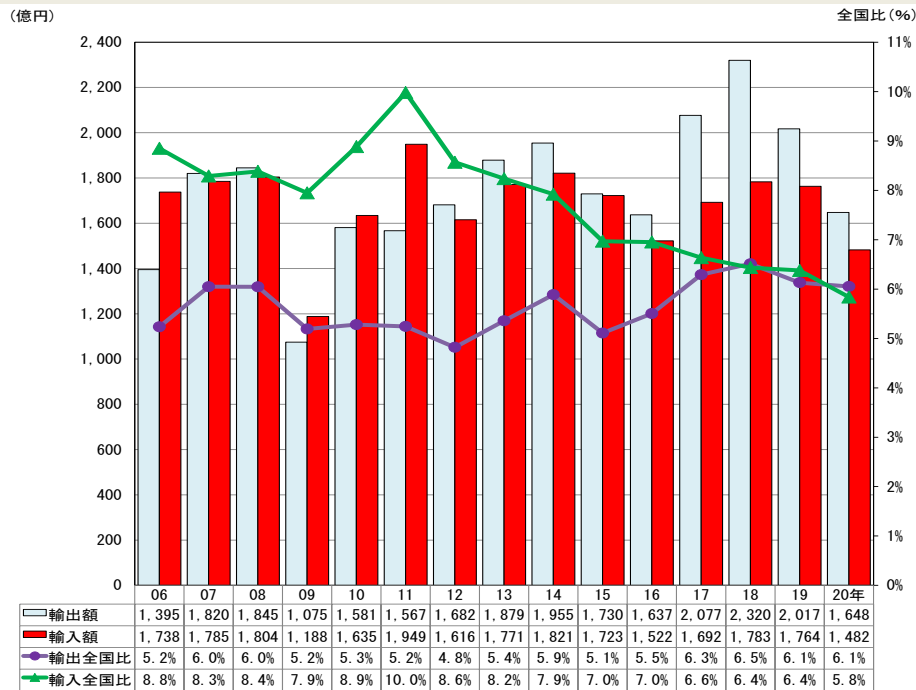
九州とタイの貿易動向

- 2020年の九州の対タイ貿易額
 輸出総額：1,648億円(対前年▲18.3%) → 2年連続のマイナス
 輸入総額：1,482億円(対前年▲15.9%) → 2年連続のマイナス
 差引額：166億円(対前年▲34.7%)

- 輸出品目(輸出額多い順) 鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、鉄鋼の棒・形鋼及び線
 <寄与度↑> 科学光学機器(+0.6%)、織物用糸(+0.4%)
 <寄与度↓> 鉄鋼のフラットロール製品(▲7.5%)、鉄鋼の棒・形鋼及び線(▲2.9%)

- 輸入品目(輸入額多い順) 自動車の部分品、天然ゴム、音響・映像機器(含部品)
 <寄与度↑> ポンプ及び遠心分離機(+0.4%)、事務用機器(+0.3%)
 <寄与度↓> 自動車の部分品(▲3.3%)、天然ゴム(▲2.2%)

九州の対タイ貿易額の推移

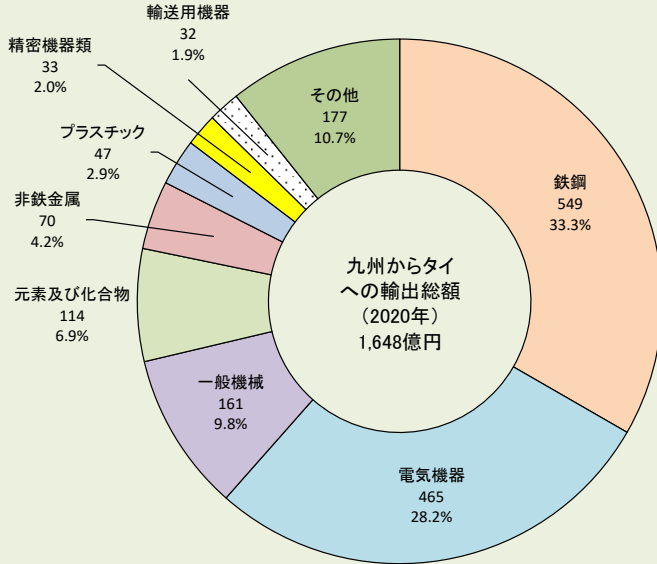


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・タイの主要貿易品目

【輸出品目上位】 鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、鉄鋼の棒・形鋼及び線

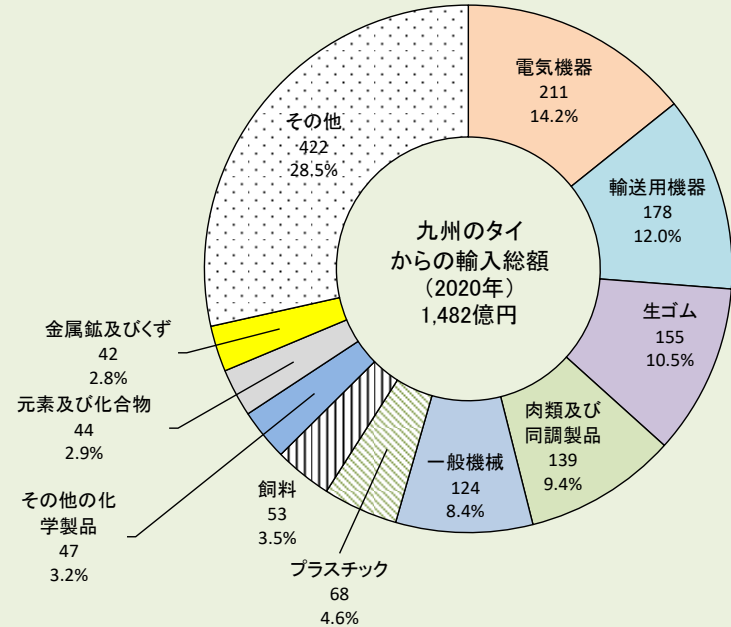
九州からタイへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比	全国比
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	421	25.5%	▲26.4%	22.1%
半導体等電子部品	電気機器	406	24.6%	▲7.6%	21.2%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	127	7.7%	▲31.2%	22.2%
有機化合物	元素及び化合物	102	6.2%	▲24.7%	26.7%
銅及び合金	非鉄金属	55	3.3%	▲27.8%	6.0%
科学光学機器	精密機器類	33	2.0%	57.4%	5.1%
建設用・鉱山用機械	一般機械	30	1.8%	9.7%	16.5%
塗料類	染料・なめし剤及び着色剤	17	1.0%	▲0.5%	11.0%
金属加工機械	一般機械	15	0.9%	▲41.8%	3.5%
魚介類	魚介類及び同調製品	15	0.9%	▲39.0%	7.3%
その他		428	26.0%	-	-
総 額		1,648	100.0%	▲18.3%	6.1%

【輸入品目上位】 自動車の部分品、天然ゴム、音響・映像機器(含部品)

九州のタイからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比	全国比
自動車の部分品	輸送用機器	152	10.3%	▲27.8%	19.0%
天然ゴム	生ゴム	148	10.0%	▲20.7%	54.6%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	60	4.1%	▲2.8%	6.4%
家庭用電気機器	電気機器	46	3.1%	10.6%	5.9%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	45	3.0%	8.0%	9.9%
非鉄金属屑	金属鉱及びびくず	32	2.2%	▲21.4%	16.8%
科学光学機器	精密機器類	32	2.1%	▲5.4%	3.5%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	30	2.0%	34.1%	6.3%
無機化合物	元素及び化合物	30	2.0%	▲39.0%	17.4%
加熱用・冷却用機器	一般機械	29	1.9%	▲16.7%	5.2%
その他		878	59.2%	-	-
総 額		1,482	100.0%	▲15.9%	5.8%



経済概況

面積	約720km ² (東京23区と同程度)
人口	約569万人(うちシンガポール人・永住者は404万人)(2020年1月)
民族	中華系76%、マレー系15%、インド系7.5%、(2019年6月)
言語	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
政体	立憲共和制(1965年8月9日成立)(英連邦加盟)
主要産業	製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密器械)、商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.3	4.5	3.5	1.3	▲ 5.4
名目GDP総額	10億ドル	319	343	376	374	340 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	56,846	61,175	66,676	65,641	58,902 *
輸出額	億ドル	3,380	3,729	4,120	3,904	3,737
	前年比(%)	▲ 5.5	10.3	10.5	▲ 5.2	▲ 4.3
輸入額	億ドル	2,919	3,274	3,708	3,590	3,287
	前年比(%)	▲ 5.2	12.1	13.3	▲ 3.2	▲ 8.4
為替レート(1ドル)	Sドル	1.38	1.38	1.35	1.36	1.38
為替レート(1Sドル)	円	78.75	81.23	81.87	79.91	77.39

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

九州とシンガポールの貿易動向

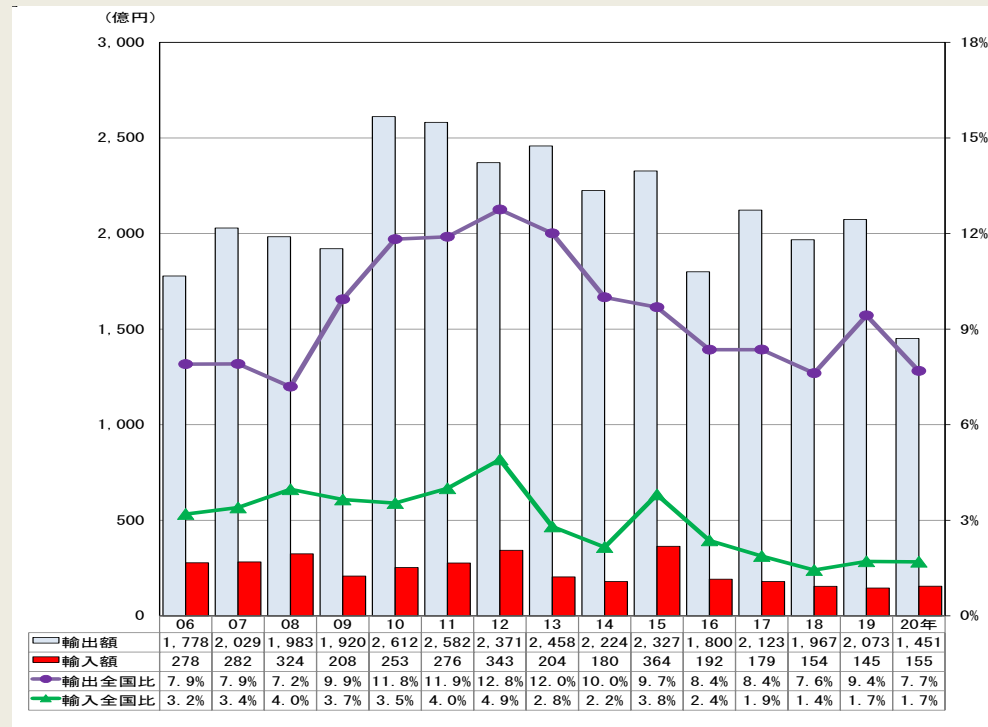
●2020年の九州の対シンガポール貿易額

輸出総額：1,451億円(対前年▲30.0%) → 2年ぶりのマイナス
 輸入総額：155億円(対前年+6.6%) → 5年ぶりのプラス
 差引額：1,296億円(対前年▲32.8%)

●輸出品目(輸出額多い順)金(マネタリーゴールドを除く)、船舶類、事務用機器
 〈寄与度↑〉金(マネタリーゴールドを除く)(+7.8%)、
 軌条及びその他の鉄道線路建設材(+0.3%)
 〈寄与度↓〉船舶類(▲23.8%)、映像機器(▲3.8%)

●輸入品目(輸入額多い順)石油製品、有機化合物、科学光学機器
 〈寄与度↑〉石油製品(+10.5%)、半導体等製造装置(+5.6%)
 〈寄与度↓〉有機化合物(▲3.6%)、半導体等電子部品(▲3.1%)

九州の対シンガポール貿易額の推移

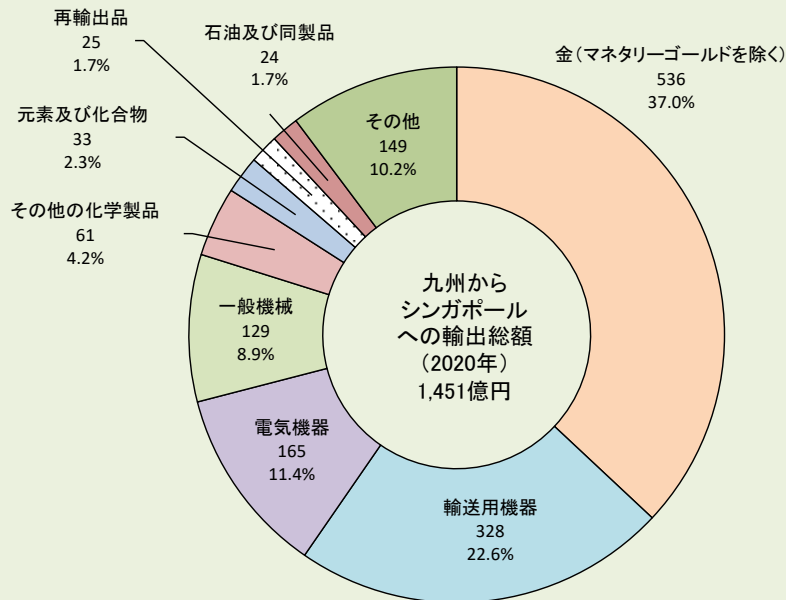


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・シンガポールの主要貿易品目

【輸出品目上位】 金(マネタリーゴールドを除く)、船舶類、事務用機器

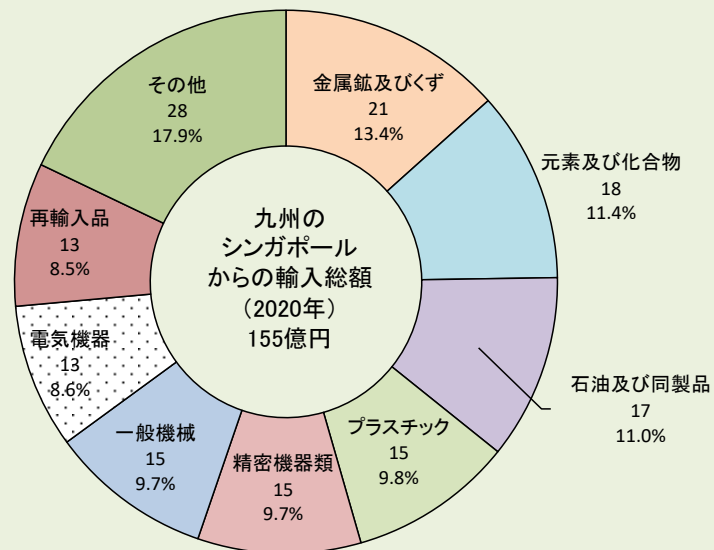
九州からシンガポールへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	536	37.0%	43.5%	32.6%
船舶類	輸送用機器	290	20.0%	▲63.0%	19.2%
事務用機器	一般機械	89	6.1%	▲30.2%	21.5%
音響・映像機器の部分品	電気機器	57	3.9%	▲26.4%	80.2%
半導体等電子部品	電気機器	53	3.6%	▲21.5%	3.0%
自動車	輸送用機器	36	2.5%	▲51.8%	8.4%
映像機器	電気機器	29	2.0%	▲73.5%	27.3%
有機化合物	元素及び化合物	25	1.7%	▲52.3%	10.7%
石油製品	石油及び同製品	24	1.7%	▲20.1%	3.1%
家具(除医療用)	家具	23	1.6%	25.7%	67.9%
その他		288	19.9%	-	-
総額		2,073	100%	▲30.0%	7.7%

【輸入品目上位】 石油製品、有機化合物、科学光学機器

九州のシンガポールからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油製品	石油及び同製品	17	11.0%	858.6%	9.6%
有機化合物	元素及び化合物	16	10.5%	▲24.2%	2.2%
科学光学機器	精密機器類	15	9.7%	▲12.1%	2.0%
半導体等製造装置	一般機械	15	9.6%	121.9%	1.3%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	15	9.5%	4.8%	30.1%
半導体等電子部品	電気機器	12	8.0%	▲26.7%	1.6%
合成ゴム	生ゴム	9	6.0%	▲19.9%	21.0%
合成樹脂	プラスチック	6	3.9%	▲22.1%	5.4%
ポリエチレン	プラスチック	2	1.4%	▲16.8%	16.2%
無機化合物	元素及び化合物	1	0.8%	23.0%	7.5%
その他		46	29.6%	-	-
総額		155	100%	6.3%	1.7%



経済概況

面積	約33万km ² (日本の約0.9倍)
人口	約3,200万人(2017年マレーシア統計局)
首都	クアラルンプール
民族	マレー系(約69%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注: マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
言語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語
宗教	イスラム教(連邦の宗教)61%、仏教20%、儒教・道教1.0%、ヒンドゥー教6.0%、キリスト教9.0%、その他
政体	立憲君主制(議会制民主主義)
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.4	5.8	4.8	4.3	▲ 5.6
名目GDP総額	10億ドル	297	319	359	365	337 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	9,540	9,970	11,084	11,218	- *
輸出額	億ドル	1,900	2,175	2,489	2,403	2,335
	前年比(%)	▲ 4.6	14.5	14.4	▲ 3.4	▲ 2.8
輸入額	億ドル	1,688	1,946	2,182	2,051	1,895
	前年比(%)	▲ 3.9	15.3	12.1	▲ 6.0	▲ 7.6
為替レート(1ドル)	リンギ	4.15	4.30	4.04	4.14	4.20
為替レート(1リンギ)	円	26.23	26.08	27.37	26.32	25.40

出所: 外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所: 内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

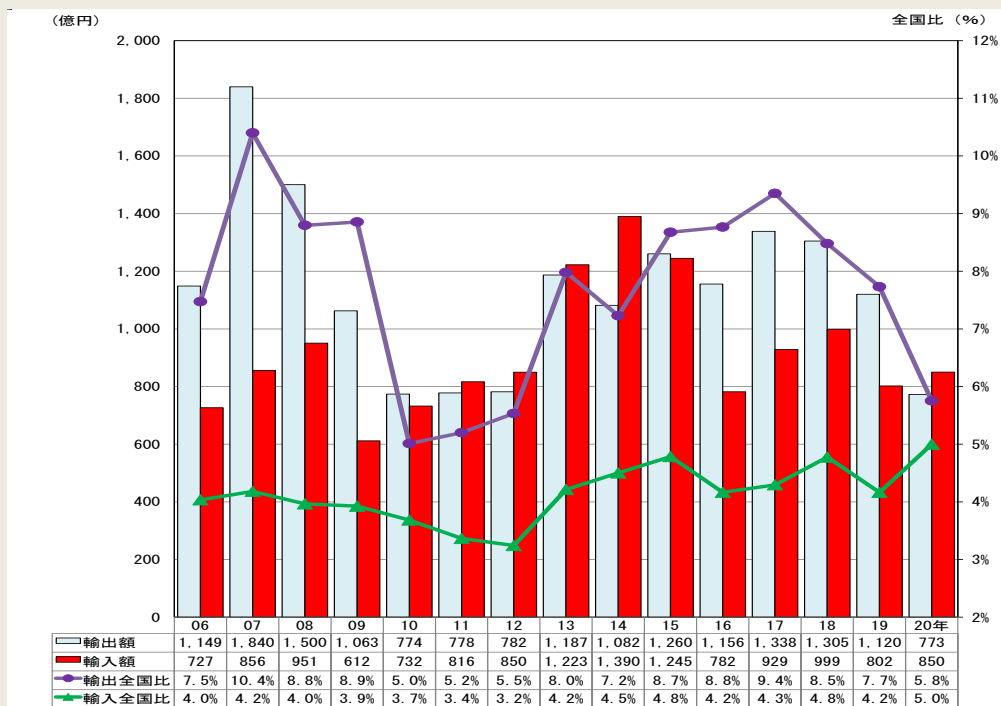
九州とマレーシアの貿易動向

●2020年の九州の対マレーシア貿易額
 輸出総額: 773億円(対前年▲31.0%) → 3年連続のマイナス
 輸入総額: 850億円(対前年+6.0%) → 2年ぶりのプラス
 差引額: ▲78億円(対前年▲124.4%)

●輸出品目(輸出額多い順) 金(マネタリーゴールドを除く)、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品
 <寄与度> 鉄鋼くず(+1.3%)、荷役機械(+1.0%)
 <寄与度↓> 自動車(▲8.4)、金(マネタリーゴールドを除く)(▲5.8%)

●輸入品目(輸入額多い順) 石油ガス類、音響・映像機器(除家具)、通信機
 <寄与度> 石油ガス類(+16.1%)、すず及び同合金(+1.1%)
 <寄与度↓> 植物性原材料(▲2.0%)、合金鉄(▲1.9%)

九州の対シンガポール貿易額の推移

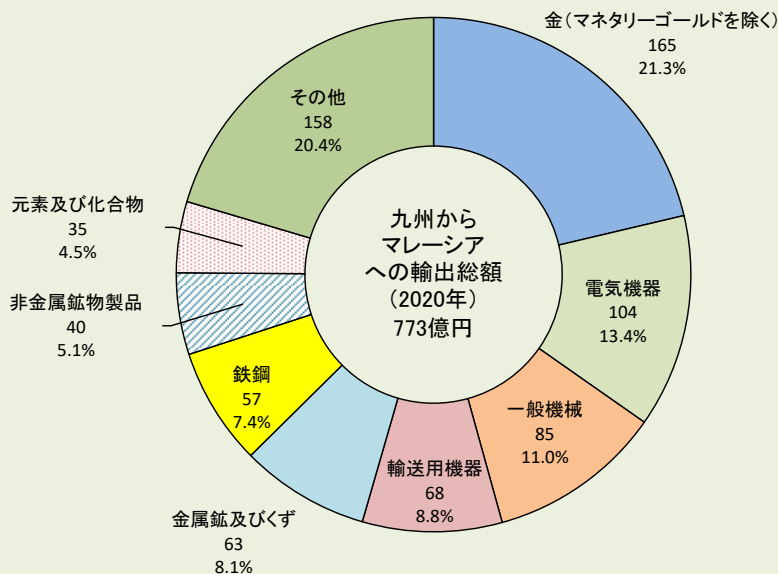


出所: 財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・マレーシアの主要貿易品目

【輸出品目上位】 金(マネタリーゴールドを除く)、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品

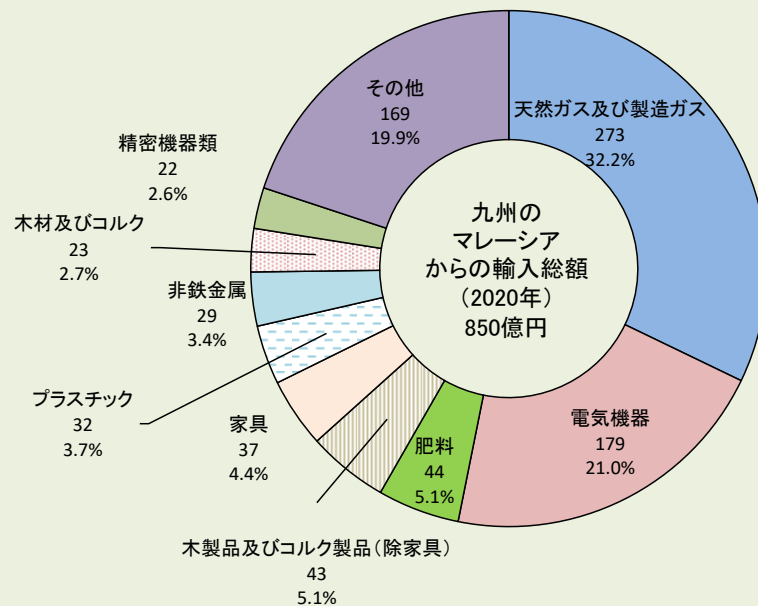
九州からマレーシアへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	165	21.3%	▲28.2%	48.2%
半導体等電子部品	電気機器	82	10.6%	▲40.6%	3.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	56	7.3%	▲38.3%	11.6%
自動車	輸送用機器	45	5.8%	▲67.7%	5.4%
ガラス及び同製品	非金属鉱物製品	39	5.0%	2.0%	41.2%
(鉄鋼くず)	金属鉱及びびくず	28	3.6%	105.9%	13.1%
塗料類	染料・なめし剤及び着色剤	25	3.2%	0.7%	27.1%
荷役機械	一般機械	21	2.8%	115.3%	22.8%
原動機	一般機械	21	2.7%	▲14.8%	10.2%
有機化合物	元素及び化合物	19	2.5%	17.8%	14.1%
その他		271	35.1%	—	—
総額		773	100.0%	▲31.0%	5.8%

【輸入品目上位】 石油ガス類、音響・映像機器(含部品)、通信機

九州のマレーシアからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	273	32.2%	89.3%	6.5%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	71	8.4%	▲12.0%	7.6%
通信機	電気機器	39	4.6%	12.8%	4.0%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	38	4.5%	▲17.5%	9.5%
半導体等電子部品	電気機器	26	3.1%	▲25.8%	2.3%
科学光学機器	精密機器類	22	2.6%	▲14.4%	5.5%
すず及び同合金	非鉄金属	18	2.1%	93.8%	25.5%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	17	1.9%	▲49.9%	12.4%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	15	1.8%	▲8.0%	23.9%
石油製品	石油及び同製品	13	1.5%	—	5.2%
その他		318	37.4%	—	—
総額		850	100.0%	6.0%	5.0%



- 2020年の九州の対フィリピン貿易額
 - 輸出総額： 871億円 (対前年+ 4.6%) → 2年連続のプラス
 - 輸入総額： 925億円 (対前年▲17.5%) → 5年連続のマイナス
 - 差引額： ▲54億円 (対前年▲81.2%)
- 輸出品目 (輸出額多い順) 半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類
 - 〈寄与度↑〉半導体等電子部品 (+10.7%)、船舶類 (+2.7%)
 - 〈寄与度↓〉自動車 (▲7.7%)、織物用糸 (▲0.6%)
- 輸入品目 (輸入額多い順) 絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、果実
 - 〈寄与度↑〉非鉄金属鉱 (+3.6%)、原動機 (+0.8%)
 - 〈寄与度↓〉絶縁電線及び絶縁ケーブル (▲9.2%)、半導体等電子部品 (▲1.9%)

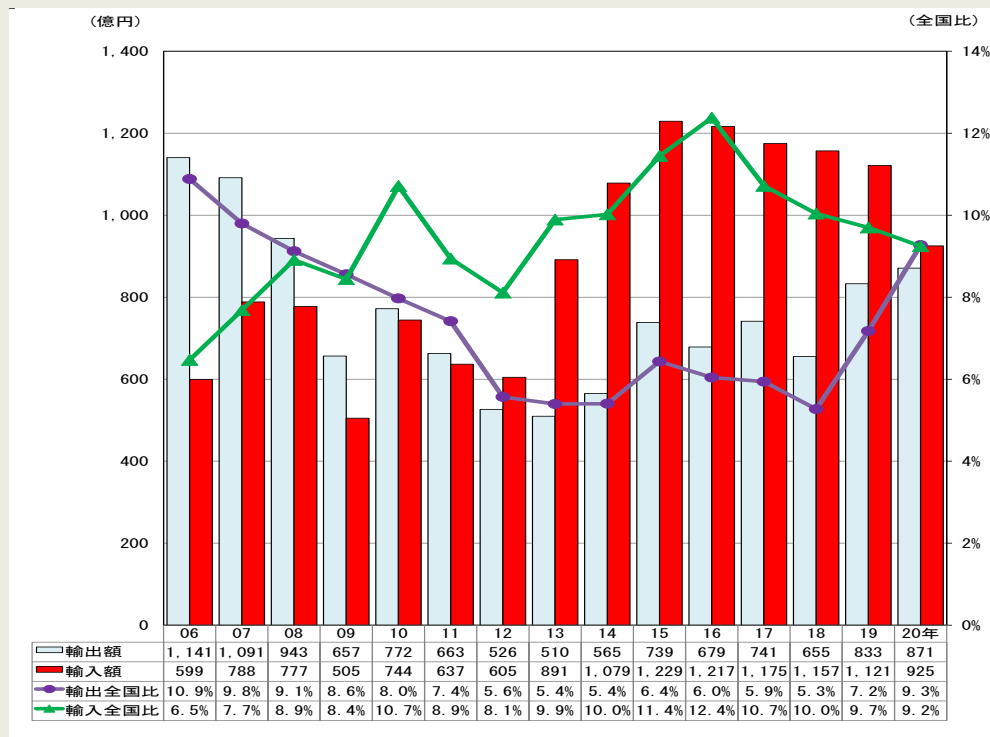
経済概況

面積	29万9,404km ² (日本の約8割)。7,109の島々がある。
人口	約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
首都	マニラ(首都圏人口約1,288万人)(2015年フィリピン国勢調査)
民族	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及び少数民族がいる。
言語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。
宗教	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%。イスラム教5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。
政体	共和制
主要産業	ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業を含むサービス業(GDPの約6割) 鉱工業(GDPの約3割)、農林水産業(GDPの約1割)(2019年)

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.1	6.9	6.3	6.0	▲9.5
名目GDP総額	10億ドル	305	314	331	360	362*
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,924	2,976	3,104	3,512	3,330*
輸出額	億ドル	574	687	693	709	639
	前年比(%)	▲2.4	19.7	0.9	2.3	▲9.9
輸入額	億ドル	841	961	1,128	1,116	857
	前年比(%)	18.3	14.2	17.4	▲1.1	▲23.2
為替レート(1ドル)	ペソ	47.49	50.40	52.66	51.80	49.62
為替レート(1ペソ)	円	2.29	2.23	2.10	2.11	2.15

九州の対フィリピン貿易額の推移



出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

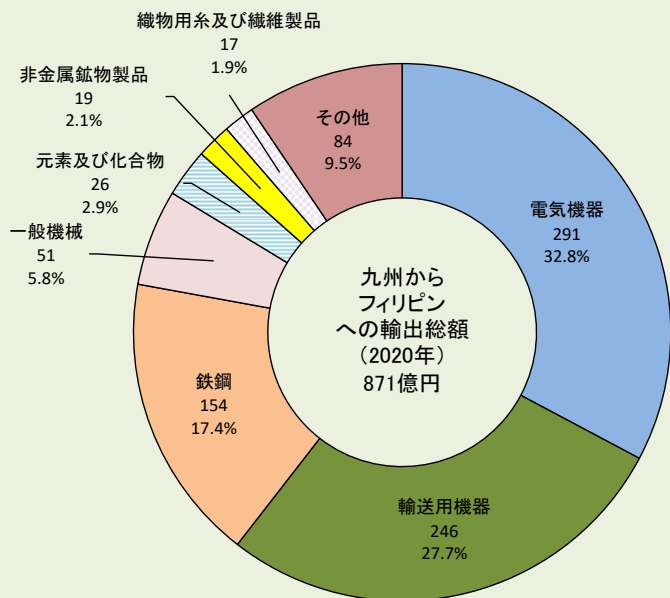
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・フィリピンの主要貿易品目

【輸出品目上位】 半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類

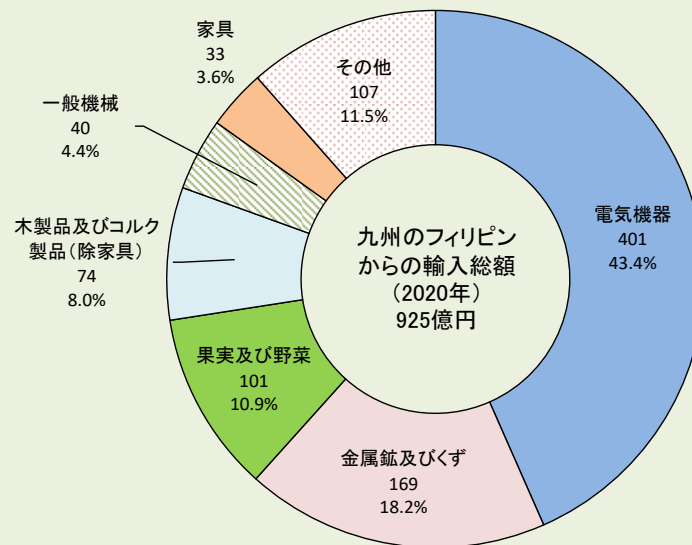
九州からフィリピンへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	259	29.7%	52.5%	27.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	153	17.5%	3.4%	41.1%
船舶類	輸送用機器	122	14.0%	22.5%	74.9%
自動車	輸送用機器	115	13.2%	▲35.8%	14.3%
荷役機械	一般機械	34	3.9%	54.3%	31.1%
有機化合物	元素及び化合物	23	2.6%	▲4.0%	11.8%
セメント	非金属鉱物製品	18	2.1%	21.5%	80.5%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	14	1.6%	▲27.4%	74.7%
重電機器	電気機器	12	1.3%	26.6%	6.7%
建設用・鉱山用機械	一般機械	7	0.8%	▲20.2%	6.3%
その他		115	13.2%	-	-
総額		871	100.0%	4.5%	9.3%

【輸入品目上位】 絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、果実

九州のフィリピンからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	261	28.2%	▲28.4%	22.0%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	149	16.1%	37.4%	15.6%
果実	果実及び野菜	101	10.9%	▲5.4%	10.0%
木製建具及び建築用木工品	木製品及びコルク製品 (除家具)	72	7.8%	▲19.1%	8.9%
通信機	電気機器	51	5.5%	▲23.4%	12.6%
音響・映像機器 (含部品)	電気機器	35	3.8%	▲27.4%	10.8%
自動車の部分品	輸送用機器	25	2.7%	▲41.0%	20.9%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	21	2.3%	▲35.7%	16.4%
半導体等電子部品	電気機器	20	2.1%	▲51.8%	3.0%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	19	2.1%	▲7.9%	19.8%
その他		170	18.4%	-	-
総額		925	100.0%	▲17.5%	9.2%



九州とインドネシアの貿易動向

●2020年の九州の対インドネシア貿易額

輸出総額： 632億円 (対前年▲27.7%) →2年連続のマイナス
 輸入総額： 1,557億円 (対前年▲20.5%) →2年連続のマイナス
 差引額： ▲925億円 (対前年▲14.6%)

●輸出品目 (輸出額多い順) 鉄鋼のフラットロール製品、無機化合物、船舶類
 〈寄与度↑〉無機化合物 (+4.3%)、船舶類 (+4.2%)
 〈寄与度↓〉荷役機械 (▲9.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ (▲7.0%)

●輸入品目 (輸入額多い順) 石炭、天然ゴム、非鉄金属鉱
 〈寄与度↑〉植物性原材料 (+0.9%)、非鉄金属鉱 (+0.8%)
 〈寄与度↓〉石油ガス類 (▲6.1%)、石炭 (▲5.4%)

経済概況

面積	約192万km ² (日本の約5倍)
人口	約2.70億人(2020年、インドネシア政府統計)
首都	ジャカルタ(人口1,056万人:2020年、インドネシア政府統計)
民族	大半がマレー系(ジャワ、スンダ等約300種族)
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教 86.69%、キリスト教 10.72%(プロテスタント 7.60%、カトリック 3.12%)、ヒンズー教 1.74%、仏教 0.77%、儒教 0.03%、その他 0.04%(2019年、宗教省統計)
政体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(19.8%):輸送機器(二輪車など)、飲食品など 商業・ホテル・飲食業(15.4%) 農林水産業(13.7%):パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 建設(10.7%) 運輸・通信(8.9%) 鉱業(6.4%):LNG、石炭、錫、石油など 金融・保険(4.5%) 行政サービス・軍事・社会保障(3.7%) (カッコ内は2020年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

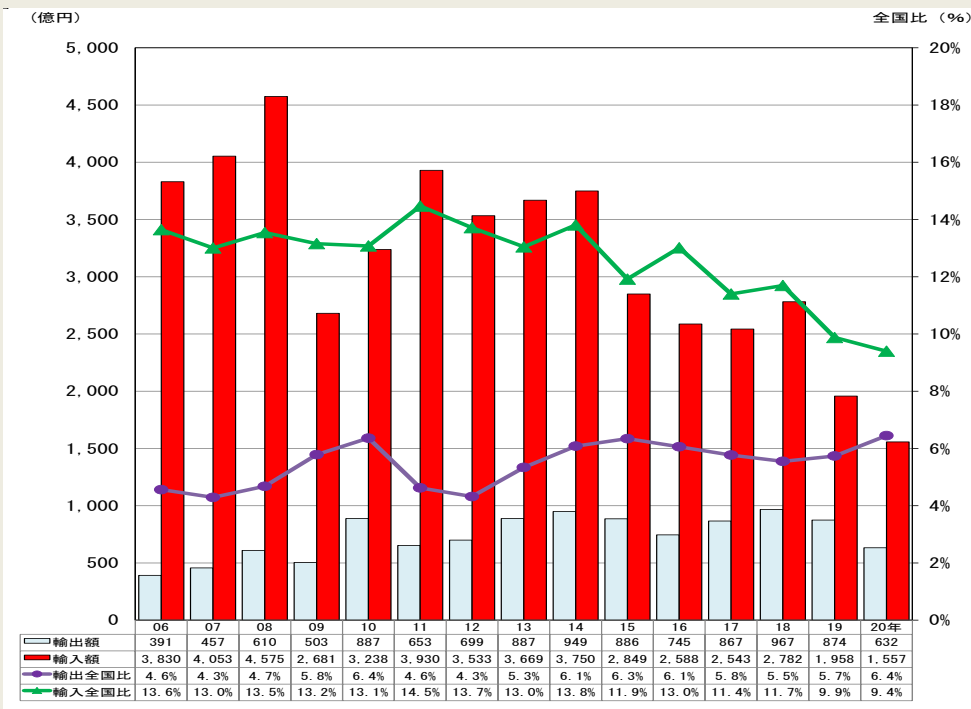
マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.0	5.1	5.2	5.0	▲2.1
名目GDP総額	10億ドル	932	1,015	1,043	1,120	1,089 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,604	3,876	3,947	4,197	4,038 *
輸出額	億ドル	1,452	1,688	1,800	1,677	1,633
	前年比(%)	▲3.4	16.3	6.6	▲6.8	▲2.6
輸入額	億ドル	1,357	1,570	1,887	1,713	1,416
	前年比(%)	▲4.9	15.7	20.2	▲9.2	▲17.3
為替レート(1ドル)	ルピア	13,308.33	13,380.83	14,236.94	14,147.67	14,582.20
為替レート(1ルピア)	円	0.008	0.008	0.008	0.008	0.007

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

九州の対インドネシア貿易額の推移



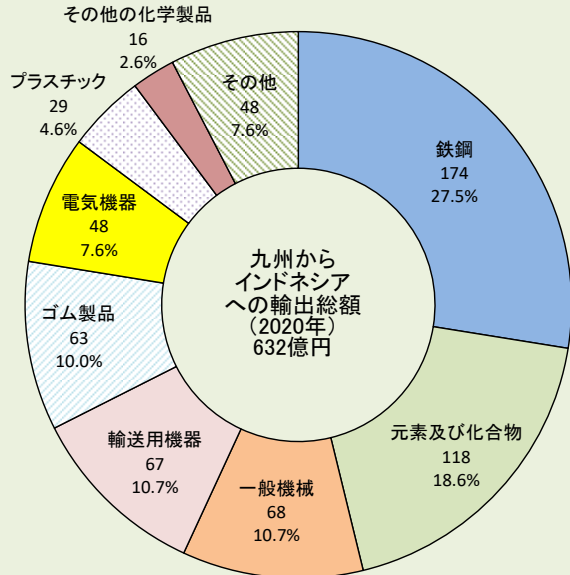
出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成



九州・インドネシアの主要貿易品目

【輸出品目上位】鉄鋼のフラットロール製品、無機化合物、船舶類

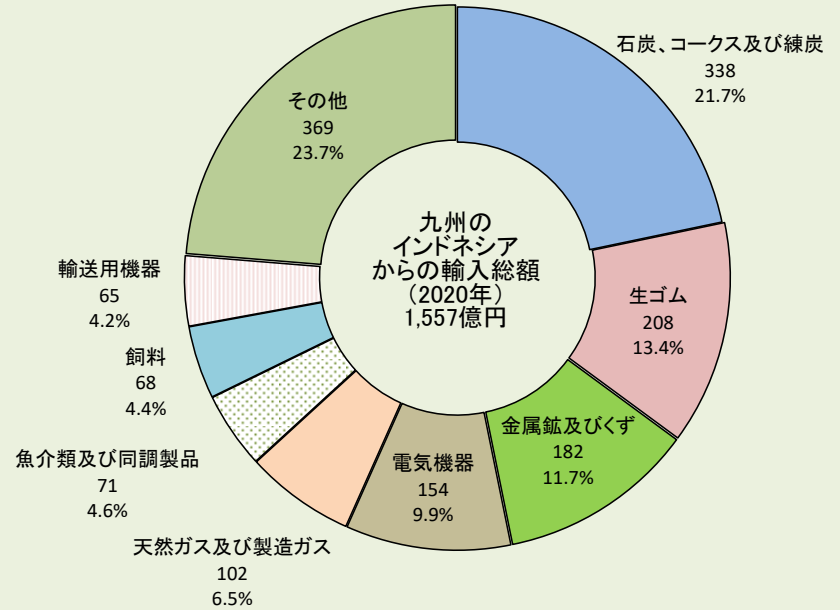
九州からインドネシアへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	133	21.1%	▲10.1%	13.5%
無機化合物	元素及び化合物	76	12.1%	8.8%	49.3%
船舶類	輸送用機器	65	10.2%	1662.7%	18.1%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	62	9.8%	▲68.1%	4.5%
有機化合物	元素及び化合物	42	6.6%	4.3%	18.2%
原動機	一般機械	26	4.0%	▲31.8%	18.8%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	23	3.7%	▲0.8%	17.0%
半導体等電子部品	電気機器	23	3.6%	0.8%	11.8%
ピレット及びシートバー等	鉄鋼	12	1.9%	2675.7%	67.4%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	10	1.5%	216.3%	3.3%
その他		162	25.6%	—	—
総額		632	100.0%	▲27.7%	6.4%

【輸入品目上位】石炭、天然ゴム、非鉄金属鉱

九州のインドネシアからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	338	21.7%	▲23.7%	14.9%
天然ゴム	生ゴム	208	13.4%	▲32.2%	35.5%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	155	10.0%	11.8%	10.2%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	102	6.5%	▲54.1%	10.4%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	98	6.3%	▲7.7%	11.4%
自動車の部分品	輸送用機器	60	3.9%	▲29.1%	23.9%
植物性油かす	飼料	60	3.9%	▲0.6%	26.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	50	3.2%	▲23.5%	11.7%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	46	2.9%	▲3.3%	9.0%
紙及び板紙	紙類及び同製品	40	2.6%	▲0.8%	12.5%
その他		400	25.7%	—	—
総額		1,557	100.0%	▲20.5%	9.4%



経済概況

面積	約68万km ² (日本の約1.8倍)
人口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首都	ネーピードー
民族	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言語	ミャンマー語
宗教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政体	大統領制、共和制
主要産業	農業、天然ガス、製造業

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.41	5.75	6.41	6.75	3.19
名目GDP総額	10億ドル	60.1	61.3	66.7	68.8	81.3
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,164	1,177	1,272	1,302	1,527
輸出額	億ドル	118	139	167	181	170
	前年比(%)	3.5	17.2	20.4	8.4	△ 6.1
輸入額	億ドル	157	192	194	186	176
	前年比(%)	△ 7.5	22.5	0.5	△ 3.9	△ 5.4
為替レート(1ドル)	チャット	1,234.87	1,360.36	1,429.81	1,518.26	1,381.62

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

九州とミャンマーの貿易動向

●2020年の九州の対ミャンマー貿易額

輸出総額： 47億円(対前年▲8.4%) → 2年連続のマイナス
 輸入総額： 31億円(対前年▲19.1%) → 9年ぶりのマイナス
 差引額： 16億円(対前年+23.3%)

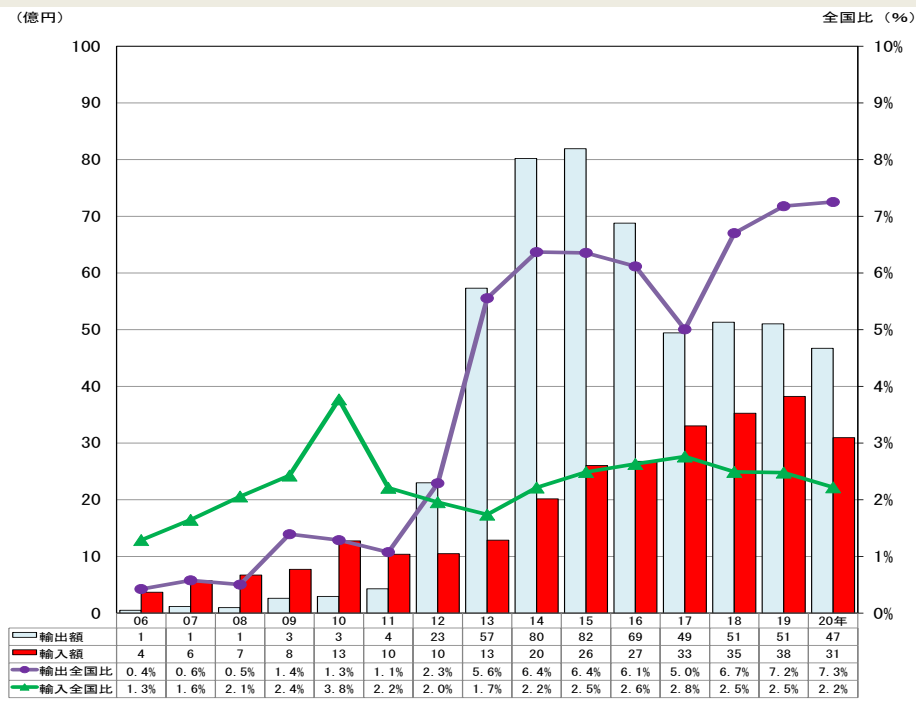
●輸出品目(輸出額多い順) 軌条及びその他の鉄道線路建設材、荷役機械、鉄鋼のフラットロール製品

〈寄与度↑〉荷役機械(+21.5%)、金属加工機械(+1.9%)
 〈寄与度↓〉軌条及びその他の鉄道線路建設材(▲11.3%)、自動車(▲8.7%)

●輸入品目(輸入額多い順) 衣類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、野菜

〈寄与度↑〉ろう(+0.1%)、植物性原材料(+0.04%)
 〈寄与度↓〉衣類(▲8.2%)、メリヤス編み及びクロセ編み衣類(▲4.6%)

九州の対ミャンマー貿易額の推移

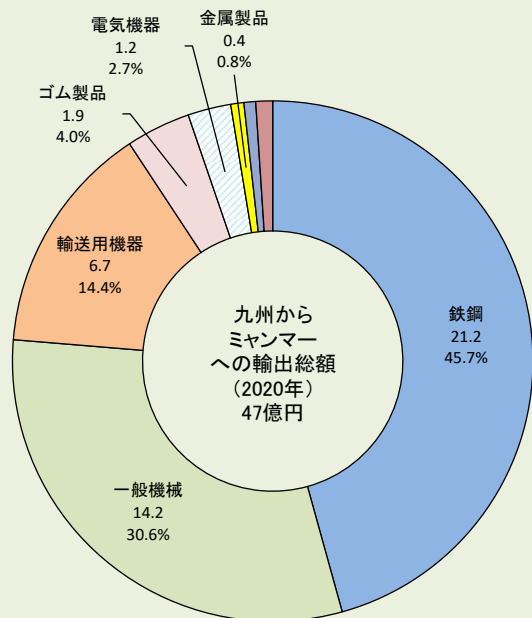


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・ミャンマーの主要貿易品目

【輸出品目上位】 軌条及びその他の鉄道線路建設材、荷役機械、鉄鋼のフラットロール製品

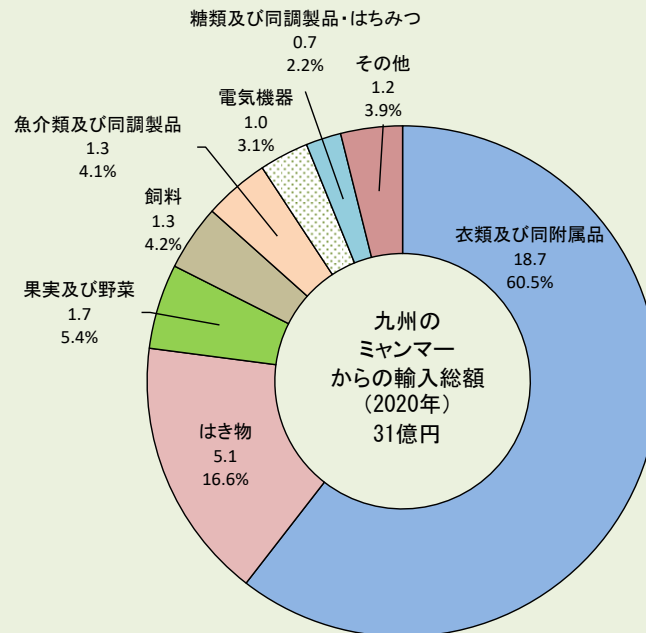
九州からミャンマーへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	14.3	30.5%	▲28.8%	52.9%
荷役機械	一般機械	11.0	23.5%	31574.6%	55.7%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	7.0	15.0%	▲27.9%	16.0%
自動車	輸送用機器	5.4	11.5%	▲45.2%	4.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	1.8	3.9%	▲40.3%	54.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	1.5	3.2%	20.9%	6.2%
二輪自動車類	輸送用機器	1.2	2.6%	55.5%	14.0%
金属加工機械	一般機械	1.1	2.4%	783.4%	56.0%
電気回路等の機器	電気機器	0.5	1.0%	1701.0%	3.5%
通信機	電気機器	0.4	0.9%	—	40.8%
その他		2.5	5.4%	—	—
総額		46.7	100.0%	-8.4%	7.9%

【輸入品目上位】 衣類、メリヤス編み及びびクロセ編み衣類、野菜

九州のミャンマーからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
衣類	衣類及び同附属品	16.1	51.9%	▲16.3%	2.1%
メリヤス編み及びびクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	2.7	8.6%	▲40.0%	1.0%
野菜	果実及び野菜	1.7	5.4%	▲23.4%	6.1%
魚介類の粉、ミール及びベレット	飼料	1.3	4.2%	▲22.7%	100.0%
魚介類	魚介類及び同調製品	1.0	3.3%	▲10.4%	2.3%
音響・映像機器 (含部品)	電気機器	1.0	3.1%	▲5.6%	5.1%
天然ゴム	生ゴム	0.5	1.5%	—	4.9%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	0.3	0.9%	▲4.2%	7.3%
木材	木材及びコルク	0.2	0.6%	▲13.0%	8.3%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	0.2	0.6%	9.1%	97.0%
その他		6.2	20.0%	—	—
総額		31.0	100.0%	▲19.1%	2.2%



経済概況

面積	328万7,469km ² (インド政府資料: パキスタン、中国との係争地を含む) (2011年国勢調査)
人口	13億6,641万人 (2019年世銀調査)
首都	ニューデリー
民族	インド・アリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4% (2011年国勢調査)
政体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

マクロ経済データ

	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
実質GDP成長率	前年比 (%)	8.0	8.3	6.8	6.5	4.0
名目GDP総額	10億ルピー	123,082	131,751	139,814	145,660	135,127
一人当たりGDP (名目)	ドル	1,749	1,983	2,036	2,099	1,965
輸出額	億ドル	2,623	2,751	3,034	3,301	3,133
	前年比 (%)	▲ 15.5	4.9	10.3	8.8	▲ 5.1
輸入額	億ドル	3,810	3,844	4,647	5,141	4,747
	前年比 (%)	▲ 15.0	0.9	20.9	10.6	▲ 7.7
為替レート (1ドル)	ルピー	67.20	65.12	68.39	70.42	74.10
為替レート (1ルピー)	円	1.62	1.72	1.62	1.55	1.44

出所: 外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所: 内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

九州とインドの貿易動向

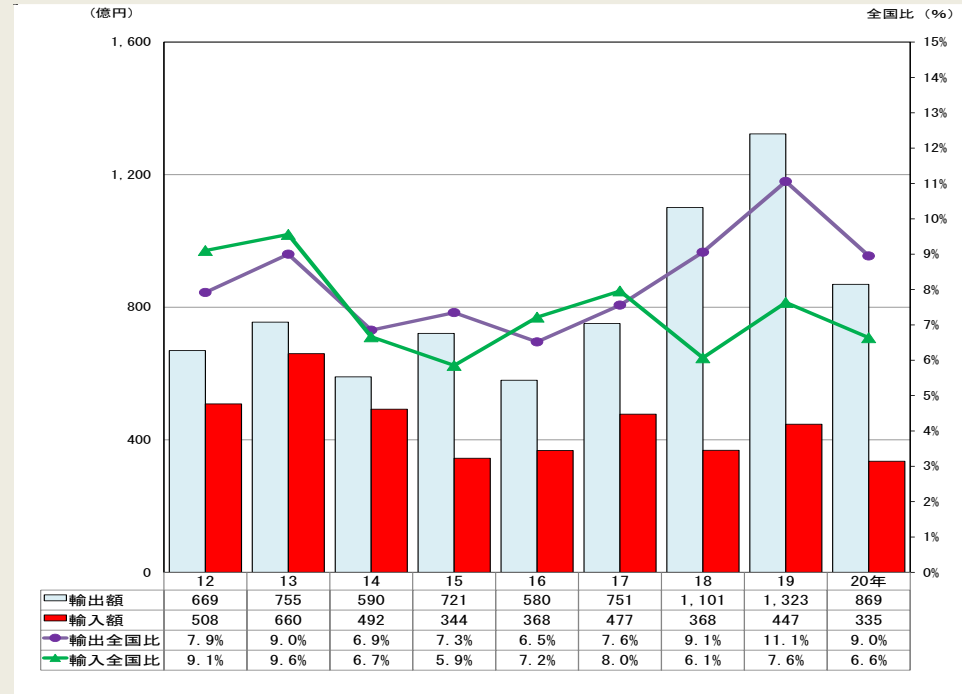
●2020年の九州の対インド貿易額

輸出総額: 869億円 (対前年▲34.3%) → 4年ぶりのマイナス
 輸入総額: 335億円 (対前年▲25.0%) → 2年ぶりのマイナス
 差引額: 534億円 (対前年▲39.1%)

●輸出品目 (輸出額多い順) 銅及び同合金、鉄鋼のフラットロール製品、石油製品
 <寄与度↑> 無機化合物 (+3.7%)、有機化合物 (+1.9%)
 <寄与度↓> 鉄鋼のフラットロール製品 (▲11.2%)、銅及び同合金 (▲9.8%)

●輸入品目 (輸入額多い順) 石油製品、有機化合物、魚介類
 <寄与度↑> 粗鉱物 (除りん鉱石) (+0.6%)、非鉄金属鉱 (+0.5%)
 <寄与度↓> 石油製品 (▲6.7%)、植物性油かす (▲5.2%)

九州の対インド貿易額の推移

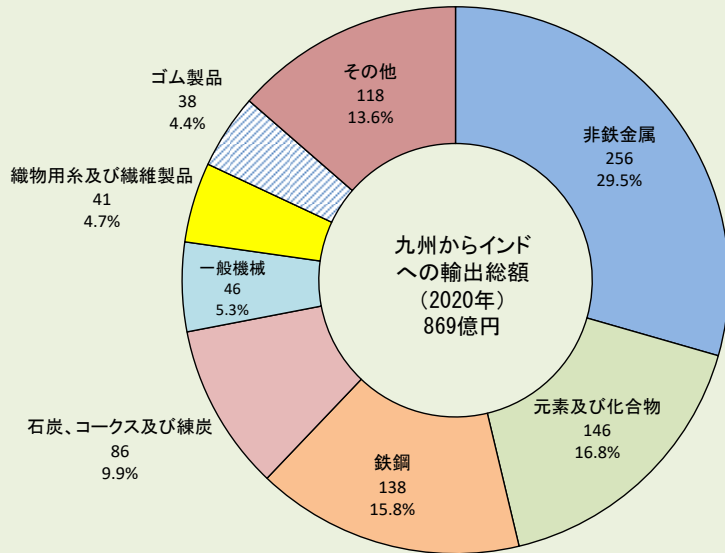


出所: 財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・インドの主要貿易品目

【輸出品目上位】 銅及び同合金、鉄鋼のフラットロール製品、石油製品

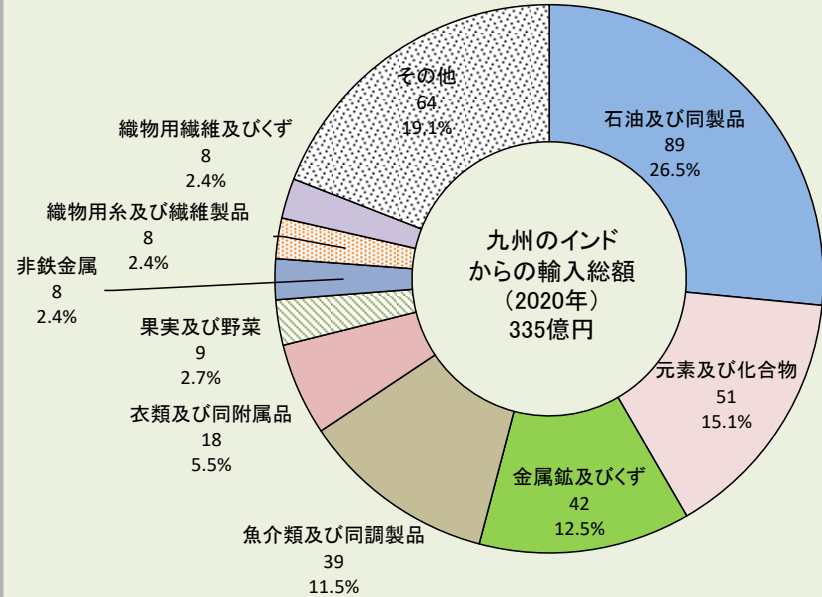
九州からインドへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
銅及び同合金	非鉄金属	247	28.4%	▲34.4%	25.7%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	97	11.2%	▲60.3%	20.1%
石油製品	石炭、コークス及び練炭	86	9.9%	2.9%	86.9%
コークス	元素及び化合物	82	9.5%	42.7%	16.6%
繊維物用糸	元素及び化合物	62	7.1%	385.2%	8.4%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	繊維物用糸及び繊維製品	39	4.4%	▲39.0%	66.2%
有機化合物	ゴム製品	34	3.9%	3.0%	70.1%
ゴムタイヤ及びチューブ	鉄鋼	34	3.9%	▲45.3%	78.0%
金属加工機械	石油及び同製品	14	1.6%	▲87.6%	26.6%
原動機	電気機器	12	1.3%	▲0.3%	7.2%
その他		11	1.3%	—	—
総額		869	100.0%	▲34.3%	9.0%

【輸入品目上位】 石油製品、有機化合物、科学光学機器

九州のインドからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石油製品	石油及び同製品	89	26.5%	▲25.2%	13.5%
有機化合物	元素及び化合物	43	13.0%	▲2.6%	5.3%
魚介類	魚介類及び同調製品	38	11.3%	3.7%	9.4%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	22	6.7%	12.1%	31.6%
鉄鉱石	金属鉱及びびくず	18	5.5%	4.9%	8.8%
衣類	衣類及び同附属品	16	4.9%	▲38.2%	9.5%
果実	果実及び野菜	9	2.6%	▲13.9%	12.4%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	8	2.4%	▲9.6%	6.6%
無機化合物	元素及び化合物	7	2.1%	▲45.3%	27.0%
有機合成染料及びレーキ顔料	染料・なめし剤及び着色剤	7	2.0%	▲12.6%	9.2%
その他		77	23.0%	—	—
総額		335	100.0%	▲25.0%	6.6%



米国

United States of America



経済概況

面積	371.8万平方マイル(962.8万平方キロメートル、50州・日本の約25倍) (内水面18.1万平方マイル)
人口	3億3,006万人(2021年1月 米国国勢局)
首都	ワシントンD.C.
言語	主として英語(法律上の定めはない)
宗教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.7	2.3	3.0	2.2	▲3.5
名目GDP総額	10億ドル	18,745	19,543	20,612	21,433	21,935
一人当たりGDP(名目)	ドル	57,846	59,897	62,784	65,056	63,285
輸出額	億ドル	22,379	23,874	25,399	25,283	21,273
	前年比(%)	▲1.8	6.7	6.4	▲0.4	▲15.9
輸入額	億ドル	27,191	29,012	31,193	31,051	28,090
	前年比(%)	▲1.9	6.7	7.5	▲0.5	▲9.5
為替レート(1ドル)	円	108.79	112.17	110.42	109.01	106.77

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

九州と米国の貿易動向

●2020年の九州の対米国貿易額

輸出総額：6,656億円(対前年▲29.0%) → 3年連続のマイナス
 輸入総額：3,421億円(対前年▲15.6%) → 2年連続のマイナス
 差引額：3,234億円(対前年▲39.2%)

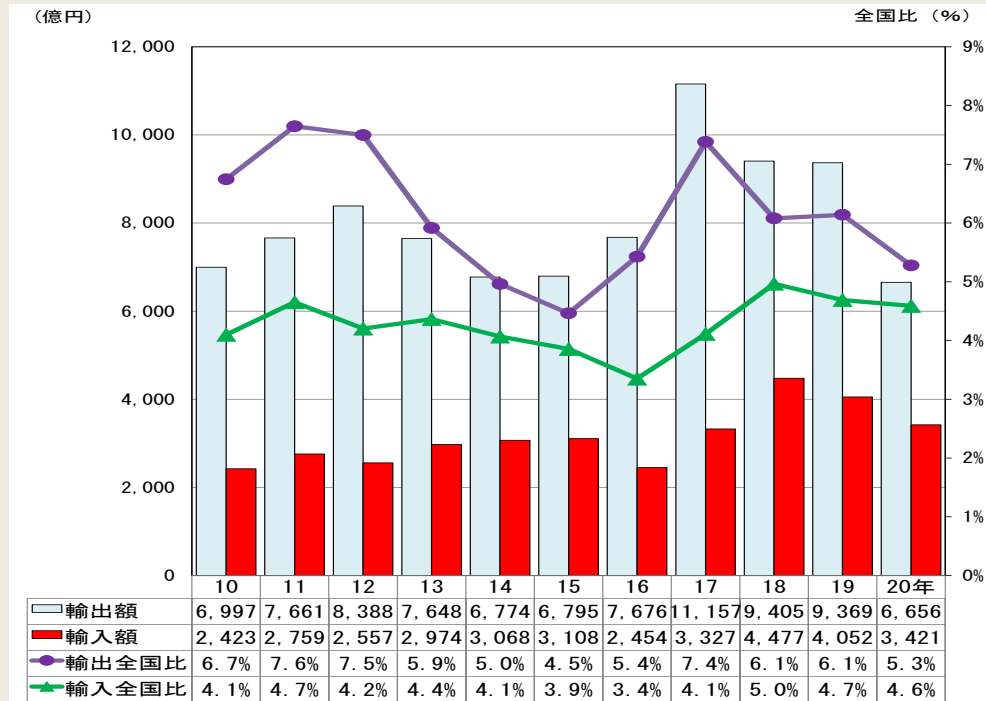
●輸出品目(輸出額多い順)自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉二輪自動車類(+0.6%)、自動車用等の電気機器(+0.2%)
 〈寄与度↓〉自動車(▲15.6%)、映像機器(▲2.0%)

●輸入品目(輸入額多い順)とうもろこし、石油ガス類、原油及び粗油

〈寄与度↑〉石油製品(+0.7%)、小麦及びメスリン(+0.1%)
 〈寄与度↓〉非鉄金属鉱(▲2.1%)、鉄鉱石(▲1.8%)

九州の対米国貿易額の推移

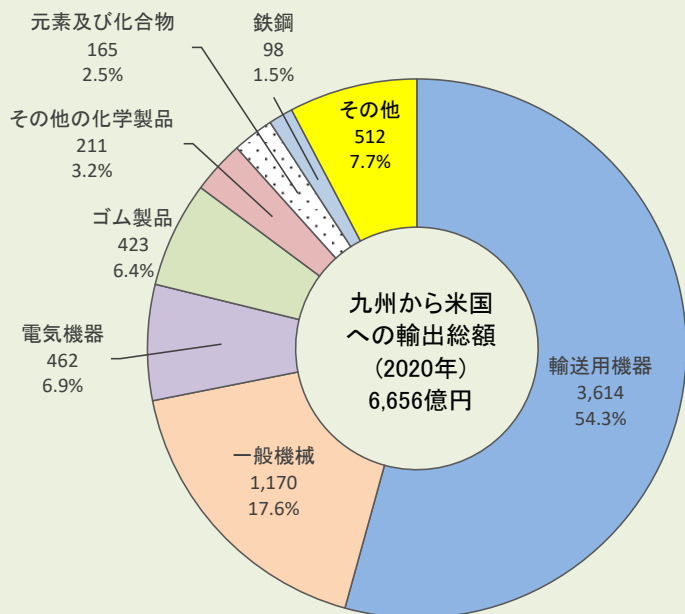


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成

九州・米国の主要貿易品目

【輸出品目上位】自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ

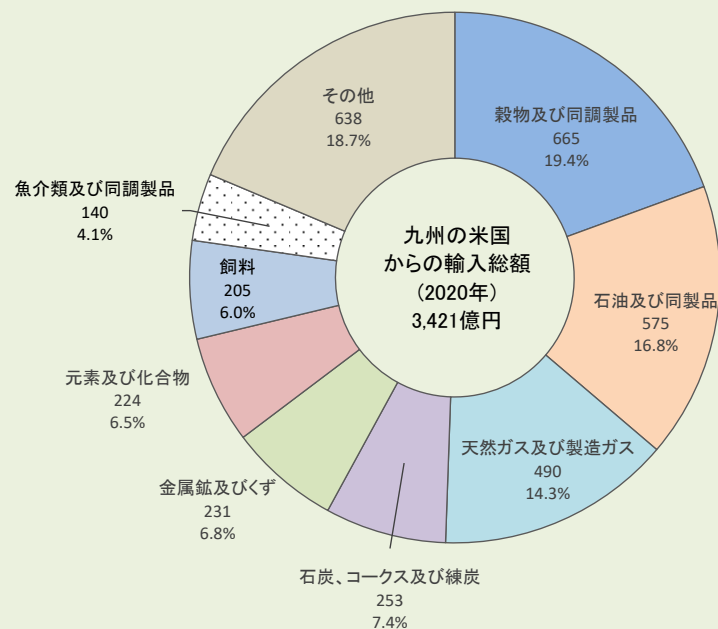
九州から米国への輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	3,299	49.6%	▲30.7%	9.5%
事務用機器	一般機械	481	7.2%	▲24.3%	15.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	395	5.9%	▲23.3%	34.8%
原動機	一般機械	259	3.9%	▲34.1%	3.9%
二輪自動車類	輸送用機器	180	2.7%	48.4%	29.2%
自動車用等の電気機器	電気機器	149	2.2%	18.6%	9.8%
建設用・鉱山用機械	一般機械	130	1.9%	▲19.3%	3.9%
自動車の部分品	輸送用機器	128	1.9%	▲25.4%	1.8%
有機化合物	元素及び化合物	120	1.8%	17.9%	7.5%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	95	1.4%	▲6.8%	4.3%
その他		1,420	21.3%	-	-
総額		6,656	100%	▲29.0%	5.3%

【輸入品目上位】とうもろこし、石油ガス類、原油及び粗油

九州の米国からの輸入品目



概況品名	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
とうもろこし	穀物及び同調製品	514	15.0%	▲3.2%	22.9%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	490	14.3%	▲11.7%	9.6%
原油及び粗油	石油及び同製品	393	11.5%	▲2.0%	49.3%
石炭	石炭、コークス及び練炭	253	7.4%	▲19.8%	23.0%
石油製品	石油及び同製品	182	5.3%	17.0%	15.5%
魚介類	魚介類及び同調製品	140	4.1%	▲9.2%	12.5%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	135	3.9%	▲38.2%	19.3%
有機化合物	元素及び化合物	112	3.3%	▲19.0%	4.3%
無機化合物	元素及び化合物	111	3.3%	▲16.6%	10.8%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	86	2.5%	6.7%	11.2%
その他		1,005	29.4%	-	-
総額		3,421	100%	▲15.6%	4.6%



九州とオーストラリアの貿易動向

●2020年の九州の対オーストラリア貿易額
 輸出総額： 842億円 (対前年▲18.2%) → 2年連続のマイナス
 輸入総額： 4,882億円 (対前年▲11.4%) → 2年連続のマイナス
 差引額： ▲4,040億円 (対前年▲9.8%)

●輸出品目 (輸出額多い順) ゴムタイヤ及びチューブ、自動車、軌条及びその他の鉄道線路建設材
 〈寄与度↑〉建設用・鉱山用機械 (+0.9%)、加熱用・冷却用機器 (+0.5%)
 〈寄与度↓〉ゴムタイヤ及びチューブ (▲6.3%)、自動車 (▲5.8%)

●輸入品目 (輸入額多い順) 石炭、非鉄金属鉱、鉄鉱石
 〈寄与度↑〉非鉄金属鉱 (+4.9%)、無機化合物 (+0.1%)
 〈寄与度↓〉石炭 (▲13.4%)、石油製品 (▲0.6%) 等

経済概況

面積	769万2,024km ² (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人口	約2,499万人(2018年6月。豪州統計局)
首都	キャンベラ
民族	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教52%、無宗教30%(2016年国勢調査)
政体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.6%、第二次産業23.4%、第三次産業74.0% 農林水産業(2.6%)、鉱業(6.4%)、製造業(6.3%)、建設業(8.1%)、卸売・小売業(9.2%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(7.4%)など (2017-18年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

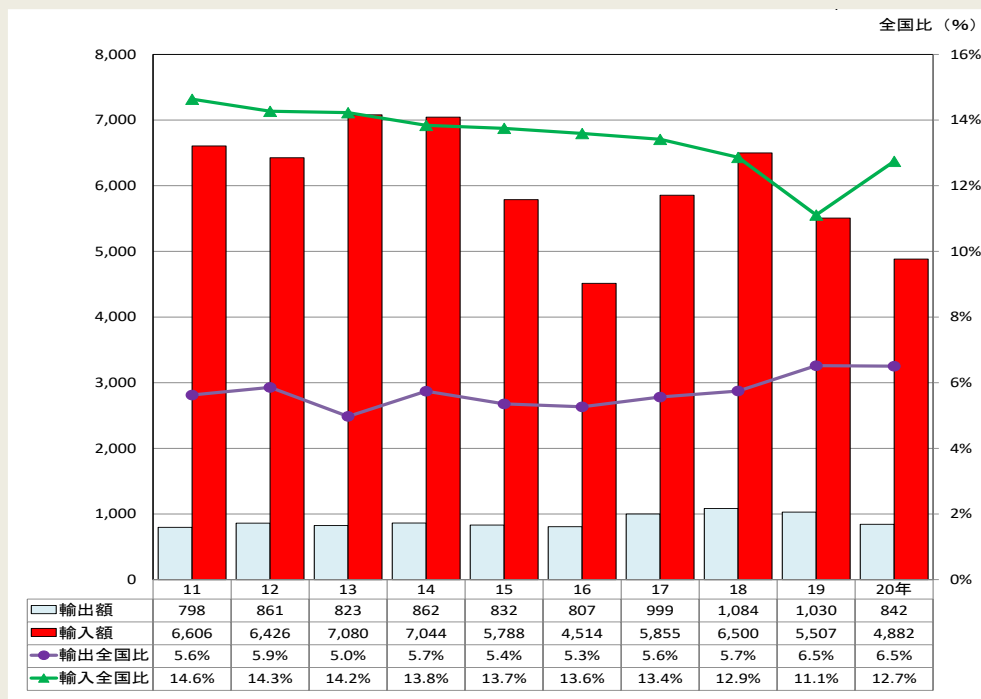
マクロ経済データ

	単位	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.73	2.41	2.84	1.95	△ 2.44*
名目GDP総額	10億ドル	1,266.3	1,385.2	1,421.3	1,391.5	1,359.3*
一人当たりGDP(名目)	ドル	51,918	55,915	56,465	54,464	52,825*
輸出額	億ドル	1,913	2,293	2,547	2,726	2,519*
	前年比(%)	1.5	19.9	11.1	7.0	▲ 7.6*
輸入額	億ドル	2,011	2,275	2,409	2,270	2,147*
	前年比(%)	▲ 5.6	13.1	5.9	▲ 5.8	▲ 5.4*
為替レート(1ドル)	豪ドル	1.35	1.30	1.34	1.44	1.45
為替レート(1豪ドル)	円	80.85	86.00	82.57	75.82	73.67

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(令和2年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成

九州の対オーストラリア貿易額の推移



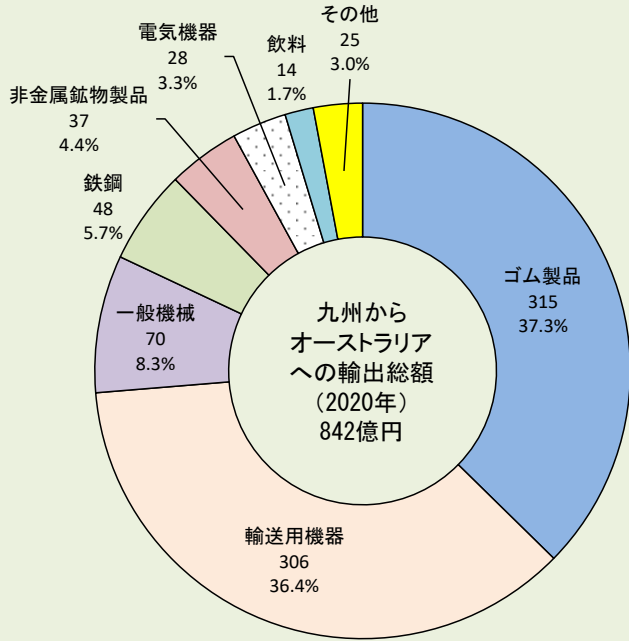
出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成



九州・オーストラリアの主要貿易品目

【輸出品目上位】 ゴムタイヤ及びチューブ、自動車、軌条及びその他の鉄道線路建設材

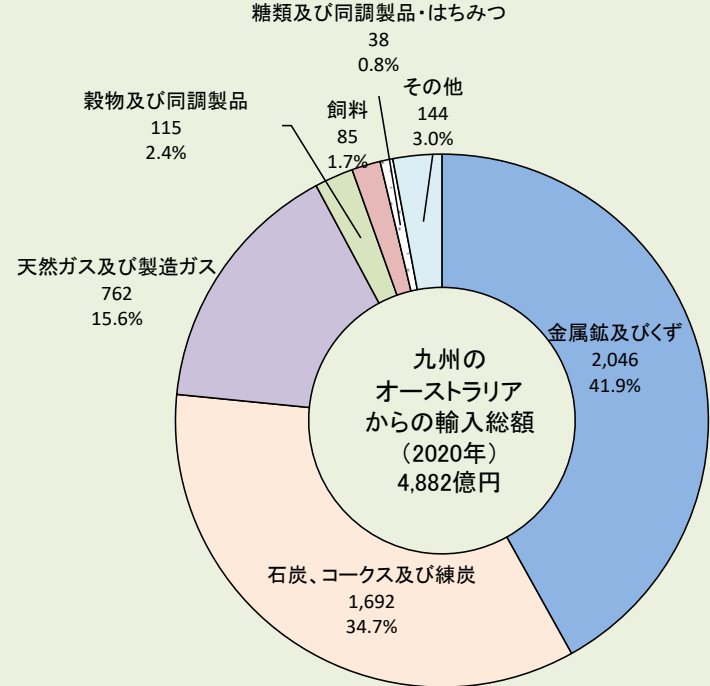
九州からオーストラリアへの輸出品目



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	314	37.3%	▲17.0%	62.2%
自動車	輸送用機器	295	35.1%	▲16.8%	4.1%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	41	4.8%	▲31.7%	71.9%
セメント	非金属鉱物製品	35	4.1%	▲13.9%	60.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	33	3.9%	40.0%	6.3%
加熱用・冷却用機器	一般機械	18	2.2%	39.2%	13.4%
映像機器	電気機器	12	1.4%	▲80.7%	19.4%
自動車用等の電気機器	電気機器	11	1.3%	3.9%	22.8%
二輪自動車類	輸送用機器	10	1.2%	48.4%	12.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	7	0.9%	15.0%	19.5%
その他		66	7.8%	—	—
総 額		842	100%	▲22.3%	6.5%

【輸入品目上位】 石炭、非鉄金属鉱、鉄鉱石

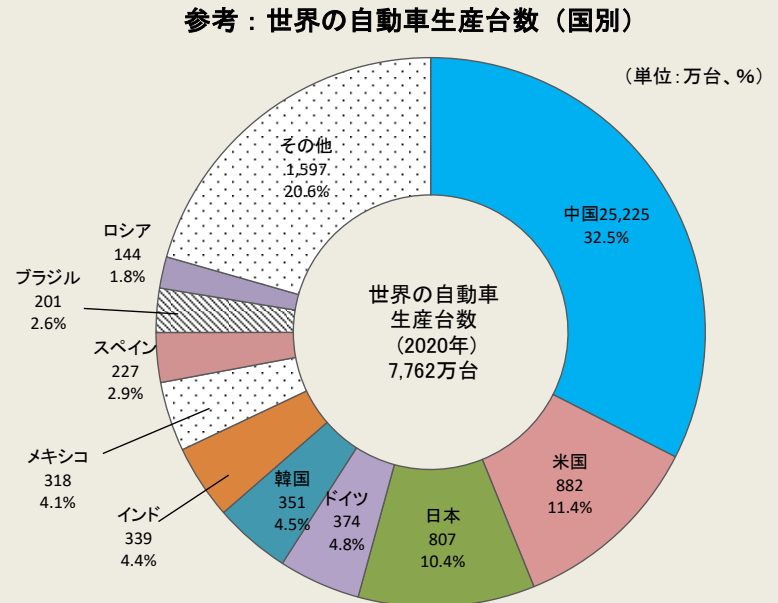
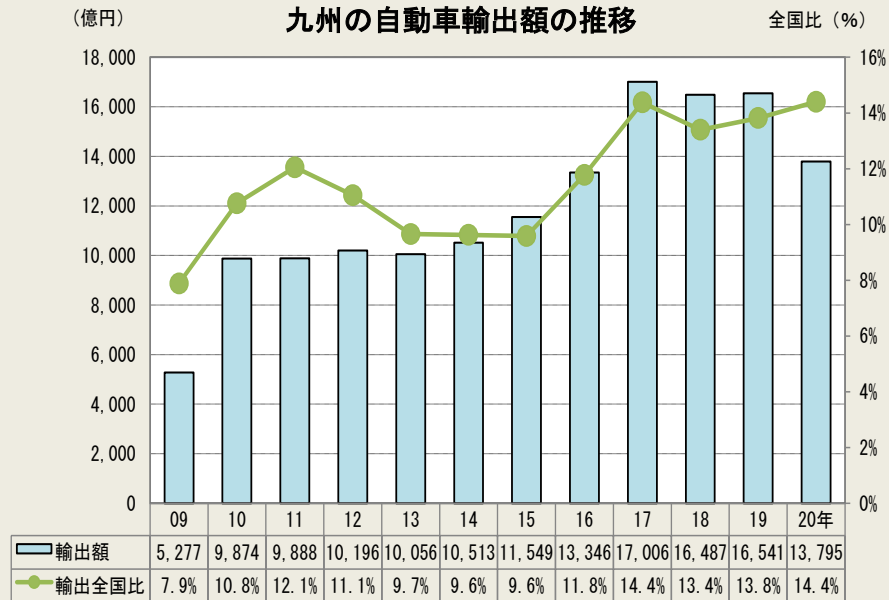
九州のオーストラリアからの輸入品目



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	1,692	34.7%	▲30.4%	16.5%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	1,064	21.8%	34.0%	45.1%
鉄鉱石	金属鉱及びびくず	977	20.0%	▲2.1%	18.2%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	762	15.6%	▲2.9%	5.7%
その他		387	7.9%	—	—
総 額		4,882	100.0%	▲11.4%	12.7%

自動車

- 2020年の九州の自動車輸出額
1兆3,795億円(対前年16.6%減) → 2年ぶりの減少。輸出先は、中国が最も多く、次いで米国、アラブ首長国連邦、台湾の順
- 2020年の九州の自動車生産台数
122万台(前年比15.7%減) → 日本全体の生産台数(807万台)の15.1%



九州の自動車の主な輸出相手国・地域

(単位:億円、%)

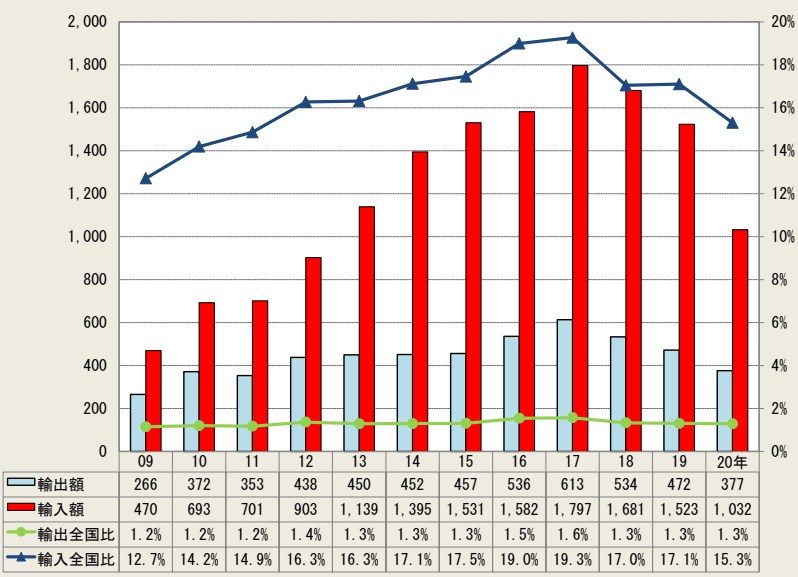
2015年			2020年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	43,863	36.4%	米国	34,666	36.2%
オーストラリア	7,138	5.9%	中国	9,111	9.5%
アラブ首長国連邦	5,468	4.5%	オーストラリア	7,208	7.5%
中国	5,003	4.2%	カナダ	2,953	3.1%
サウジアラビア	4,240	3.5%	アラブ首長国連邦	2,809	2.9%
その他	54,751	45.5%	その他	39,049	40.8%
計	120,463	100.0%	計	95,796	100.0%
九州			九州		
中国	2,829	24.5%	中国	6,799	49.3%
米国	2,230	19.3%	米国	3,299	23.9%
アラブ首長国連邦	1,063	9.2%	台湾	637	4.6%
メキシコ	809	7.0%	アラブ首長国連邦	512	3.7%
台湾	443	3.8%	韓国	381	2.8%
その他	4,175	36.1%	その他	2,167	15.7%
計	11,549	100.0%	計	13,795	100.0%

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対前年	
								対世界構成比	対前年
ヨーロッパ	2,043	2,117	2,149	2,163	2,133	2,158	1,692	21.8%	▲21.6%
米州	2,122	2,096	2,082	2,071	2,080	2,015	1,569	20.2%	▲22.1%
アジア大洋州	4,740	4,788	5,185	5,340	5,245	4,933	4,429	57.1%	▲10.2%
日本	977	928	920	969	973	968	807	10.4%	▲16.7%
九州	130	135	135	139	143	145	122	1.6%	▲16.3%
中国	2,373	2,457	2,812	2,902	2,781	2,575	2,523	32.5%	▲2.0%
韓国	452	456	423	411	403	395	351	4.5%	▲11.2%
インド	384	416	452	479	517	452	339	4.4%	▲25.0%
タイ	188	191	194	199	217	201	143	1.8%	▲29.1%
その他	365	341	383	379	354	341	267	3.4%	▲21.7%
アフリカ	72	84	90	100	112	111	72	0.9%	▲35.3%
世界計	8,978	9,084	9,506	9,675	9,571	9,218	7,762	100.0%	▲15.8%

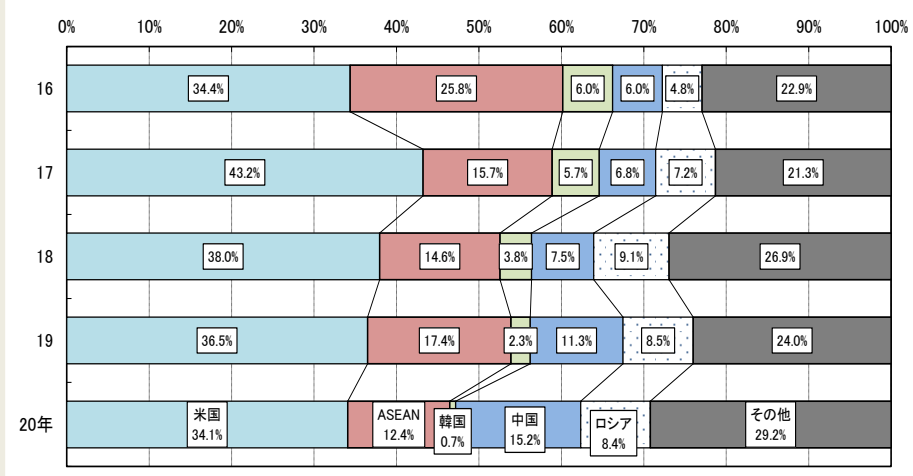
自動車の部分品

- 2020年の九州の自動車の部分品の貿易額は、輸出が377億円（対前年20.2%減）、輸入が1,032億円（対前年32.2%減）で、輸出入ともに3年連続の減少。
- 九州の輸出相手国・地域では、米国が最も多く、次いで中国、カナダの順
- 九州の輸入相手国・地域では、中国が最も多く、次いでタイ、メキシコの順

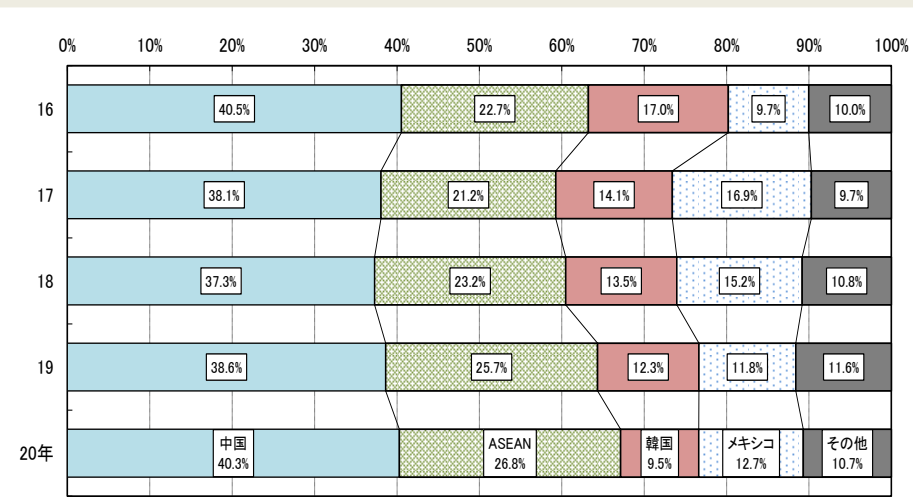
九州の自動車の部分品 貿易額の推移



九州の主な輸出相手国・地域構成比推移



九州の主な輸入相手国・地域構成比推移



自動車の部分品の主な輸出入相手国・地域 (2020年)

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	6,993	24.0%	中国	2,543	37.7%
中国	6,450	22.1%	タイ	802	11.9%
タイ	2,138	7.3%	ドイツ	546	8.1%
ベルギー	1,825	6.3%	ベトナム	441	6.5%
メキシコ	1,482	5.1%	韓国	430	6.4%
その他	10,236	35.1%	その他	1,986	29.4%
計	29,124	100.0%	計	6,747	100.0%
九州			九州		
米国	128	34.1%	中国	416	40.3%
中国	57	15.2%	タイ	154	14.9%
カナダ	54	14.4%	メキシコ	131	12.7%
ロシア	32	8.4%	韓国	98	9.5%
マレーシア	19	4.9%	インドネシア	60	5.8%
その他	86	23.0%	その他	173	16.8%
計	377	100.0%	計	1,032	100.0%

出所：財務省「貿易統計」、国際自動車工業会連合会HPより九州経済産業局作成

半導体等電子部品

○2020年の九州の半導体等電子部品貿易額

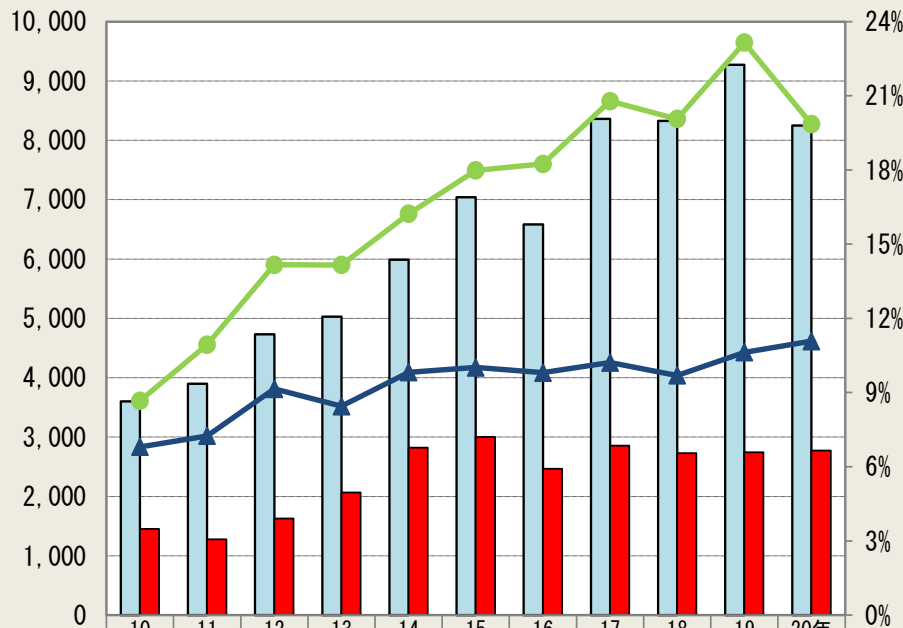
輸出 8,250億円 (対前年11.0%減) → 2年ぶりのマイナス

輸入 2,776億円 (対前年 0.5%増) → 2年連続のプラス

○輸出相手国・地域 (多い順) 香港向けが最も多く、次いでベトナム、韓国の順

○輸入相手国・地域 (多い順) 台湾が7割弱と最も多く、次いで中国、インドネシアの順

(億円) 九州の半導体等電子部品の貿易額推移 全国比(%)



輸出額	3,600	3,898	4,730	5,030	5,989	7,039	6,581	8,360	8,327	9,273	8,250
輸入額	1,454	1,277	1,628	2,066	2,820	3,000	2,466	2,855	2,731	2,744	2,776
輸出全国比	8.7%	10.9%	14.2%	14.2%	16.2%	18.0%	18.2%	20.8%	20.1%	23.1%	19.9%
輸入全国比	6.8%	7.2%	9.2%	8.4%	9.8%	10.0%	9.8%	10.2%	9.7%	10.6%	11.1%

九州の半導体等電子部品の主な輸出入相手国・地域

(単位: 億円、%)

輸出	輸出		輸入	輸入	
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	10,761	25.9%	台湾	11,862	47.3%
台湾	8,218	19.8%	中国	4,623	18.4%
香港	6,348	15.3%	米国	2,317	9.2%
韓国	2,695	6.5%	韓国	1,328	5.3%
マレーシア	2,460	5.9%	マレーシア	1,137	4.5%
その他	11,071	26.6%	その他	3,791	15.1%
計	41,553	100.0%	計	25,058	100.0%
九州			九州		
香港	2,966	35.9%	台湾	1,922	69.3%
ベトナム	1,757	21.3%	中国	732	26.4%
韓国	1,677	20.3%	インドネシア	28	1.0%
中国	463	5.6%	マレーシア	26	1.0%
タイ	406	4.9%	フィリピン	20	0.7%
その他	981	11.9%	その他	48	1.7%
計	8,250	100.0%	計	2,776	100.0%

出所: 財務省「貿易統計」、国際自動車工業会連合会HPより九州経済産業局作成

食料品※

○2020年の九州の食料品貿易額

輸出 671億円（前年比12.1%減）→ 輸出は2010年から毎年増加し続けていたが10年ぶりに減少。

輸入 3,781億円（前年比9.4%減）→ 輸入は増減を繰り返しつつ、大幅な輸入超過が続いている。

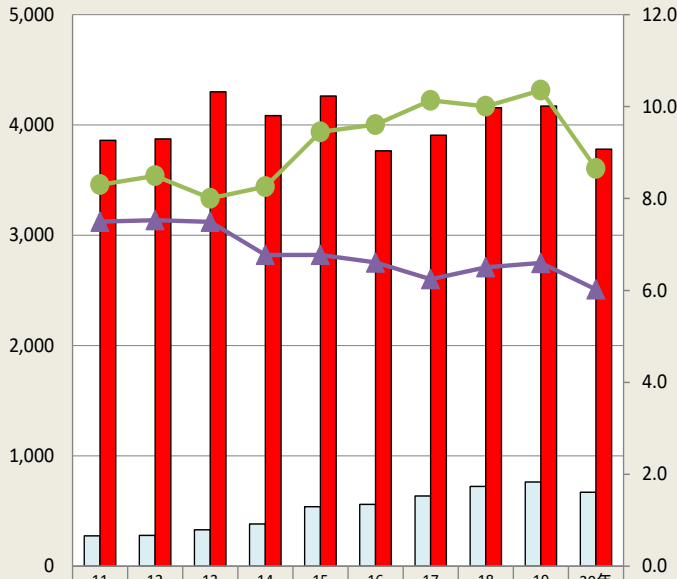
○輸出相手国・地域・品目（多い順） 国・地域別は、香港、米国、中国の順。品目別は、魚介類及び同調製品のみで4割超。

輸入相手国・地域・品目（多い順） 国・地域別は、米国、中国、ブラジルの順。品目別は、穀物類及び同調製品と魚介類及び同調製品2品目で6割超。

九州の食料品の貿易額推移

(億円)

全国比(%)



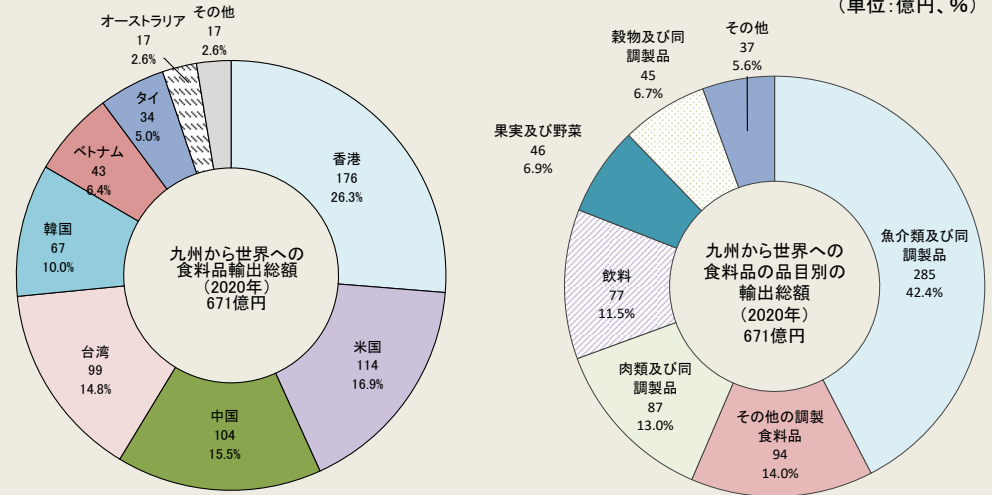
輸出額	275	280	331	383	540	562	638	723	764	671
輸入額	3,860	3,872	4,299	4,084	4,262	3,766	3,906	4,156	4,171	3,781
輸出全国比	8.3	8.5	8.0	8.3	9.4	9.6	10.1	10.0	10.4	8.7
輸入全国比	7.5	7.5	7.5	6.8	6.8	6.6	6.2	6.5	6.6	6.0

※「食料品」とは、貿易統計の「食料品及び動物」、「飲料」、植物性油脂」を足したのから「生きた動物」「飼料（ペットフード含む）」「加工油脂及びろう」を除いたものとしている。

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

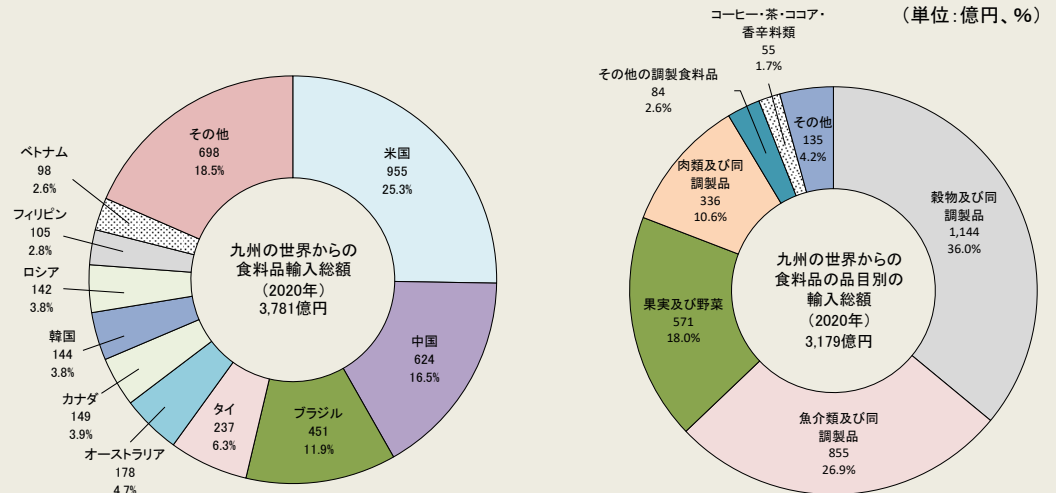
九州の食料品の主な輸出相手国・地域・品目

(単位:億円、%)



九州の食料品の主な輸入相手国・地域・品目

(単位:億円、%)



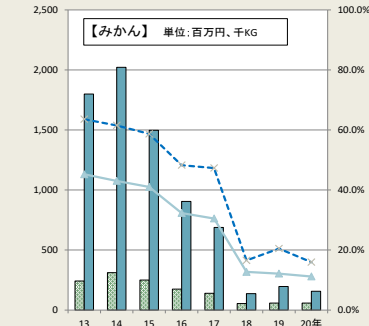
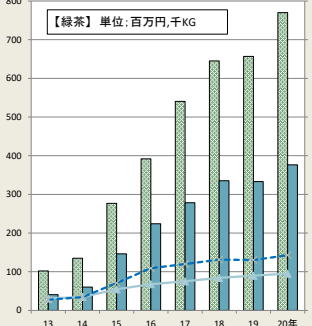
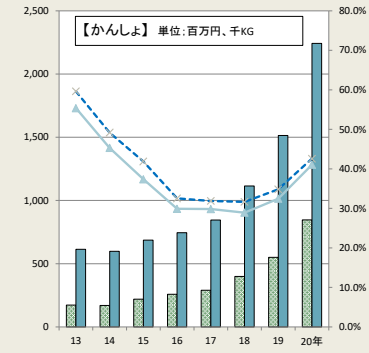
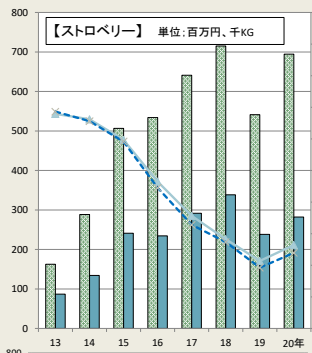
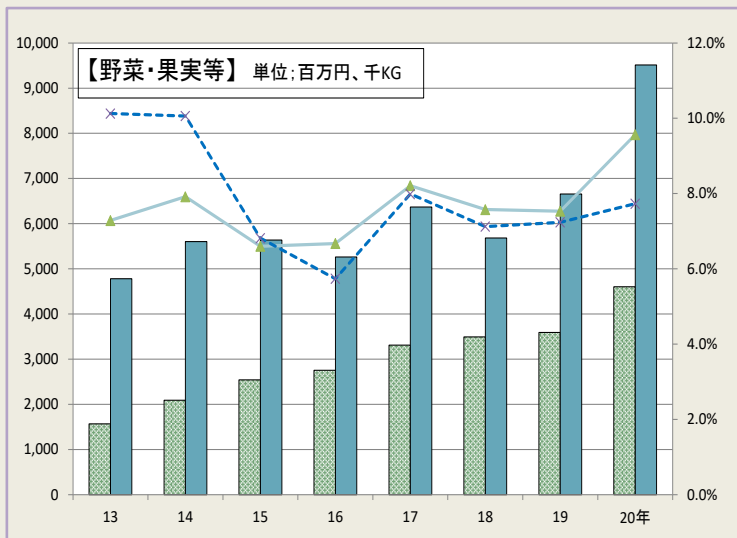
農水産物及び加工品①

○九州の主な農水産物及び加工品の輸出は、近年概ね増加傾向。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年は魚類、酒類など減少に転じた品目も見られる。

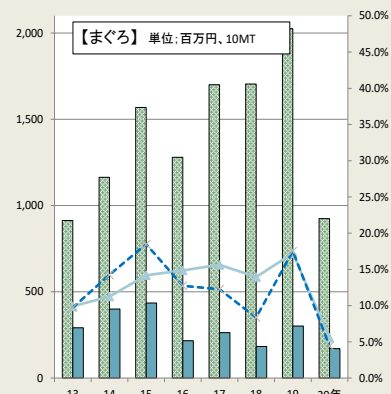
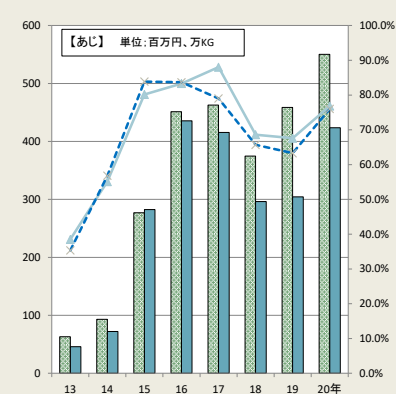
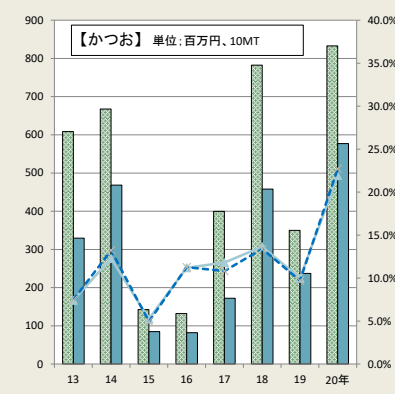
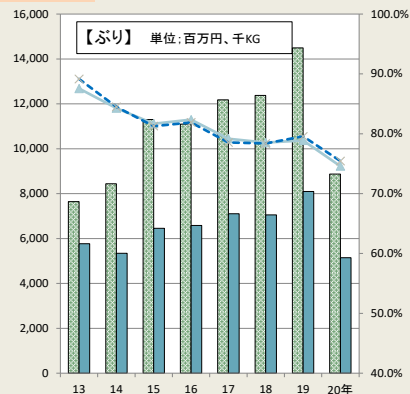
○野菜・果実は、かんしょやストロベリー等を中心に引き続き増加もしくは横ばいの傾向、魚類はほぼ減少に転じている。



【野菜・果実】



【魚類】



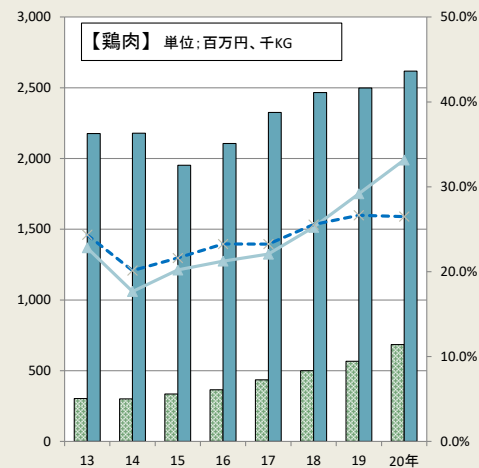
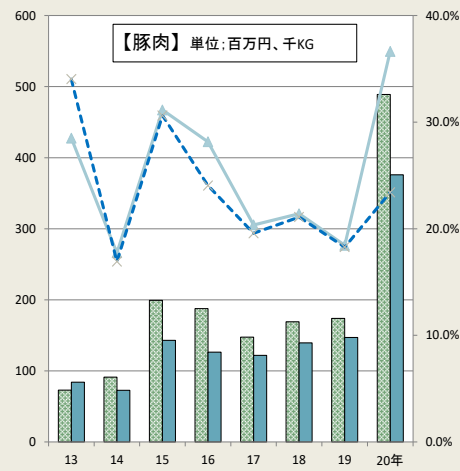
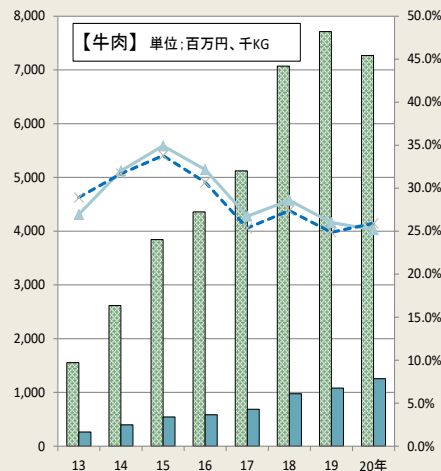
農水産物及び加工品②

○肉類は、豚肉が大幅な増加であり、鶏肉や牛肉も概ね増加もしくは横ばい傾向。

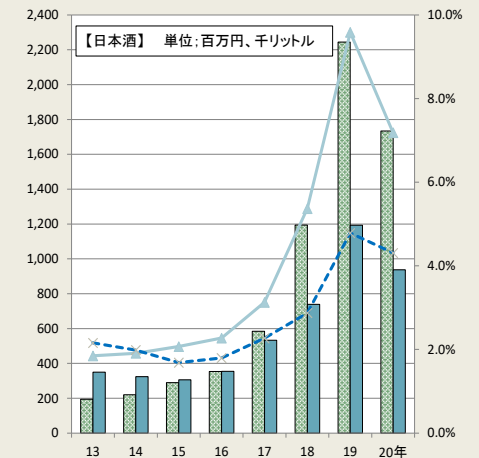
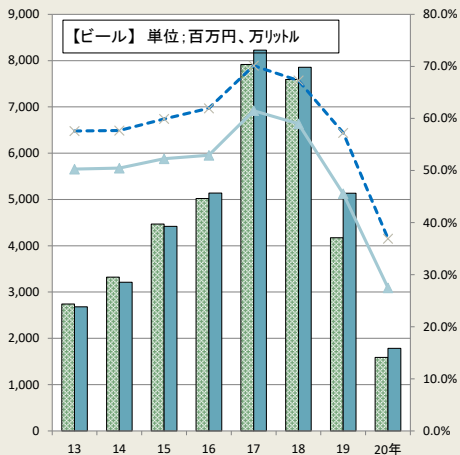
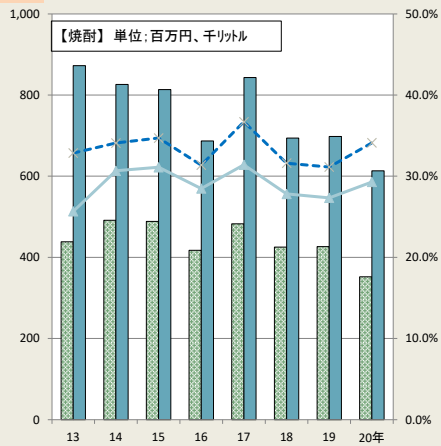
○酒類は、焼酎、ビール、日本酒ともに減少傾向。

九州輸出額 九州数量 輸出額全国比 数量全国比

【肉類】



【酒類】





経済産業省
九州経済産業局

Kyushu Bureau of Economy, Trade and Industry
HP URL <https://www.kyushu.meti.go.jp/>



国際部 国際企画調査課

〒812-8546

福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館7F

TEL 092-482-5428

